
1章 ご使用前に

この章について

この章では、特許情報提供サービス Shareresearch をご利用になる前の動作環境と各種設定について説明します。

この章の内容を以下に示します。

- 1.1 使用する際の環境について
- 1.2 Excel のセキュリティ設定
- 1.3 WWW ブラウザのセキュリティ設定
- 1.4 ActiveX がインストールできない環境の制限について
- 1.5 Internet Explorer をご利用の場合の注意点
- 1.6 Chrome をご利用の場合の注意点

1.1 使用する際の環境について

Shareresearch を使用する上で、前提となる環境は以下の通りです。

1.1.1 WWW ブラウザ

WWW ブラウザとは、Microsoft Internet Explorer(以下 Internet Explorer または IE と略します)、Google Chrome(以下 Chrome と略します)、Microsoft Edge(以下 Edge と略します)を指します。前提ブラウザは以下の通りです。

- (1) Internet Explorer 11.0
- (2) Chrome
- (3) Edge

1.1.2 画面解像度

快適な動作のために、推奨する画面解像度は 1024×768 となります。

1.1.3 文字サイズ

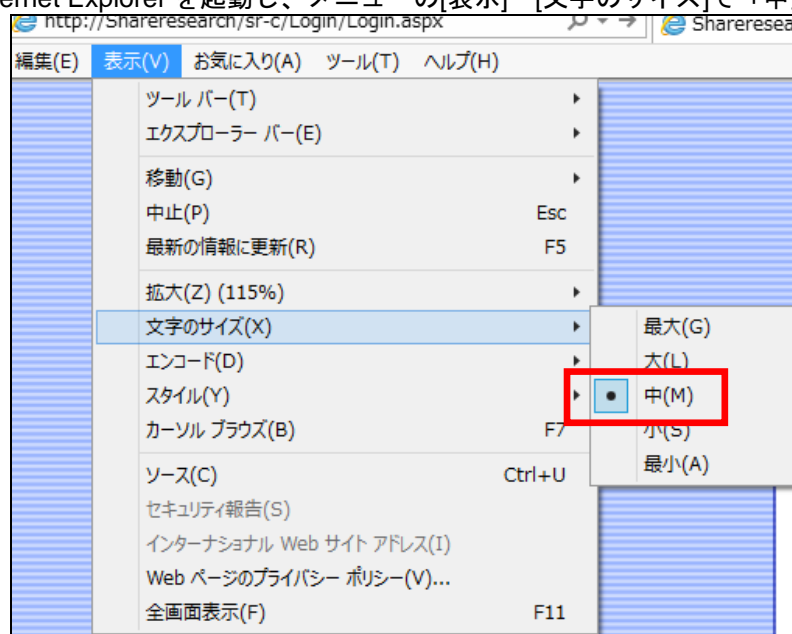
快適な動作のために、推奨する文字サイズは「中」となります。文字サイズを設定する場合は以下の手順で設定を行います。

Edge では文字サイズを設定することができません。

(1) Internet Explorer の場合

【設定手順】

1. Internet Explorer を起動し、メニューの[表示]ー[文字のサイズ]で「中」を選択します。



(2) Chrome の場合

【設定手順】

1. Chrome を起動し、画面右上部の[⋮]-[設定]を選択します。



2. 設定の[デザイン]-[フォントサイズ]で[中 (推奨)]を選択します。



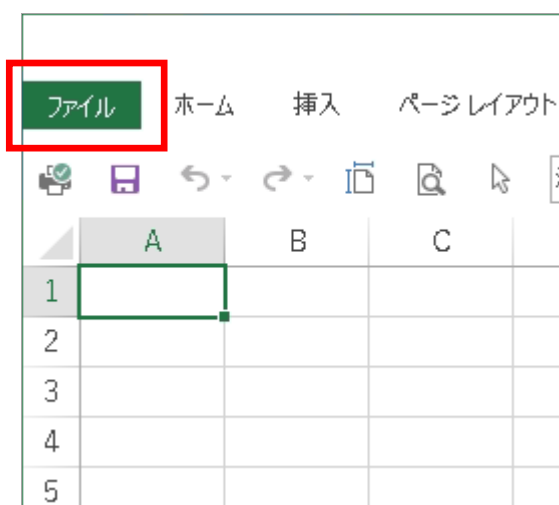
1.2 Excel のセキュリティ設定

Excel ダウンロード、Excel アップロード機能を使用する場合は、マクロのセキュリティを変更します。

1.2.1 Excel 2016 の場合

【操作開始】

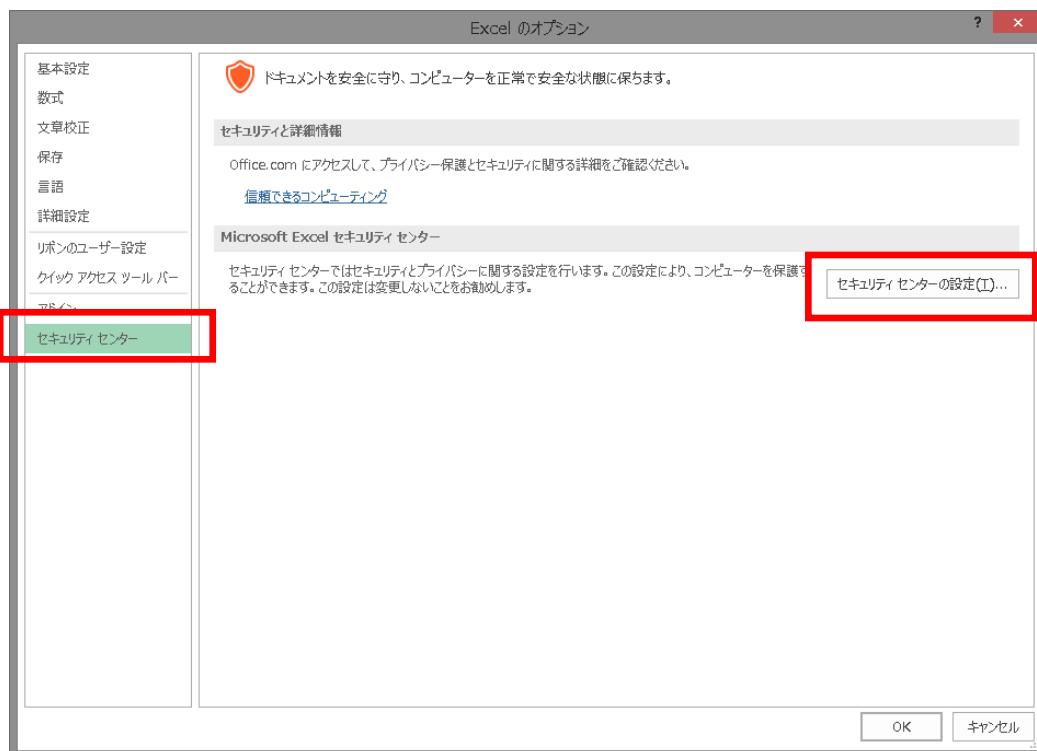
1. Excel を起動し、「ファイル」ボタンをクリックします。



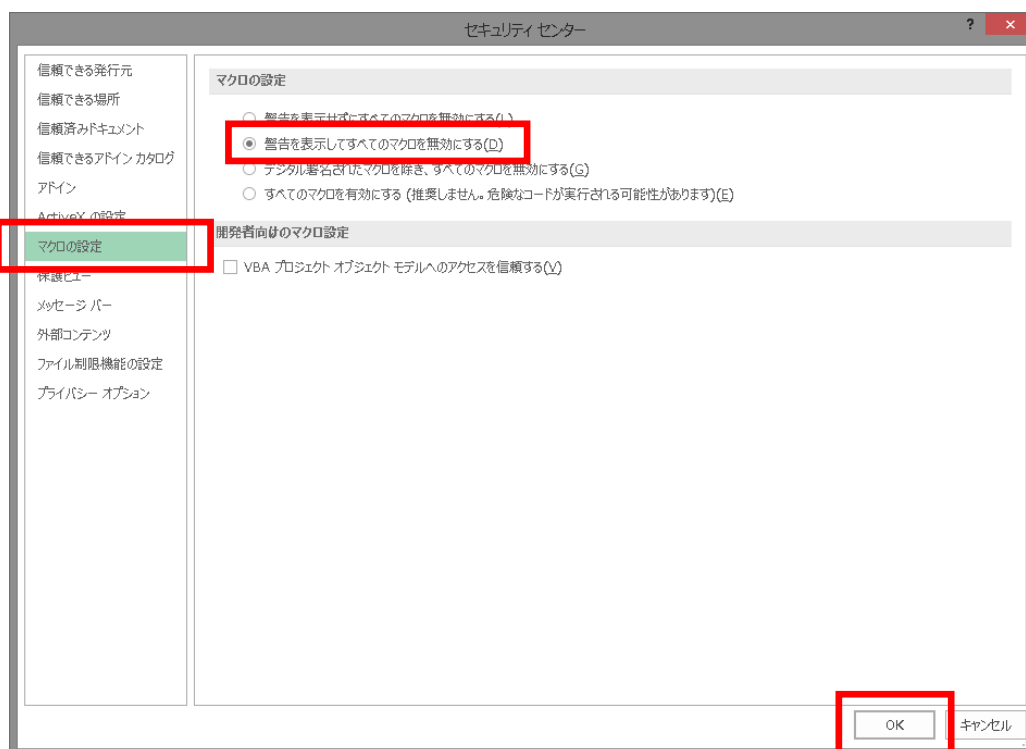
2. 以下のメニューから、「オプション」をクリックします。



3. 「Excel のオプション」画面が開きますので、メニューから「セキュリティセンター」を選択し、「セキュリティセンターの設定」ボタンをクリックします。



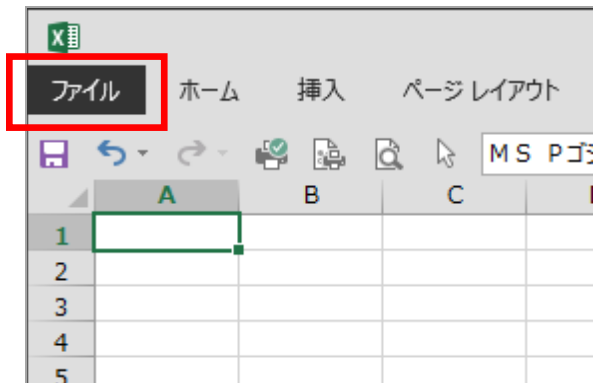
4. 「セキュリティセンター」画面が開きますので、メニューから「マクロの設定」を選択し、「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」をチェックし、「OK」ボタンをクリックします。



1.2.2 Excel 2013 の場合

【操作開始】

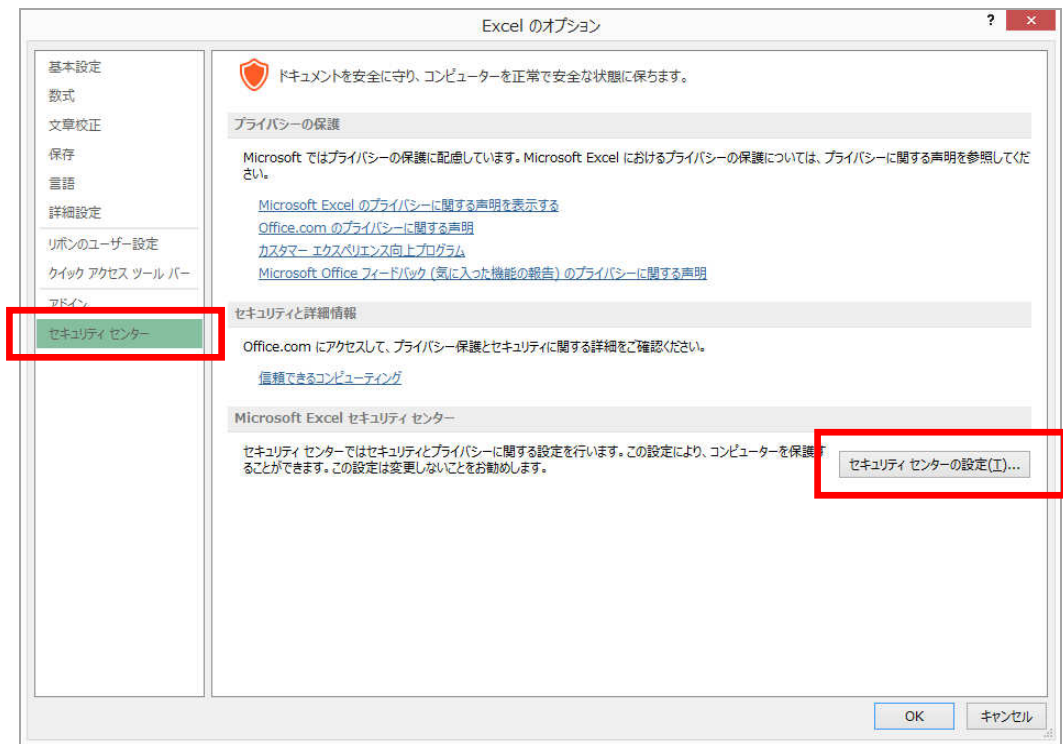
1. Excel を起動し、「ファイル」ボタンをクリックします。



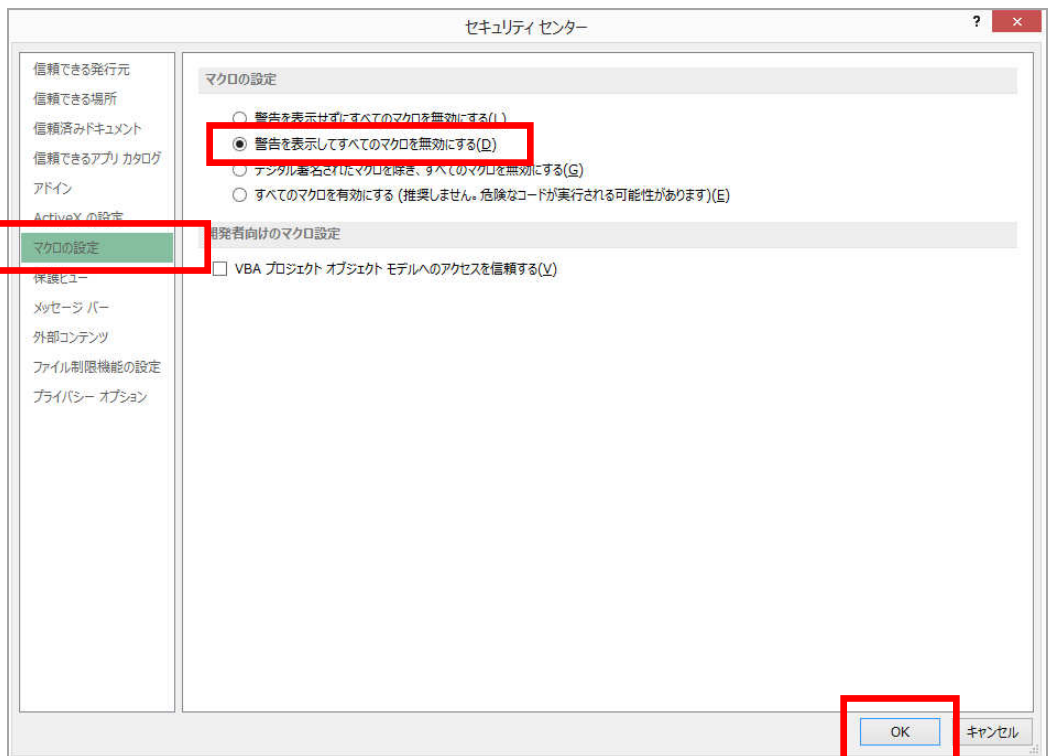
2. 以下のメニューから、「オプション」をクリックします。



3. 「Excel のオプション」画面が開きますので、メニューから「セキュリティセンター」を選択し、「セキュリティセンターの設定」ボタンをクリックします。



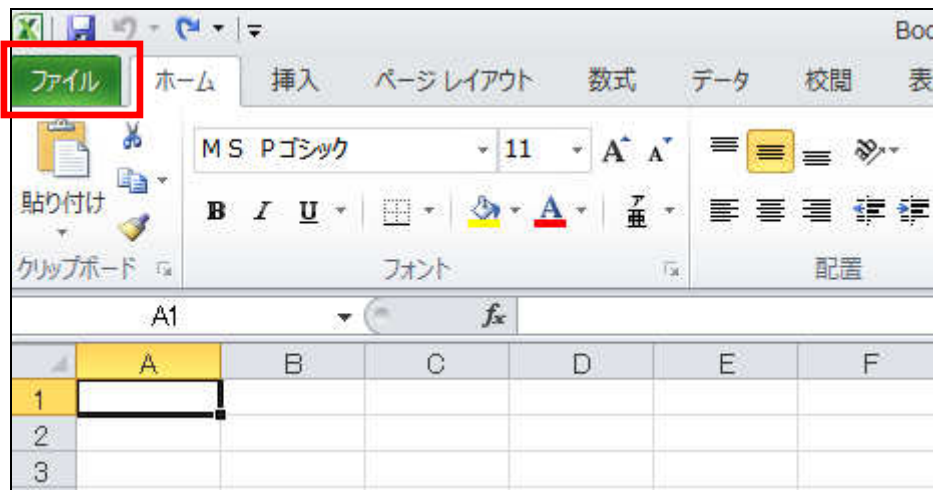
4. 「セキュリティセンター」画面が開きますので、メニューから「マクロの設定」を選択し、「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」をチェックし、「OK」ボタンをクリックします。



1.2.3 Excel 2010 の場合

【操作開始】

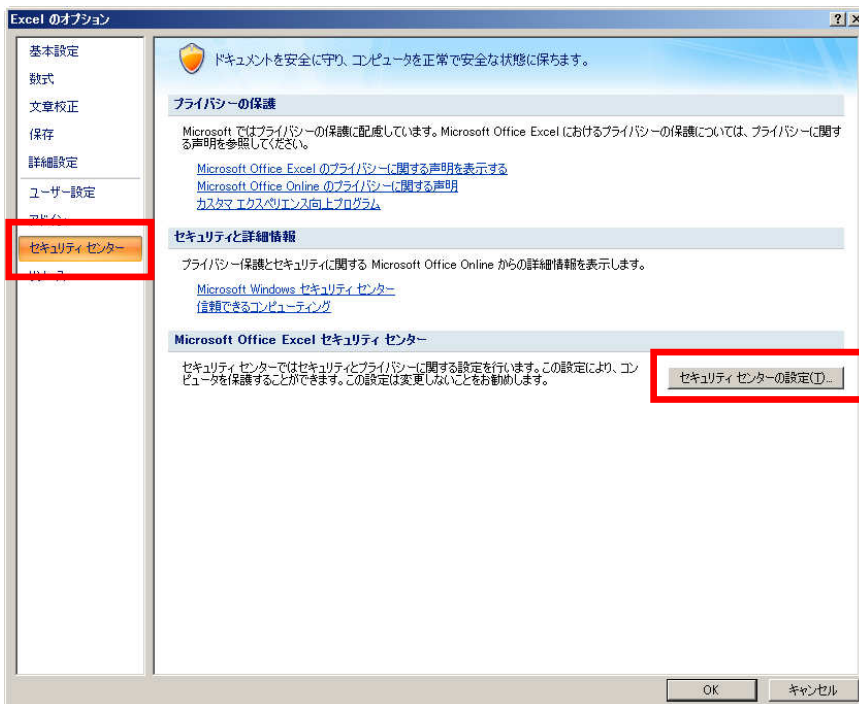
1. Excel を起動し、「ファイル」ボタンをクリックします。



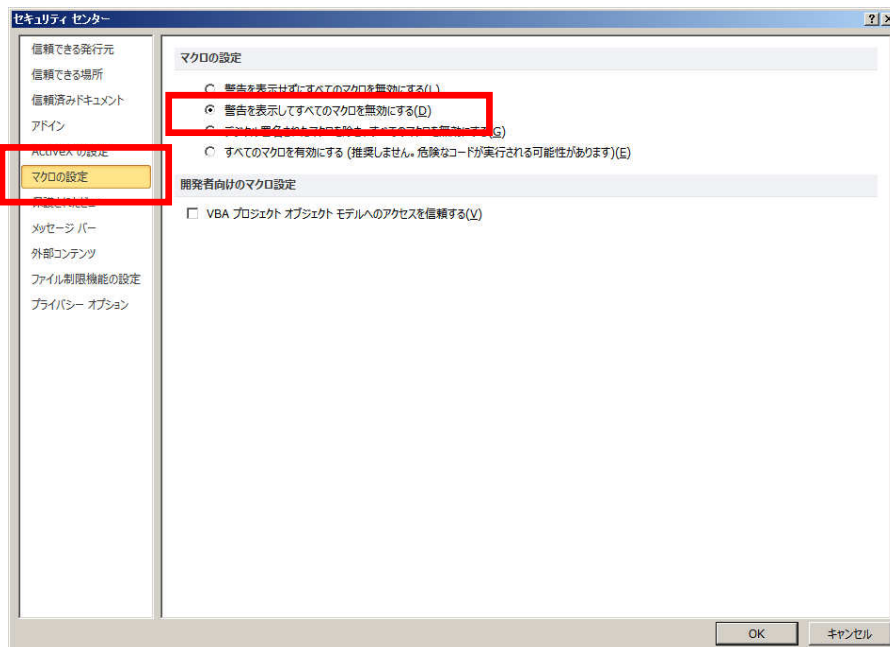
2. 以下のメニューから、「オプション」をクリックします。



3. 「Excel のオプション」画面が開きますので、メニューから「セキュリティセンター」を選択し、「セキュリティセンターの設定」ボタンをクリックします。



4. 「セキュリティセンター」画面が開きますので、メニューから「マクロの設定」を選択し、「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」をチェックし、「OK」ボタンをクリックします。



1.3 WWW ブラウザのセキュリティ設定

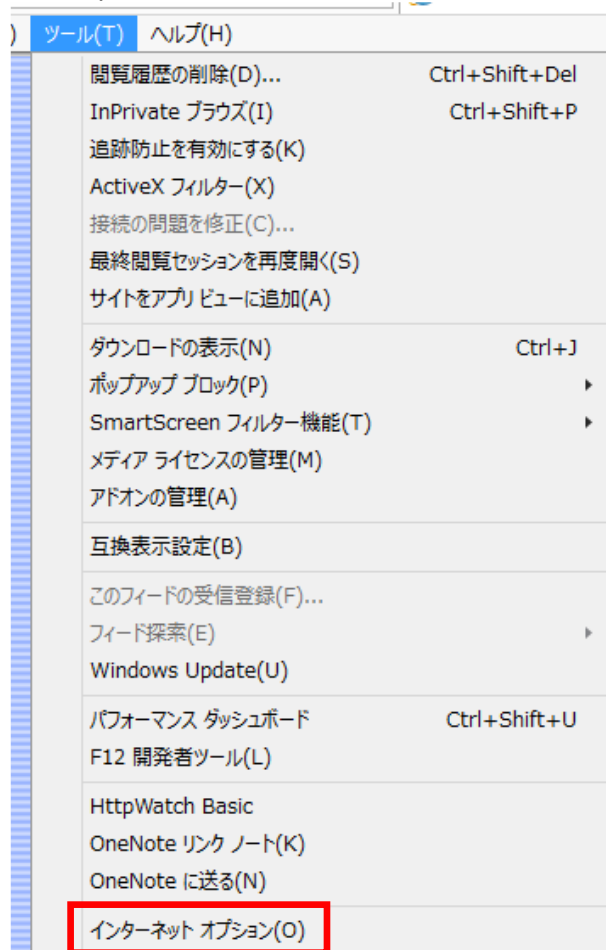
「信頼済みサイト」の設定や「ポップアップブロック」の設定を確認する必要があります。以下の手順で設定してください。

1.3.1 Internet Explorer の場合

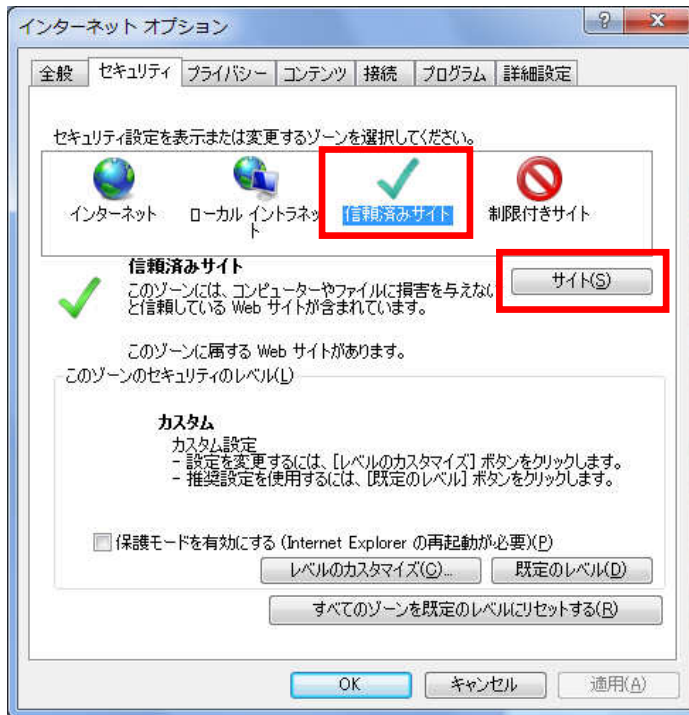
(1) 信頼済みサイトの設定

【操作開始】

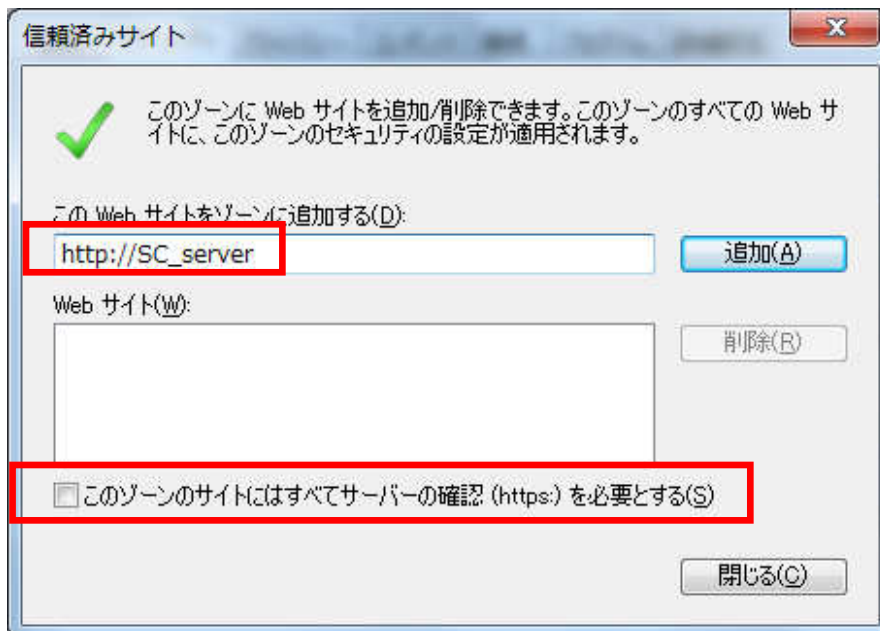
1. Internet Explorer を起動し、[ツール] – [インターネットオプション] を選択します。



2. [セキュリティ] のタブを選択します。[信頼済みサイト] を選択し、[サイト(S)] ボタンをクリックします。



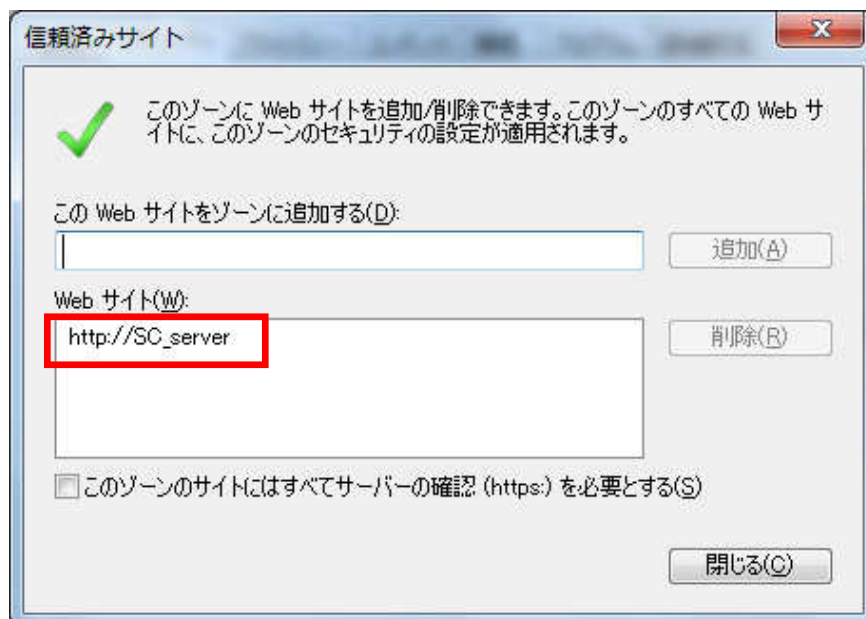
3. 「この Web サイトをゾーンに追加する(D)」に”http://サーバー名”を入力します。ここではサーバー名を”SC_Server”としています。「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする(S)」のチェックははずして下さい。



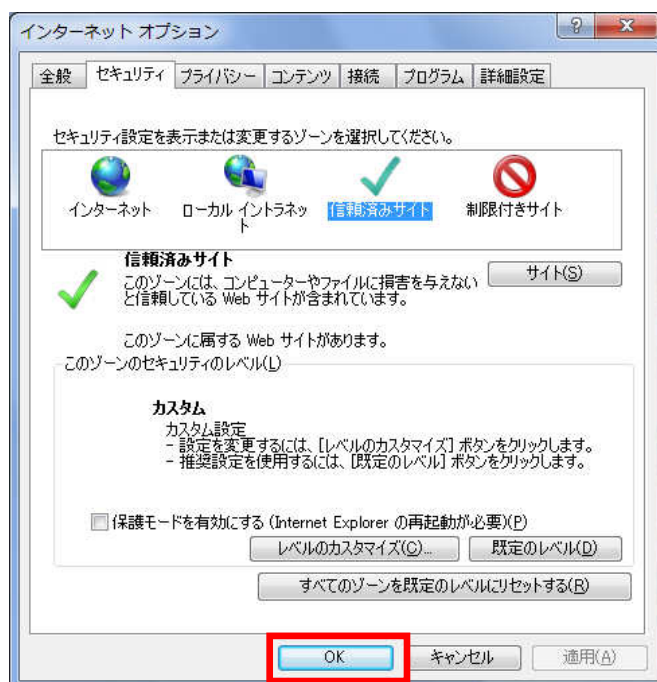
◆補足

サーバー名ではなく IP アドレスで指定する場合は、”http://サーバーの IP アドレス”を指定してください。

4. [追加(A)] ボタンをクリックします。「Web サイト(W)」に設定した Web サイトが追加されたことを確認し、[閉じる] ボタンをクリックします。



5. インターネットオプションの画面に戻りますので、「OK」ボタンをクリックします。



◆補足

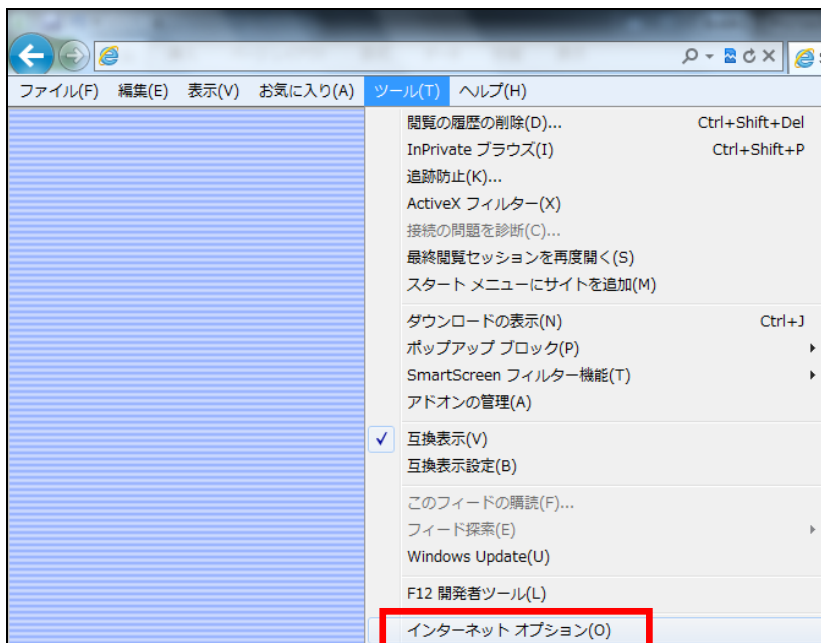
信頼済みサイトの「保護モードを有効にする (Internet Explorer の再起動が必要)」にチェックがついている場合は、チェックを外して下さい。

(2) ポップアップブロックの設定

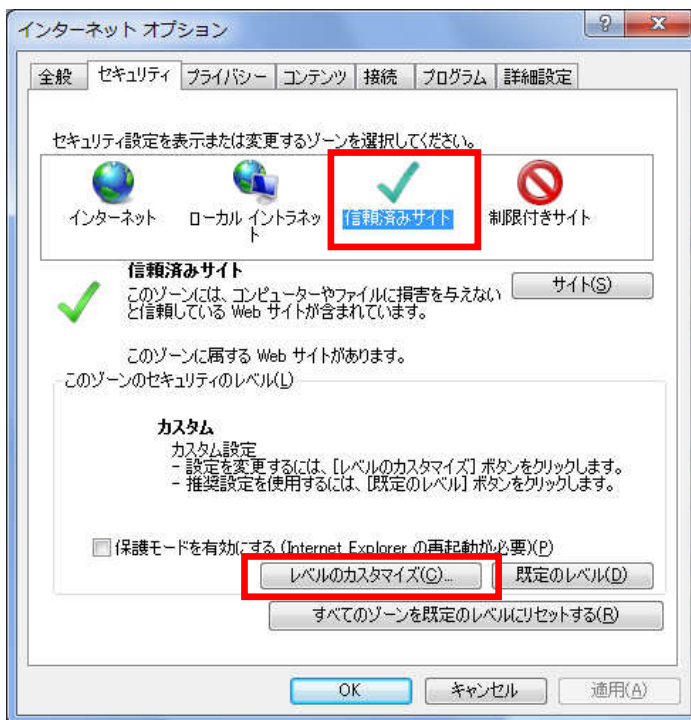
信頼済みサイトのポップアップブロックの設定を確認します。

【操作開始】

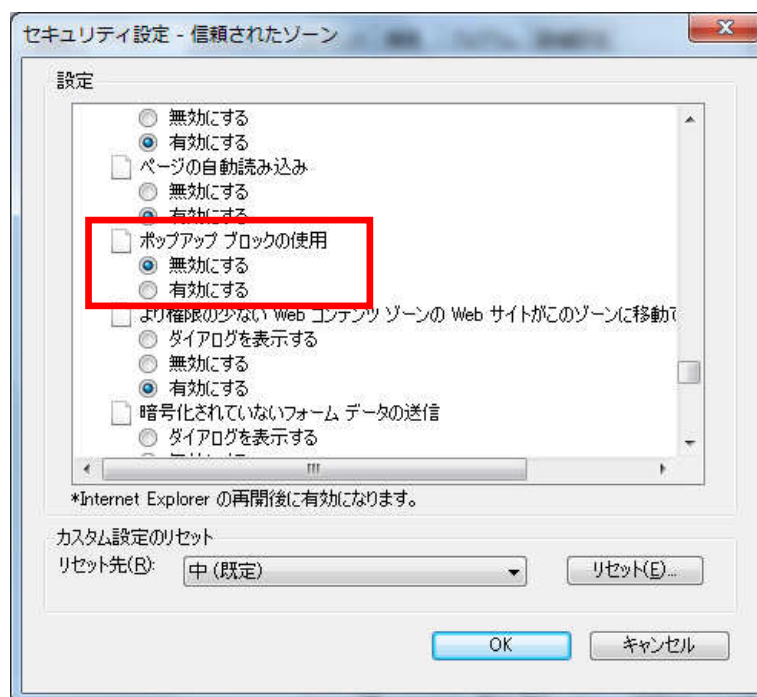
1. Internet Explorer を起動し、[ツール] - [インターネットオプション] を選択します。



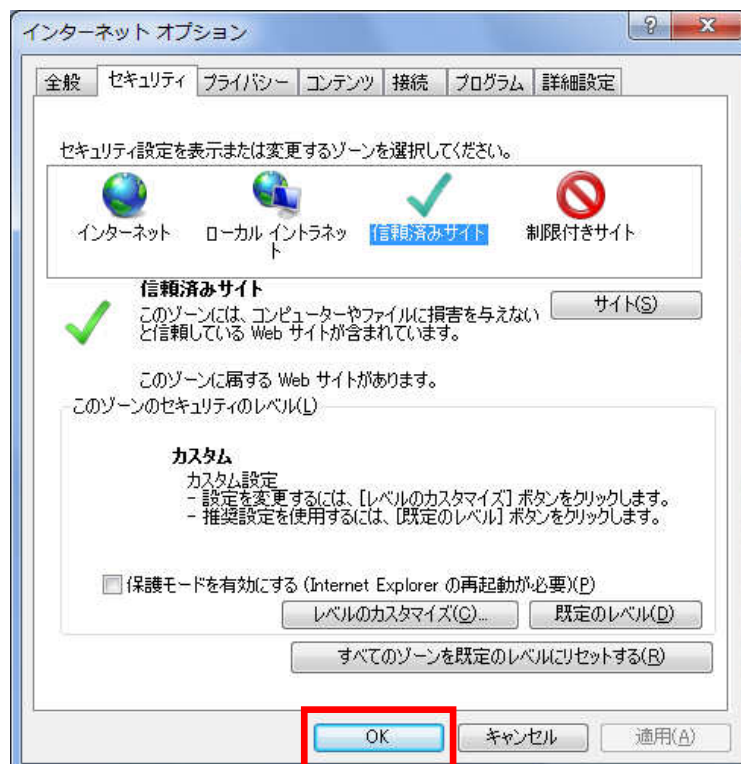
2. [セキュリティ] タブを選択します。[信頼済みサイト] を選択し、[レベルのカスタマイズ(C)] ボタンをクリックします。



3. 設定の中にある「ポップアップブロックの使用」の「無効にする」が選択されていることを確認して下さい。「有効にする」が選択されている場合は、「無効にする」を選択して「OK」ボタンをクリックして下さい。



4. インターネットオプションの画面に戻りますので、「OK」ボタンをクリックします。

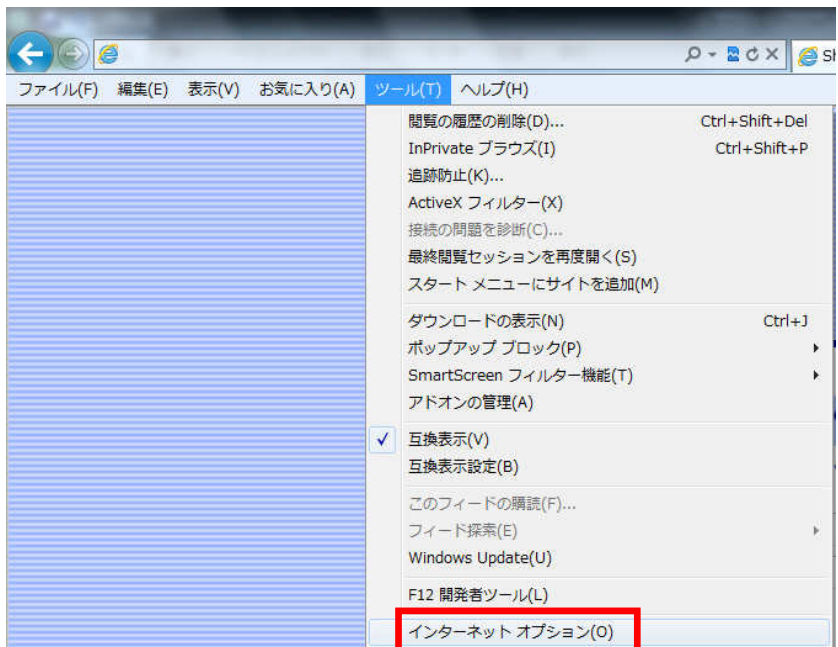


(3) タブブラウザの設定

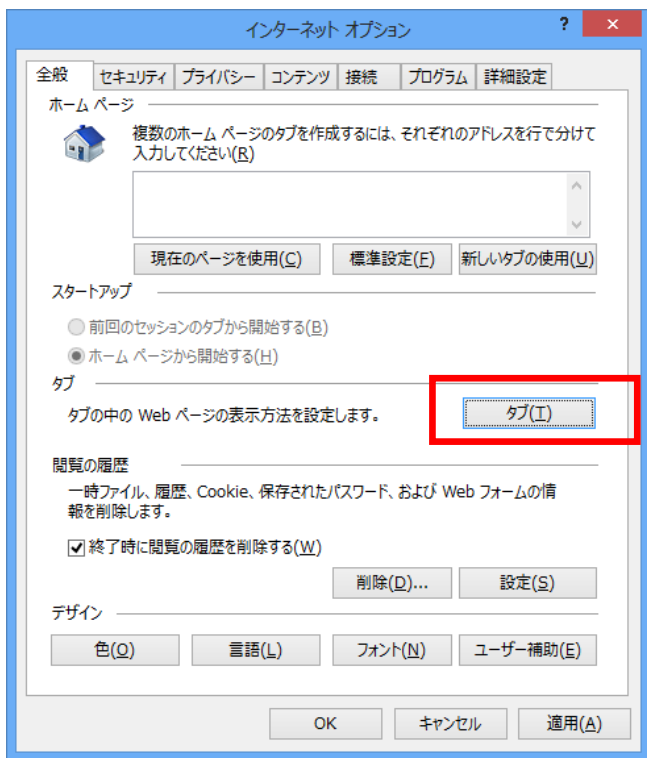
タブブラウザの設定を変更します。

【操作開始】

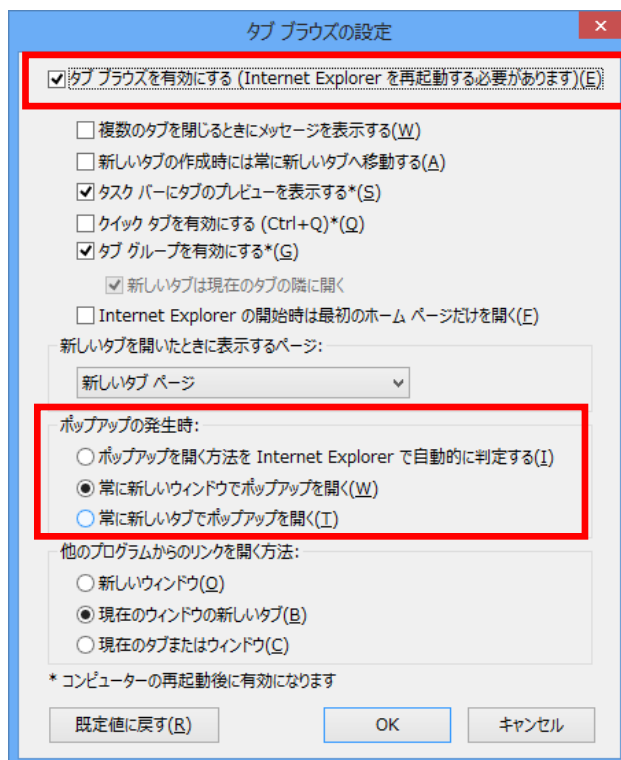
1. Internet Explorer を起動し、 [ツール] - [インターネットオプション] を選択します。



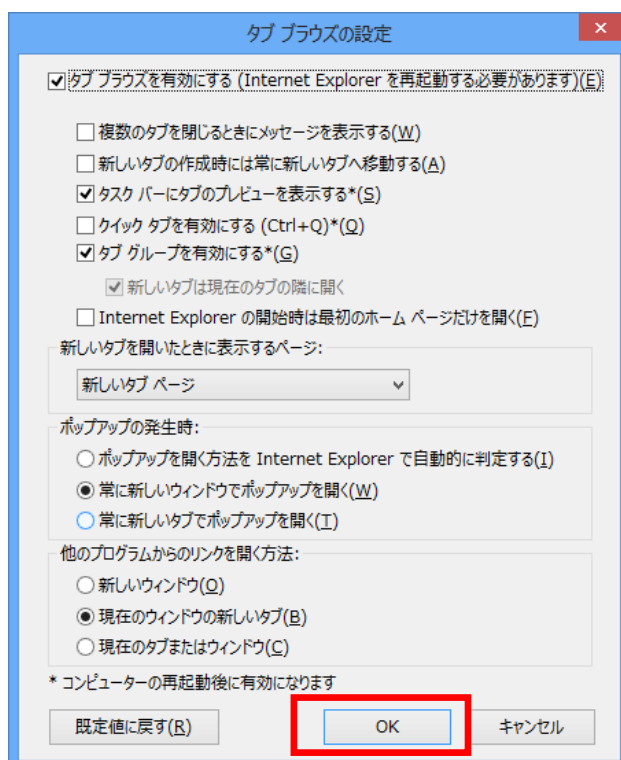
2. 「タブ」 ボタンをクリックします。



3. タブブラウザの使用可否やポップアップに関する設定を変更します。タブブラウザを有効にしたり、ポップアップの動作を変更したりします。



4. 「OK」 ボタンをクリックします。

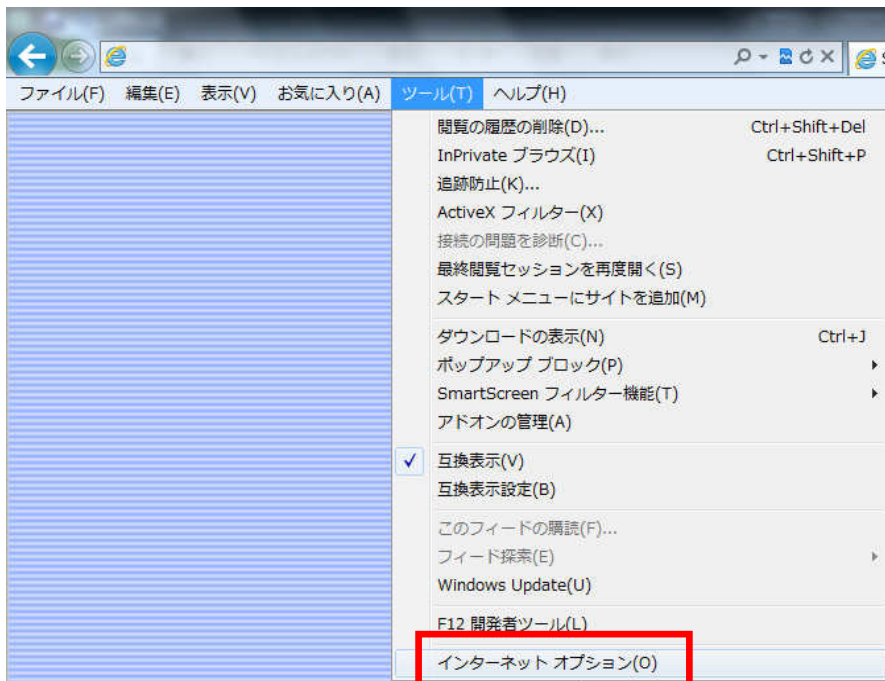


(4) その他の設定

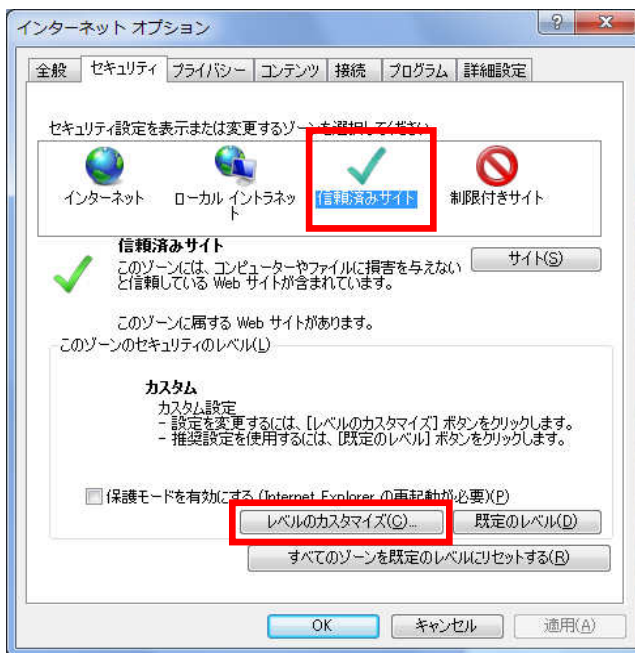
信頼されたゾーンのセキュリティ設定を見直します。本設定を行わない場合、セキュリティ設定により、操作中に確認のポップアップが表示されます。

【操作開始】

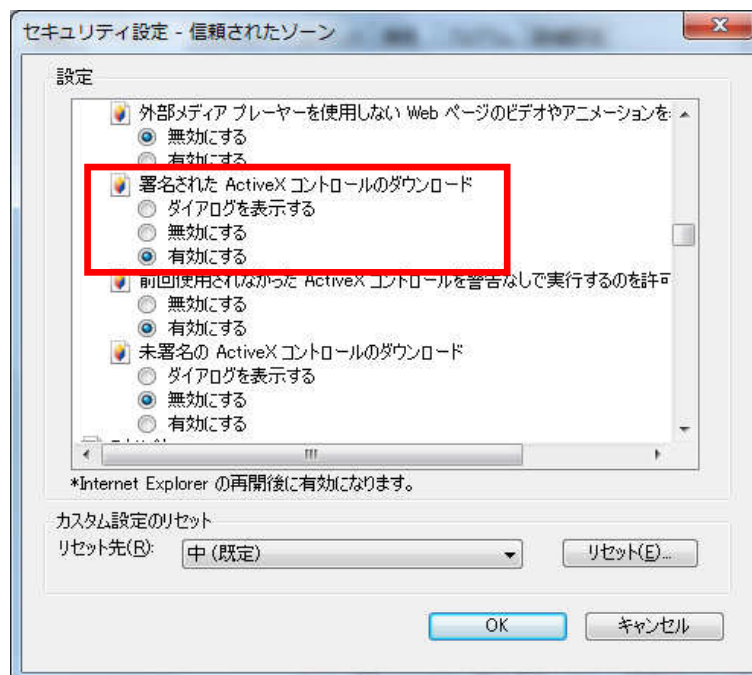
1. Internet Explorer を起動し、[ツール] - [インターネットオプション] を選択します。



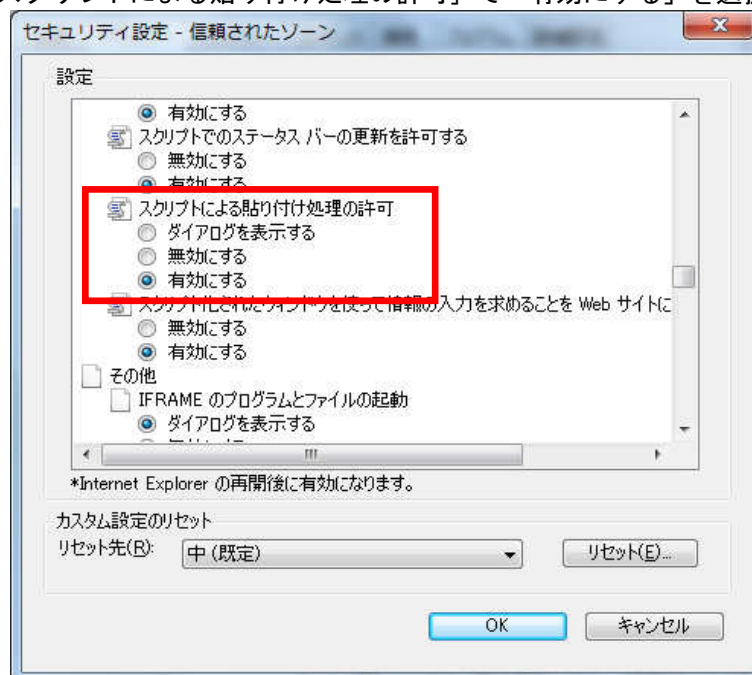
2. [セキュリティ] のタブを選択します。[信頼済みサイト] を選択し、[レベルのカスタマイズ(C)] ボタンをクリックします。



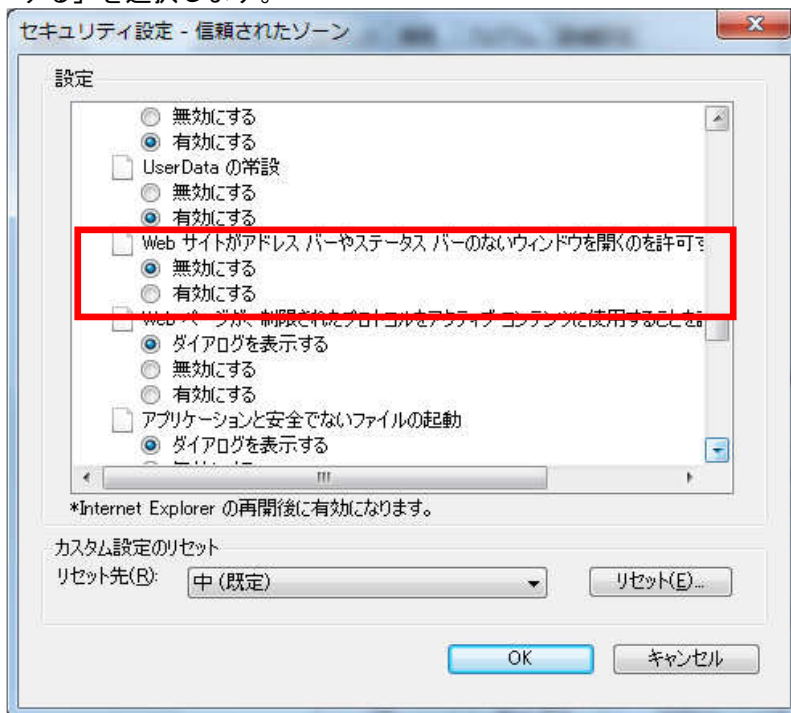
3. [署名された ActiveX コントロールのダウンロード] で「有効にする」を選択します。



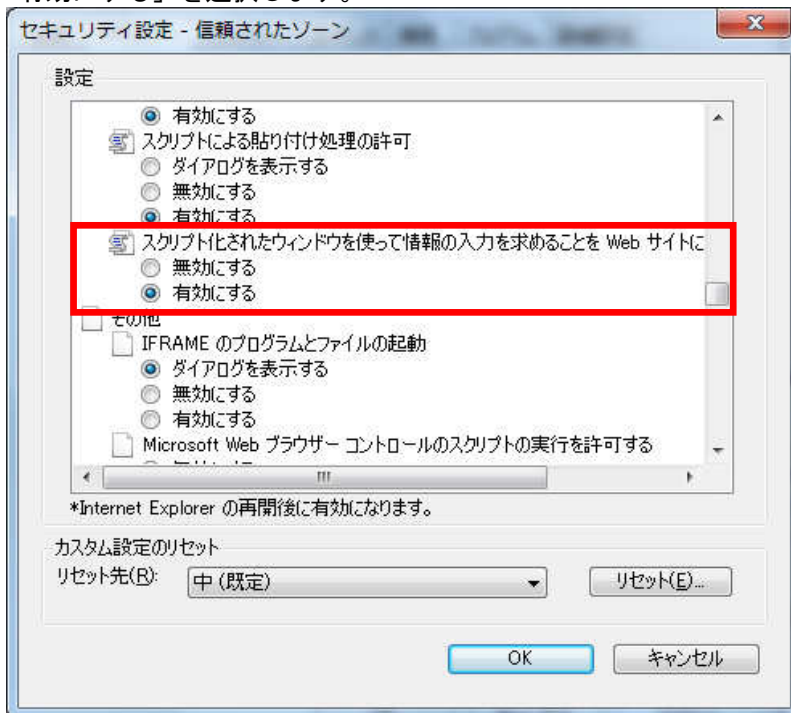
4. [スクリプトによる貼り付け処理の許可] で「有効にする」を選択します。



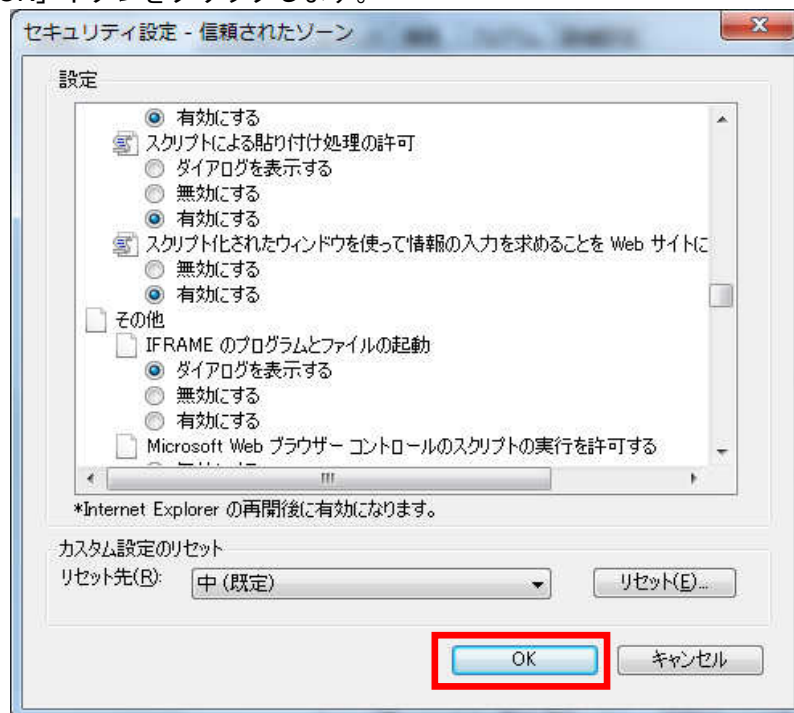
5. [Web サイトがアドレスバーやステータスバーのないウィンドウを開くのを許可する]で「無効にする」を選択します。



6. [スクリプト化されたウィンドウを使って情報の入力を求めることを Web サイトに]で「有効にする」を選択します。

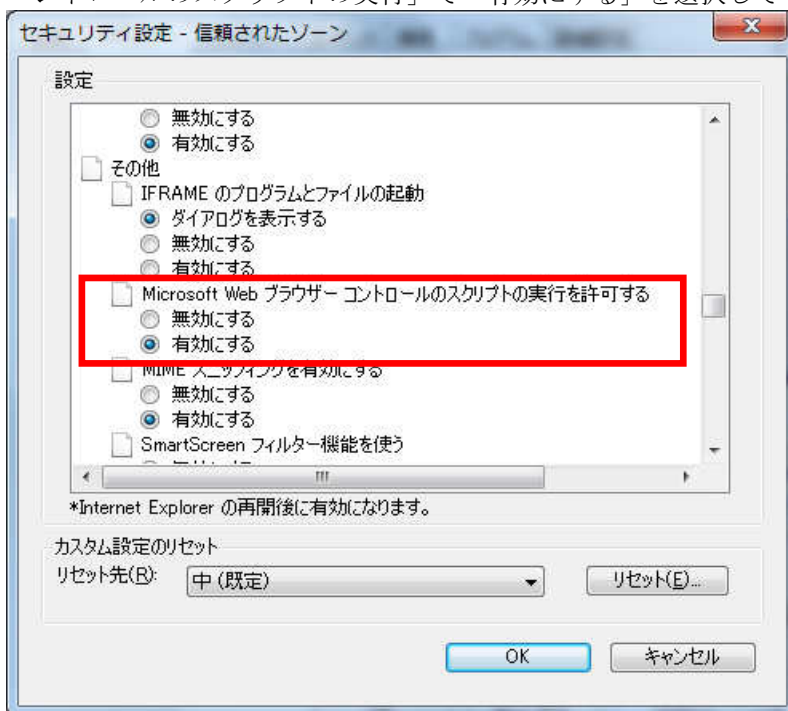


7. 「OK」 ボタンをクリックします。

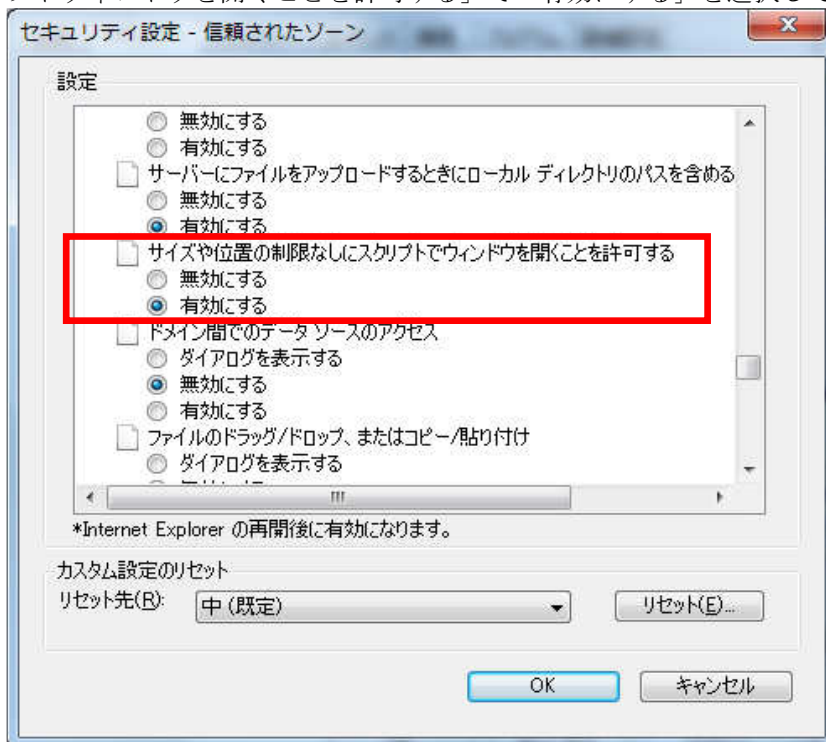


◆補足

検索結果一覧、または公報の印刷 (HTML 形式) ができない場合は、[Microsoft WebBrowser コントロールのスク립トの実行] で「有効にする」を選択してください。



タイトル (画面上部) に URL が表示される場合は、[サイズや位置の制限なしにスク립トウィンドウを開くことを許可する] で「有効にする」を選択してください。

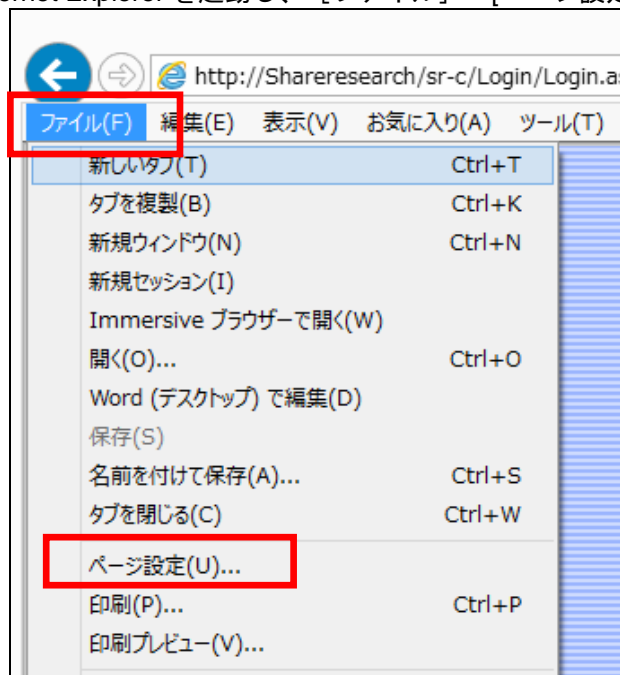


(5) ランキングやハイライトの印刷設定

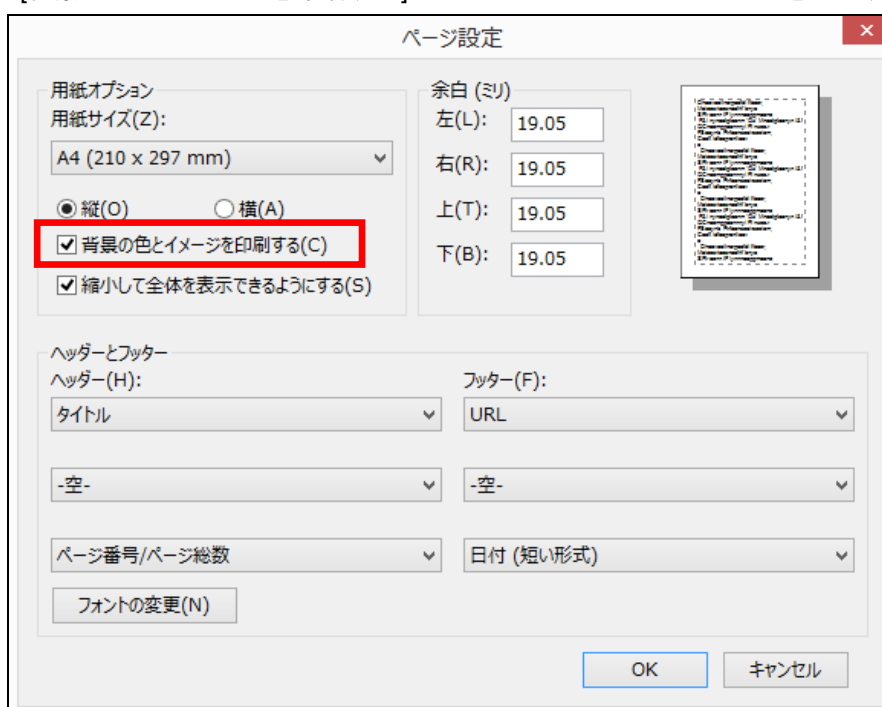
ランキングやハイライトの印刷を行うためには以下の設定を見直します。ランキングの印刷方法は「4.5 ランキング」を参照して下さい。

【操作開始】

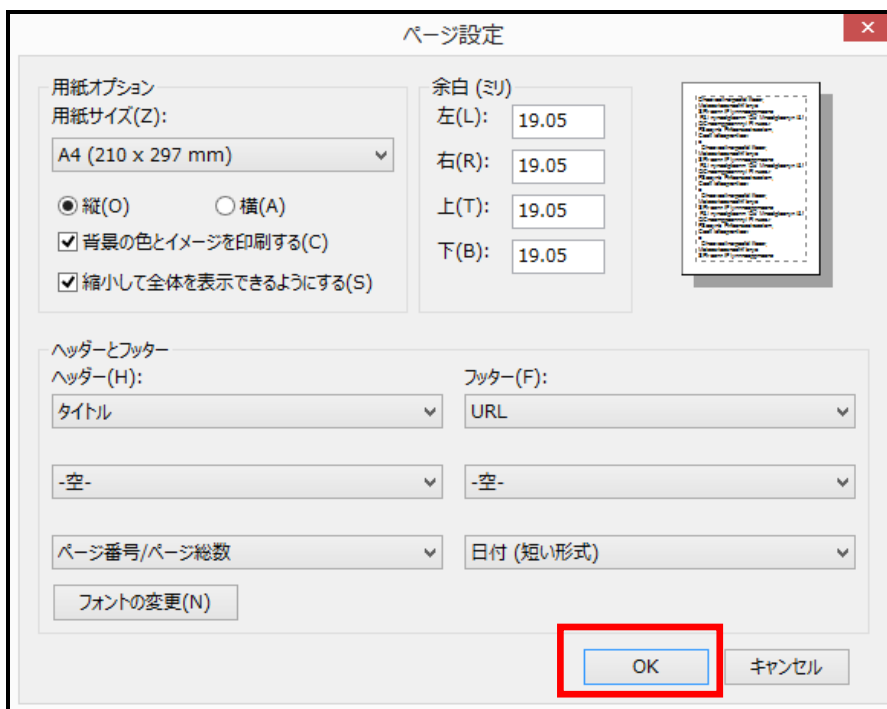
1. Internet Explorer を起動し、[ファイル] –[ページ設定] を選択します。



2. [背景の色とイメージを印刷する]のチェックボックスにチェックをします。



3. 「OK」 ボタンをクリックします。



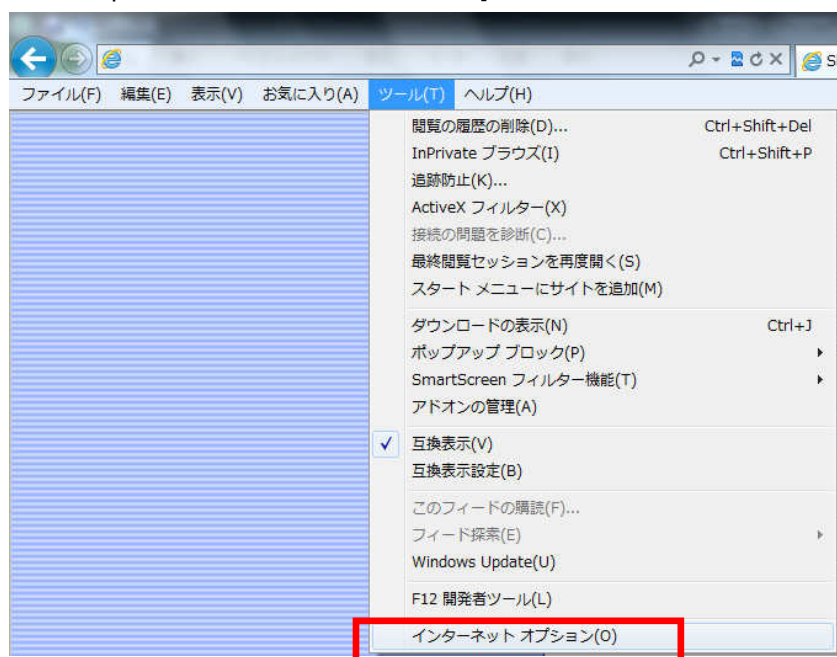
(6) 既定のブラウザの設定（Windows 7 をご利用の場合）

HTML、Excel のダウンロード結果等から Shareresearch の画面を表示させる場合は、既定のブラウザで開かれます。

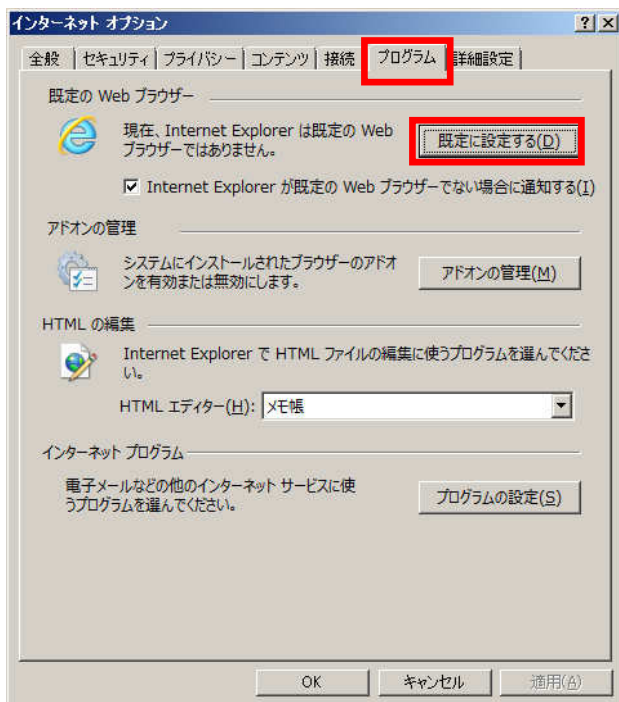
Internet Explorer を既定のブラウザに指定したい場合は、以下の手順で設定してください。なお、Internet Explorer または Chrome 以外が既定のブラウザに指定されている場合は、既定のブラウザで開かれた画面が正常に操作できない場合がありますのでご注意ください。

【操作開始】

1. Internet Explorer を起動し、[ツール] - [インターネットオプション] を選択します。

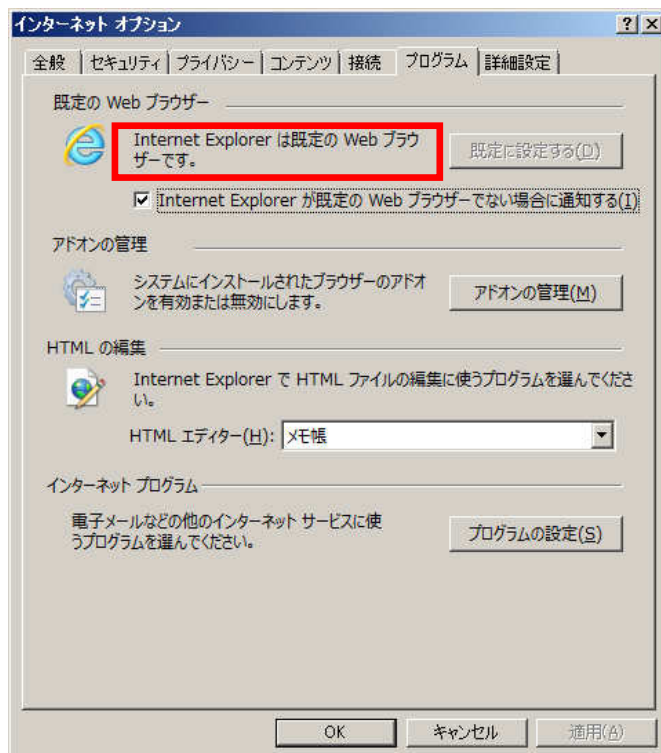


2. [プログラム] のタブを選択します。[既定に設定する] ボタンをクリックします。

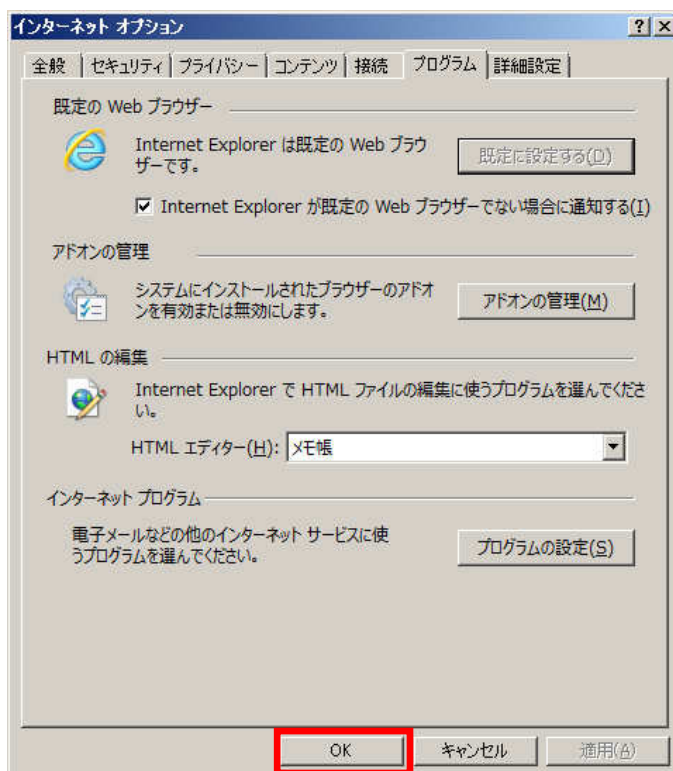


◆補足

既に既定のブラウザに Internet Explorer が設定されている場合は、下記のように「Internet Explorer は既定の Web ブラウザーです。」と表示されます。



3. 「OK」 ボタンをクリックします。



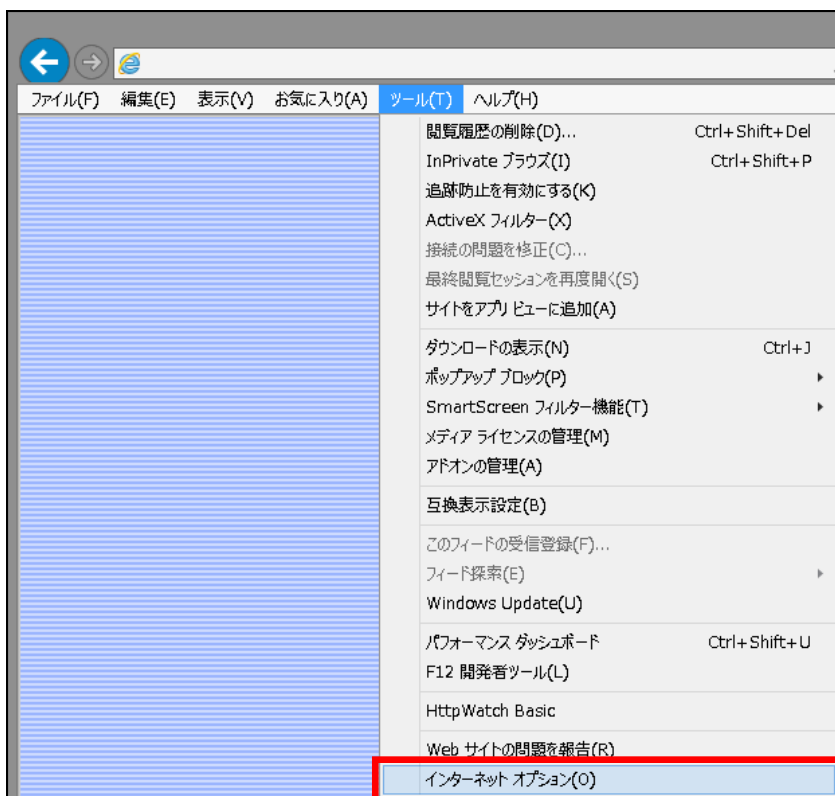
(7) 既定のブラウザの設定 (Windows 8.1、Windows 10 をご利用の場合)

HTML、Excel のダウンロード結果等から Shareresearch の画面を表示させる場合は、既定のブラウザで開かれます。

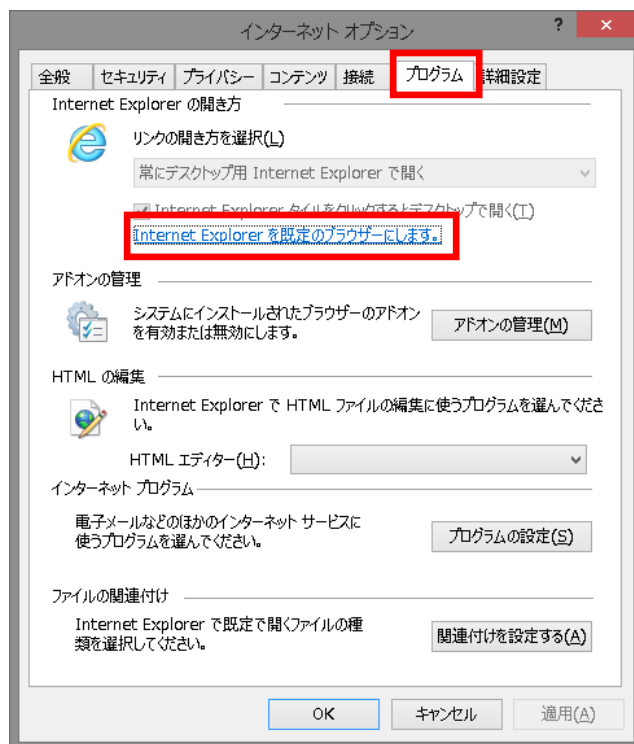
Internet Explorer を既定のブラウザに指定したい場合は、以下の手順で設定してください。なお、Internet Explorer または Chrome 以外が既定のブラウザに指定されている場合は、既定のブラウザで開かれた画面が正常に操作できない場合がありますのでご注意ください。

【操作開始】

1. Internet Explorer を起動し、[ツール] –[インターネットオプション] を選択します。

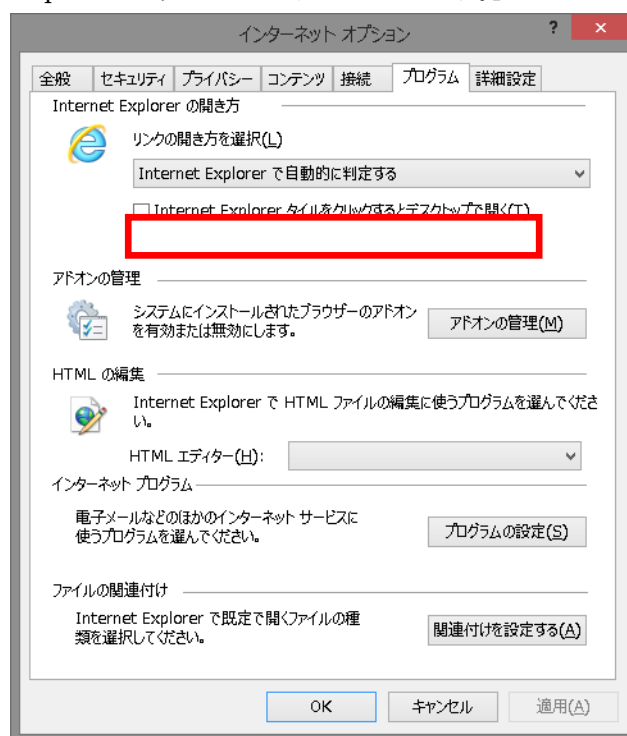


2. [プログラム] のタブを選択します。[Internet Explorer を既定のブラウザにします。] アンカーをクリックします。

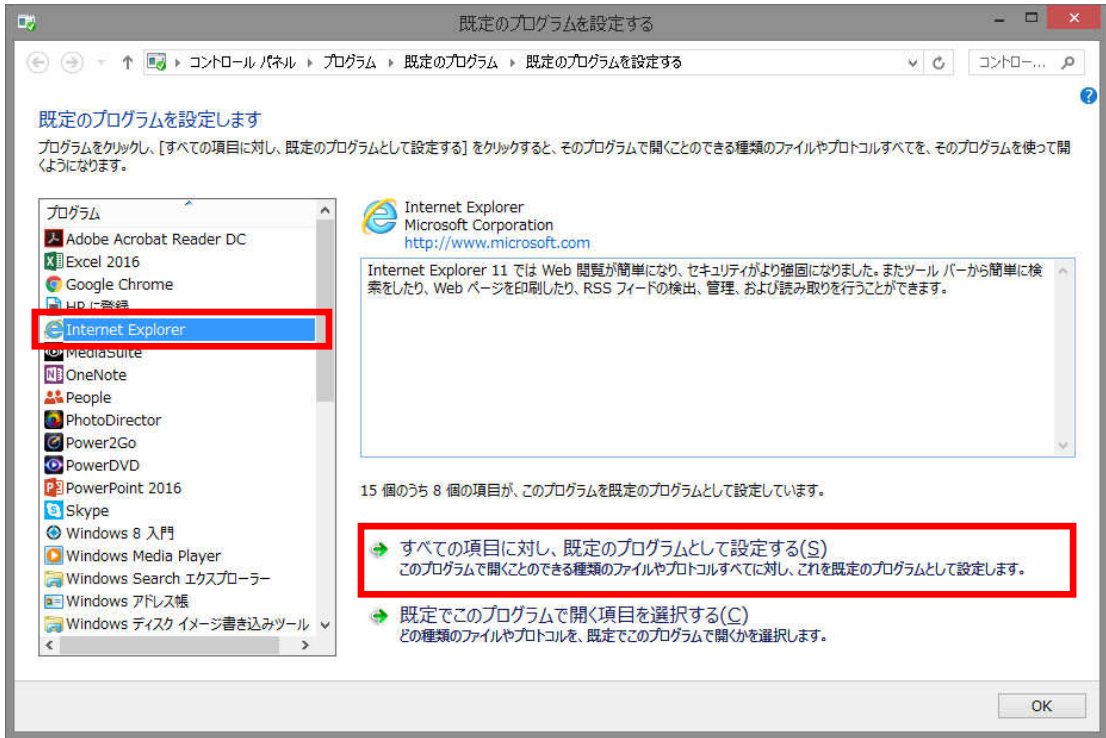


◆補足

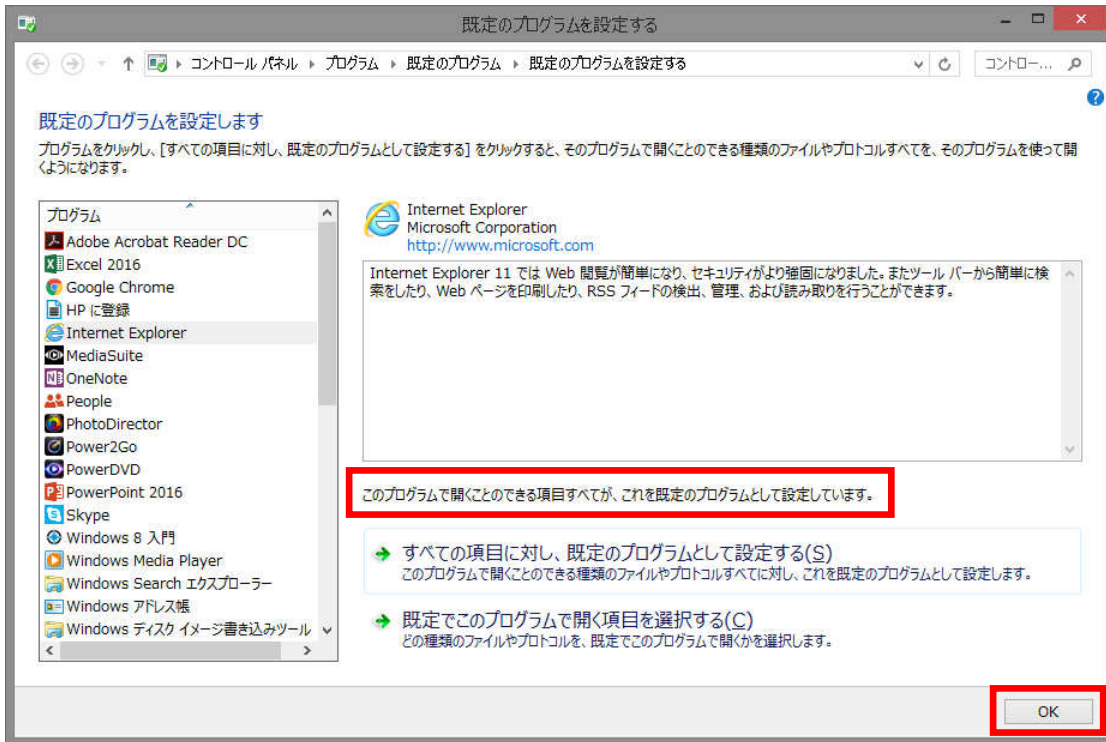
既に既定のブラウザに Internet Explorer が設定されている場合は、下記のように[Internet Explorer を既定のブラウザにします。] アンカーは表示されません。



3. 「既定のプログラムを設定する」画面で「Internet Explorer」を選択し、「全ての項目に対し、既定のプログラムとして設定する(S)」をクリックします。



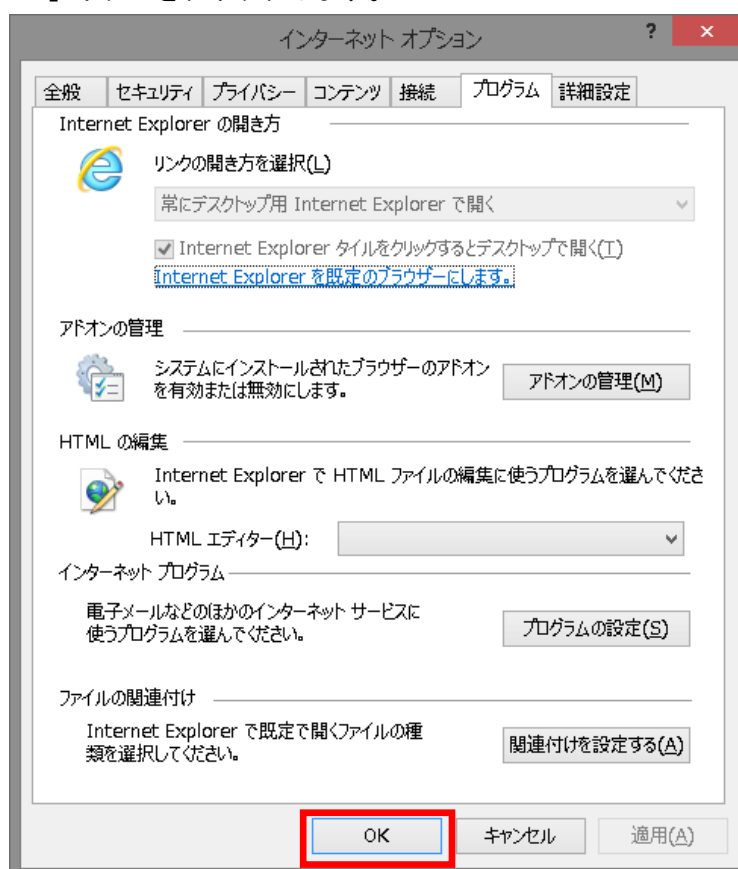
4. 以下の箇所に「このプログラムで開くことのできる項目すべてが、これらを既定のプログラムとして設定しています。」と表示されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。



5. 「既定のプログラム」画面をウィンドウの閉じるボタン（×ボタン）で閉じます。



6. 「OK」 ボタンをクリックします。

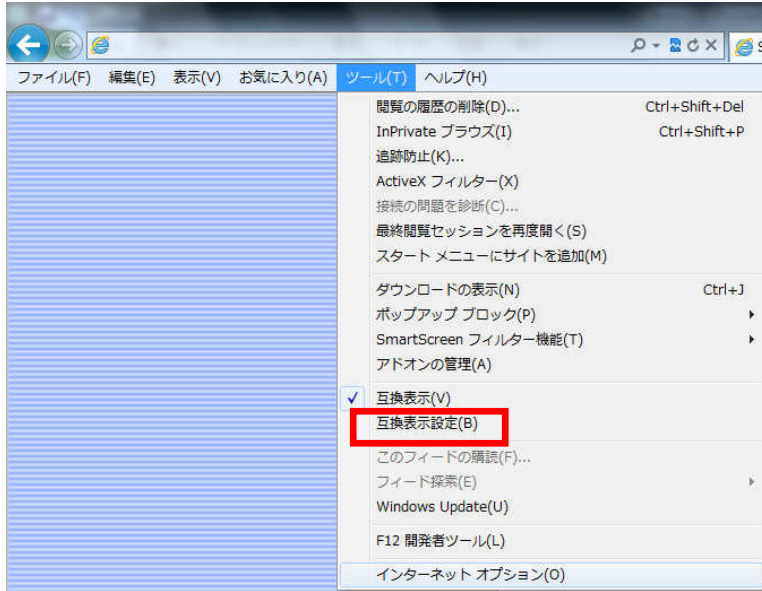


(8) 互換表示設定の無効化

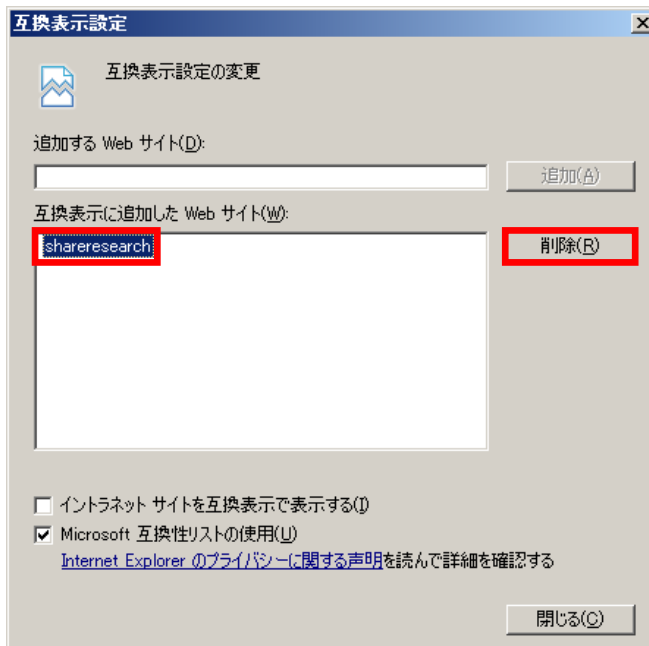
互換表示設定を確認し、有効になっている場合には無効にします。

【操作開始】

1. Internet Explorer を起動し、[ツール] - [互換表示設定] を選択します。



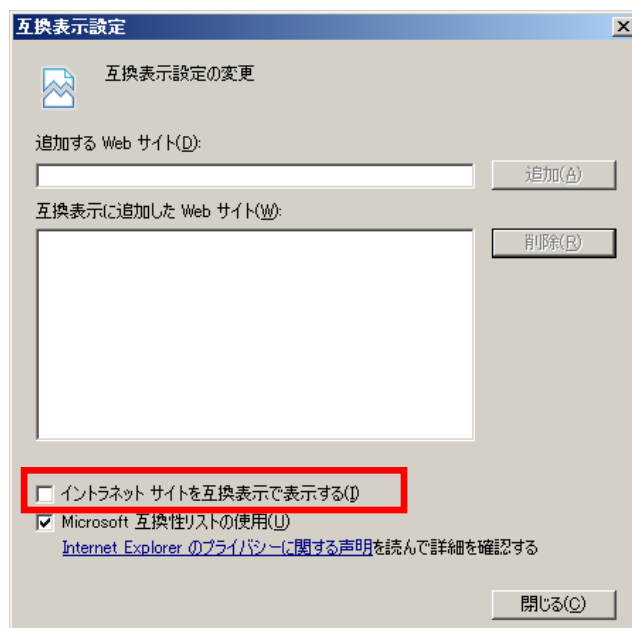
2. [互換表示に追加した Web サイト] に、SC サーバ名が表示されている場合、SC サーバ名をクリックし、[削除] ボタンをクリックします。ここではサーバー名を”shareresearch”としています。



◆補足

サーバー名ではなく IP アドレスで指定されている場合は、”http://サーバーの IP アドレス”が表示されています。

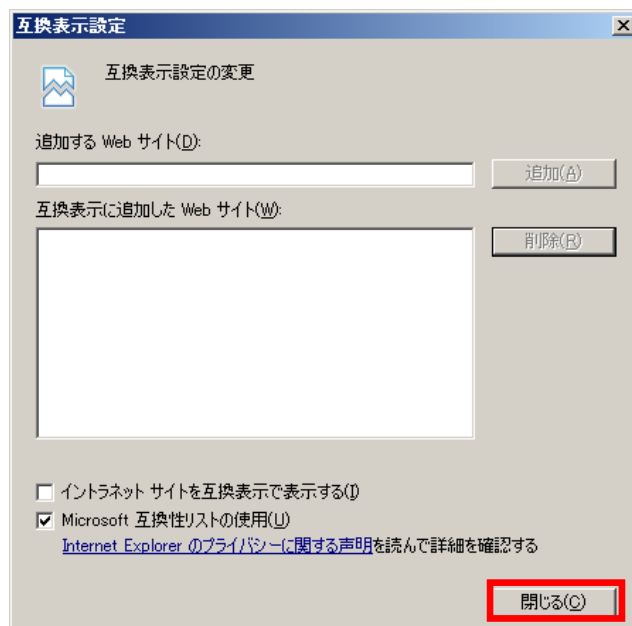
3. SCサーバとクライアントマシンが同一のイントラネット内に存在する場合は、「イントラネットサイトを互換表示で表示する」チェックボックスを外します。



◆補足

チェックを外した場合、他のイントラネット内のサイトにも影響があることがあります。

4. 「閉じる」ボタンをクリックします。



(9) PDF レイアウトの印刷設定 (ActiveX を使用しない設定の場合)

ご利用の環境が PDF レイアウトの印刷および「パテントマップ EXZ」との連携 (マップ連携オプションご利用時) で ActiveX を使用しない設定の場合、本設定を行う必要があります。ご利用の環境が ActiveX を使用しない設定になっているかどうかについては、システム管理者にご確認ください。なお、Excel マクロをご利用できる環境かどうかで手順が異なります。以下を参考に実施してください。

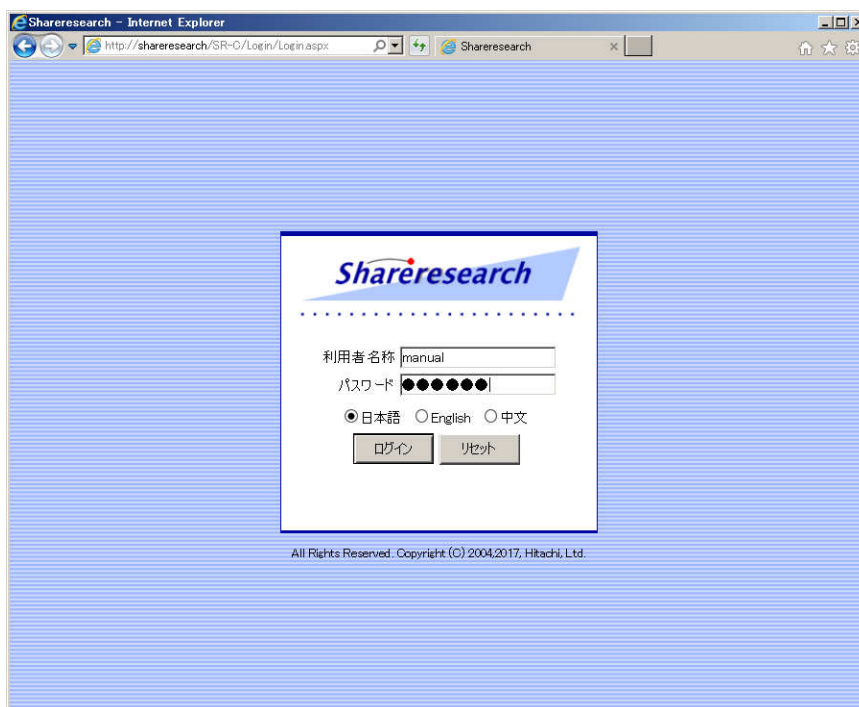
【Excel マクロをご利用になれる場合】 手順 1 ~ 10、16 ~ 34

【Excel マクロをご利用になれない場合】 手順 11 ~ 34

【操作開始】

1. 手順 1 ~ 10 は、Excel マクロをご利用になれる環境の場合のみ実施してください。

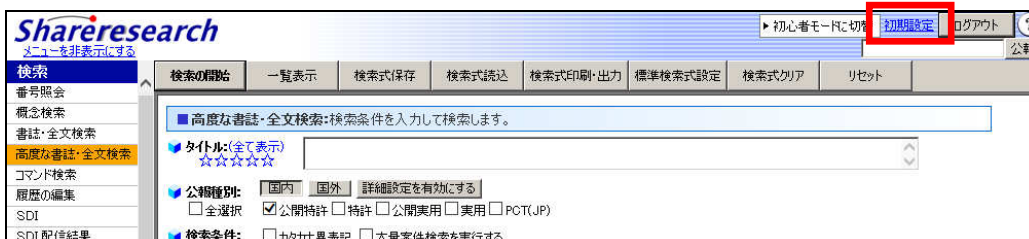
ログインします。



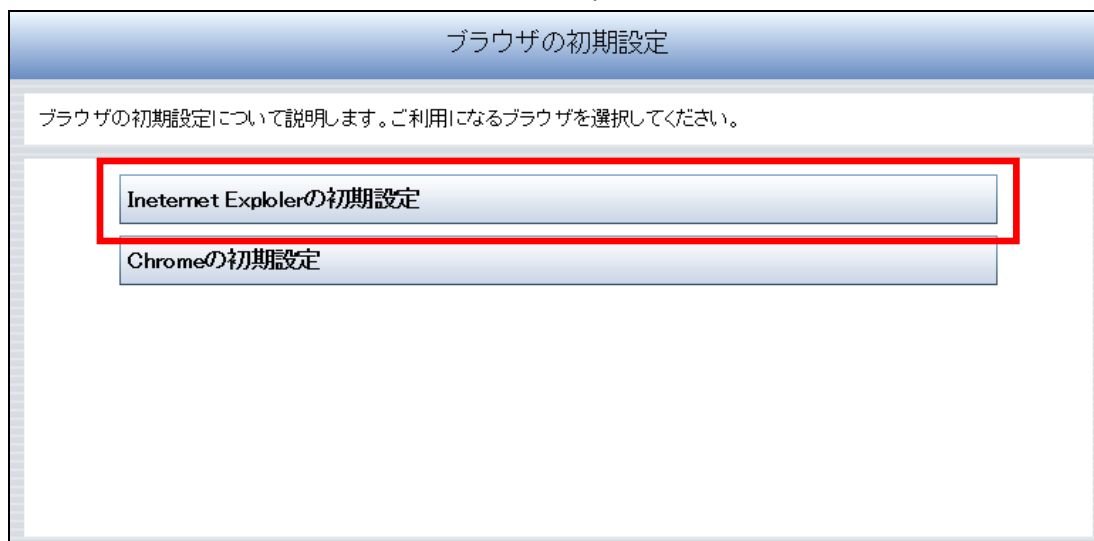
◆補足

・ログイン方法の詳細は「2.2.1 ログイン方法」を参照してください。

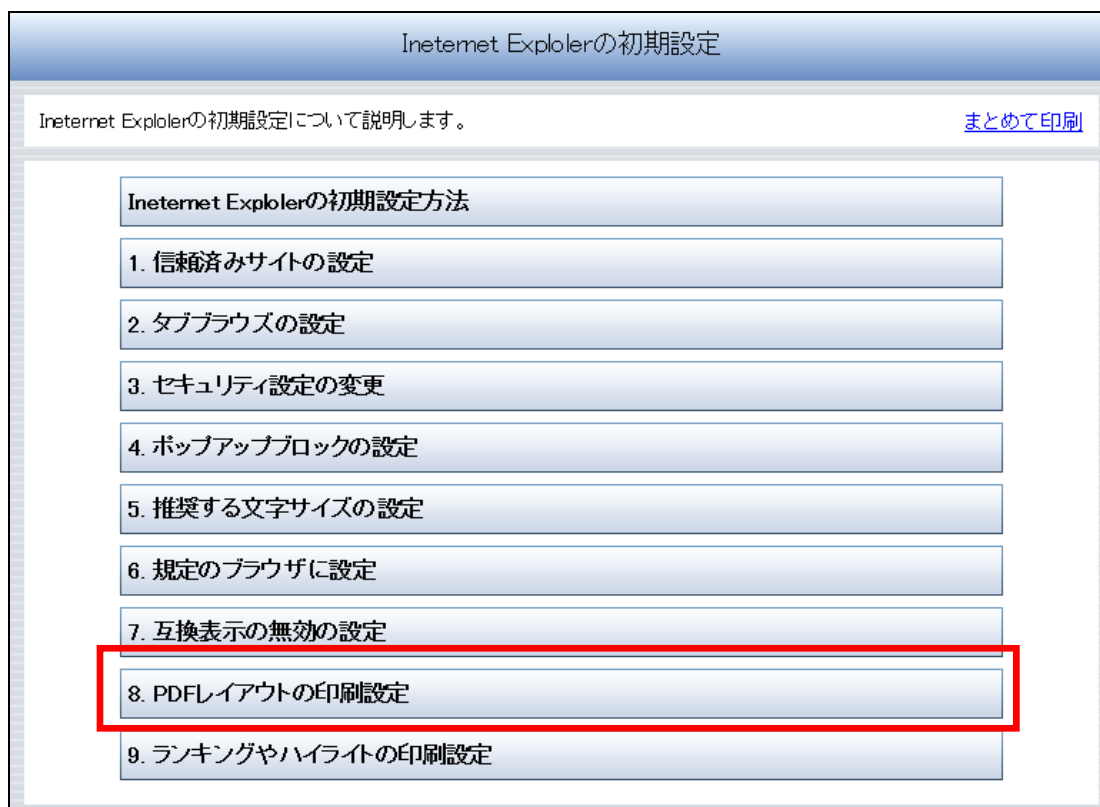
2. 「初期設定」アンカーをクリックします。



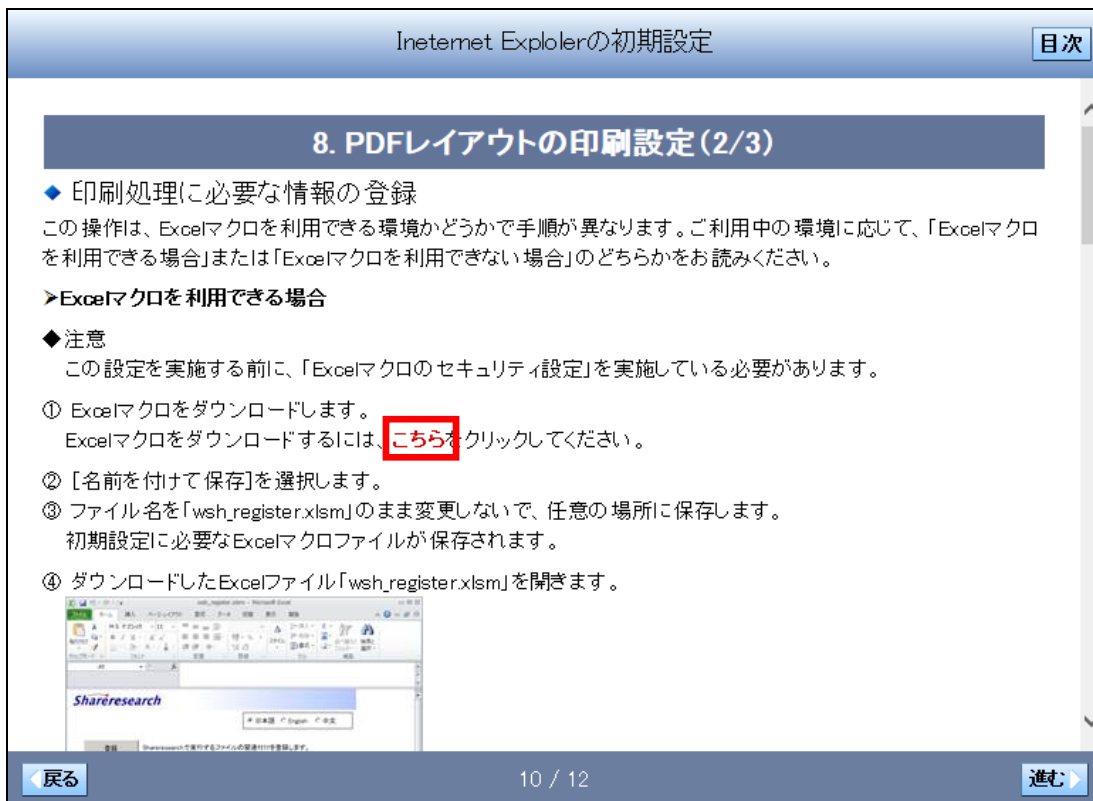
3. 「ブラウザの初期設定」画面から、「Internet Explorer の初期設定」をクリックします。



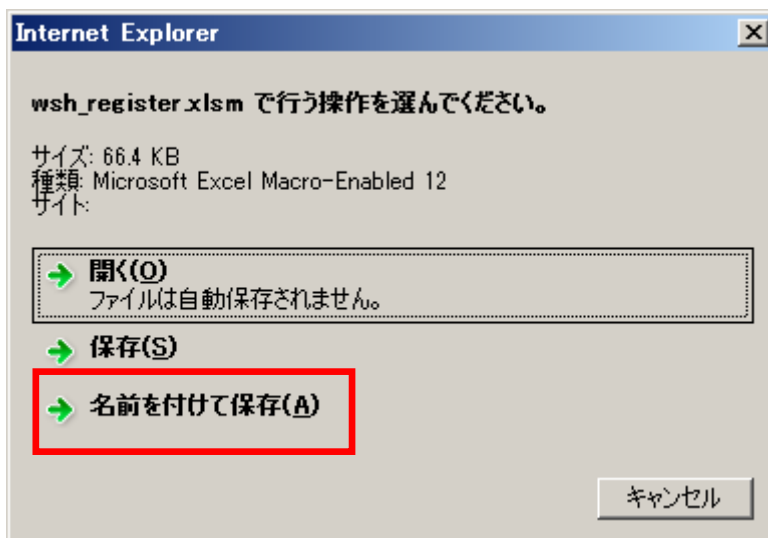
4. 「Internet Explorer の初期設定」画面から「8.PDF レイアウトの印刷設定」をクリックします。



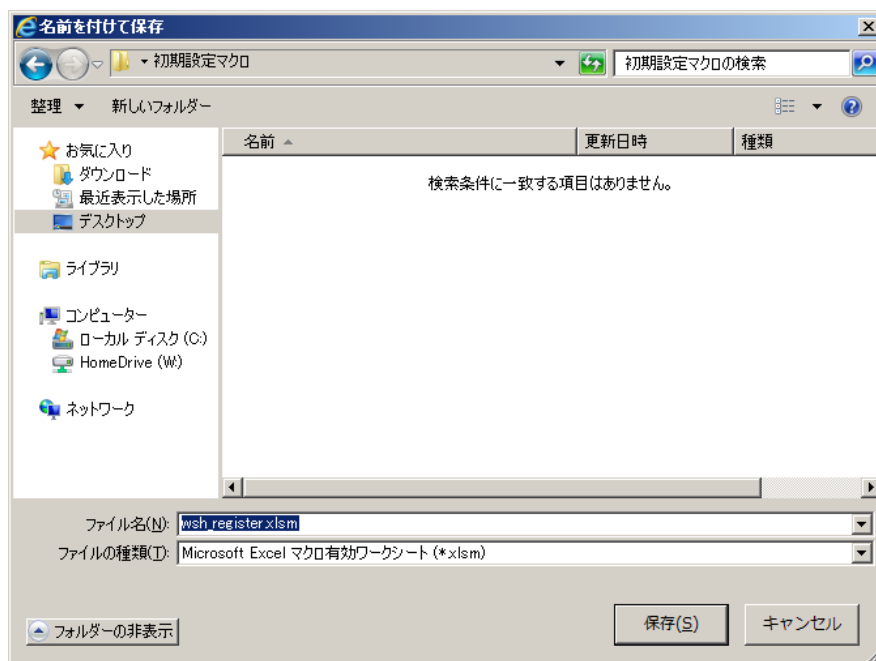
5. 「8. PDF レイアウトの印刷設定 (2/3)」画面から、「こちら」アンカーをクリックします。



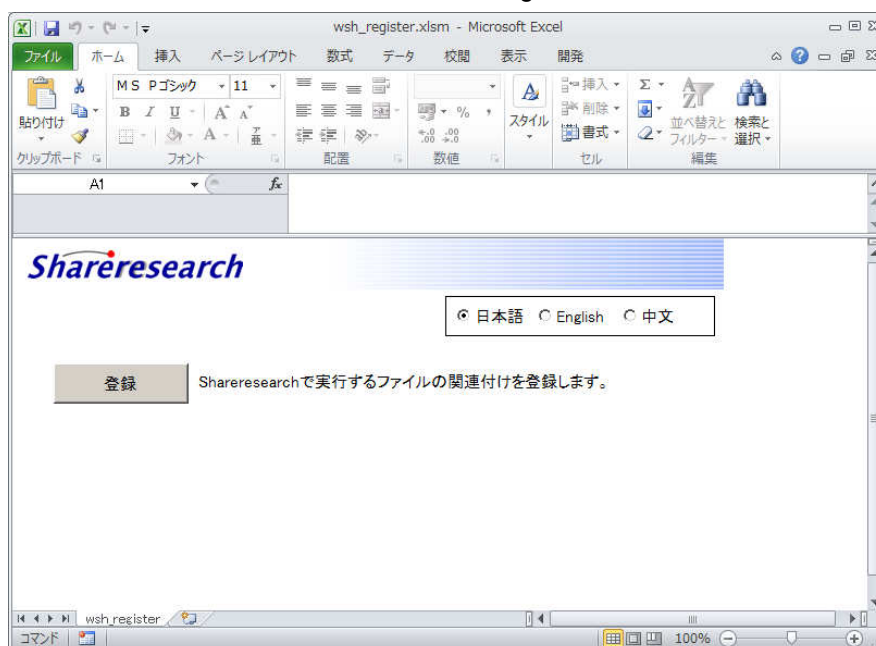
6. 以下のダウンロードダイアログが表示されますので、「名前を付けて保存」を選択します。



7. 「名前を付けて保存」画面が表示されるので、ファイル名を変更せず任意の場所に保存します。初期設定に必要な Excel マクロファイルが保存されます。

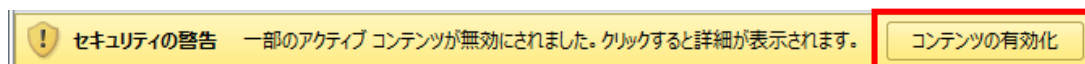


8. ダウンロードした Excel ファイル「wsh_register.xlsm」を開きます。

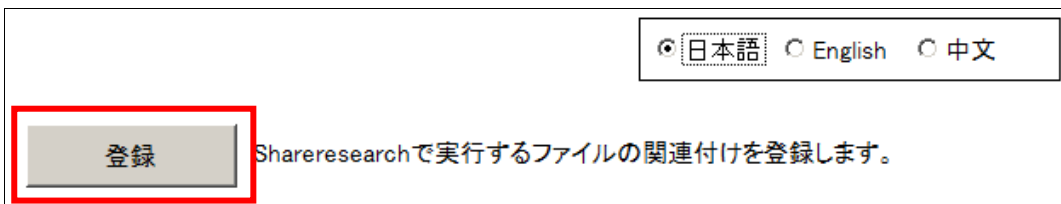


◆補足

- ・本手順の実施前に「1.2 Excelのセキュリティ設定」を実施している必要があります。
- ・Excel ファイルを開くと、以下の警告が表示される場合があります。「このコンテンツを有効化」をクリックしてください。



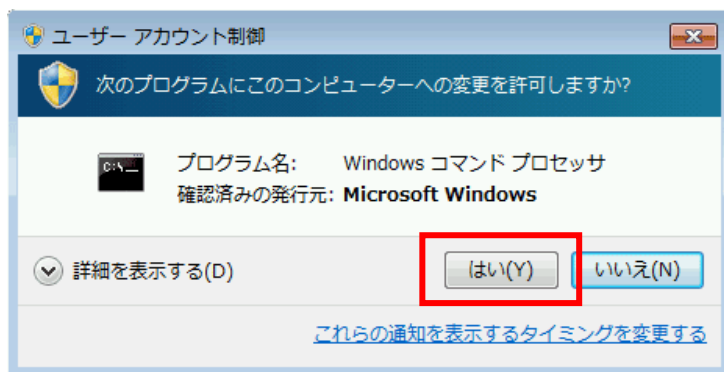
9. 「登録」 ボタンをクリックします。



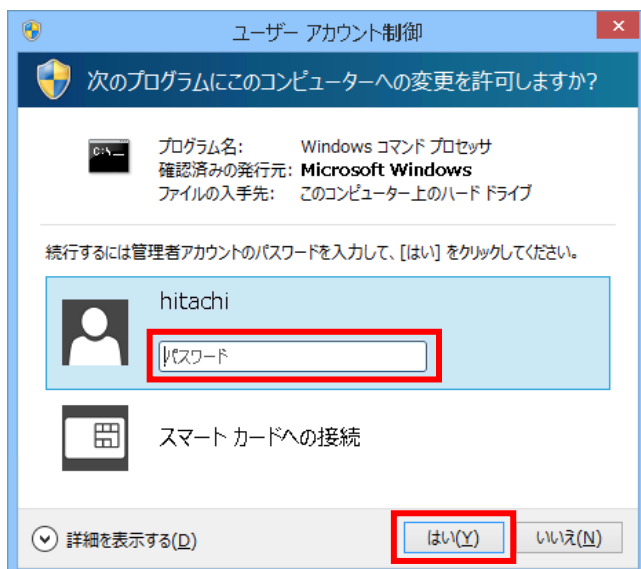
◆補足

- ・「English」ラジオボタン、「中文」ラジオボタンを選択すると、Excel ファイル内のボタン名やメッセージなどが英語および中国語で表示されます。
- ・本プログラムは管理者権限で実行する必要があります。環境によっては、「登録」ボタンをクリックすると以下の確認ダイアログが表示されます。その場合は、それぞれ以下のように操作してください。

【パターン1】以下の確認ダイアログが表示された場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。



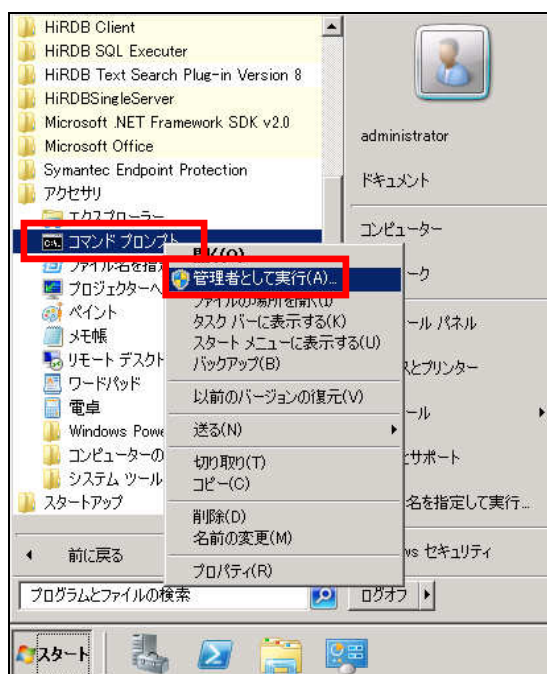
【パターン2】以下の確認ダイアログが表示された場合は、「パスワード」欄に管理者パスワードを入力して、「はい」ボタンをクリックしてください。



10. 以下の画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。保存した Excel ファイル「wsh_register.xlsm」は削除して問題ありません。



11. 手順 11～15 は、Excel マクロをご利用になれない環境の場合のみ実施してください。
スタートメニューから、「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を右クリックし、「管理者として実行」を選択してコマンドプロンプトを起動します。



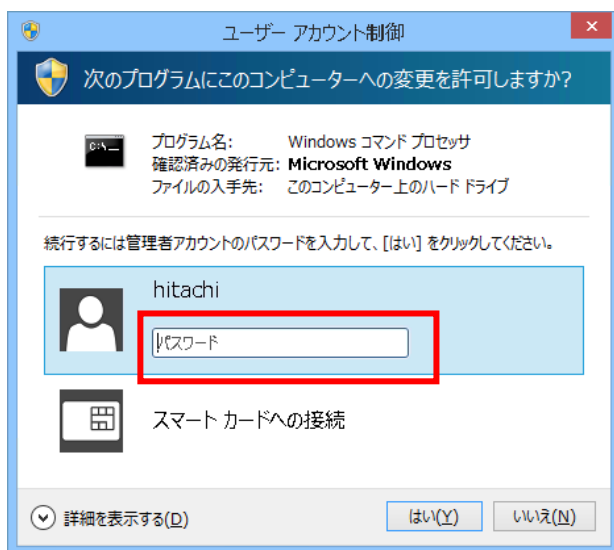
◆補足

- ・環境によっては、コマンドプロンプトを起動すると以下の確認ダイアログが表示されます。その場合は、それぞれ以下のように操作してください。

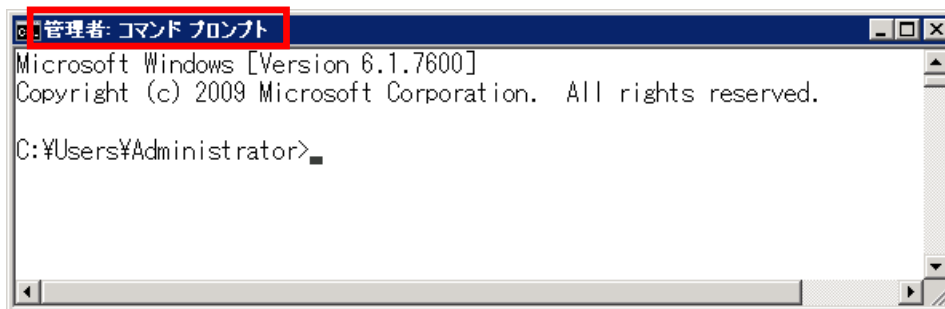
【パターン1】以下の確認ダイアログが表示された場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。



【パターン2】以下の確認ダイアログが表示された場合は、「パスワード」欄に管理者パスワードを入力して、「はい」ボタンをクリックしてください。



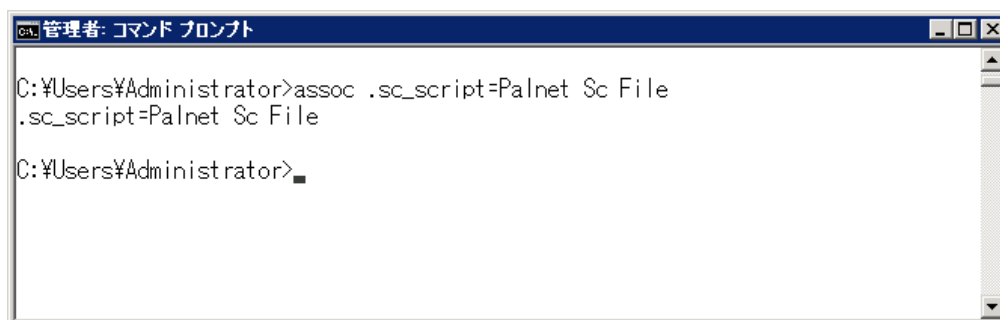
- ・管理者権限でコマンドプロンプトを起動すると、コマンドプロンプトのタイトルバーに「管理者: コマンドプロンプト」と表示されます。



12. 以下のコマンドを実行します。

```
assoc .sc_script=Palnet Sc File
```

13. 以下の画面が表示され、エラーがないことを確認します。

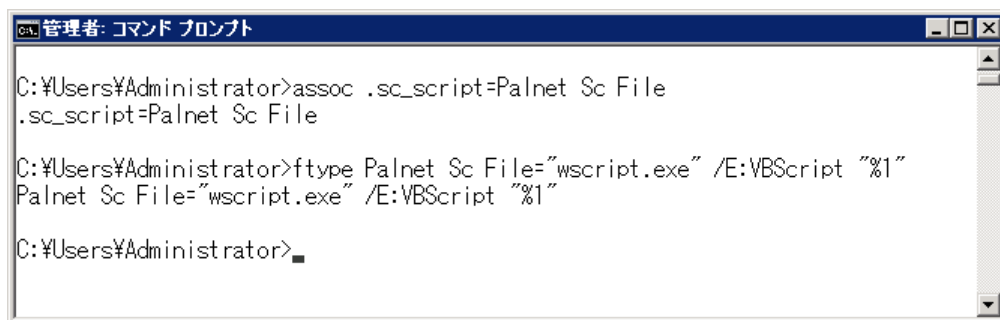


The screenshot shows a Windows command prompt window titled "管理 管理者: コマンド プロンプト". The prompt is at "C:\Users\Administrator>". The user has entered the command "assoc .sc_script=Palnet Sc File". The output of the command is ".sc_script=Palnet Sc File". The prompt is now "C:\Users\Administrator>".

14. 以下のコマンドを実行します。

```
ftype Palnet Sc File="wscript.exe" /E:VBScript "%1"
```

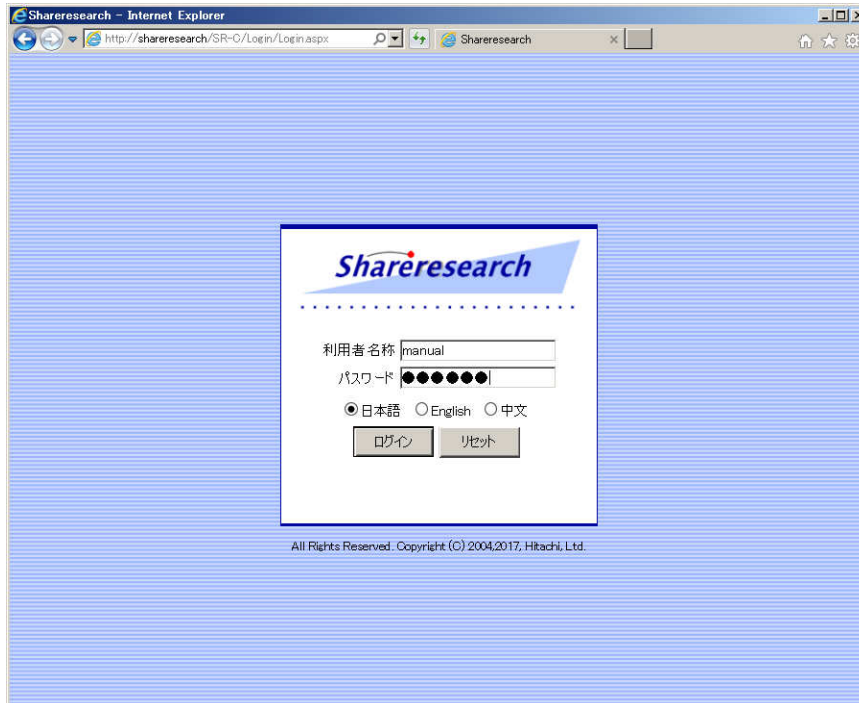
15. 以下の画面が表示され、エラーがないことを確認します。



The screenshot shows a Windows command prompt window titled "管理 管理者: コマンド プロンプト". The prompt is at "C:\Users\Administrator>". The user has entered the command "assoc .sc_script=Palnet Sc File". The output of the command is ".sc_script=Palnet Sc File". The prompt is now "C:\Users\Administrator>". The user has entered the command "ftype Palnet Sc File="wscript.exe" /E:VBScript "%1"". The output of the command is "Palnet Sc File="wscript.exe" /E:VBScript "%1"". The prompt is now "C:\Users\Administrator>".

16. 手順16～34はExcelマクロをご利用になれるかどうかに関わらず、全ての環境で実施してください。

手順1でログインしていない場合は、ログインします。



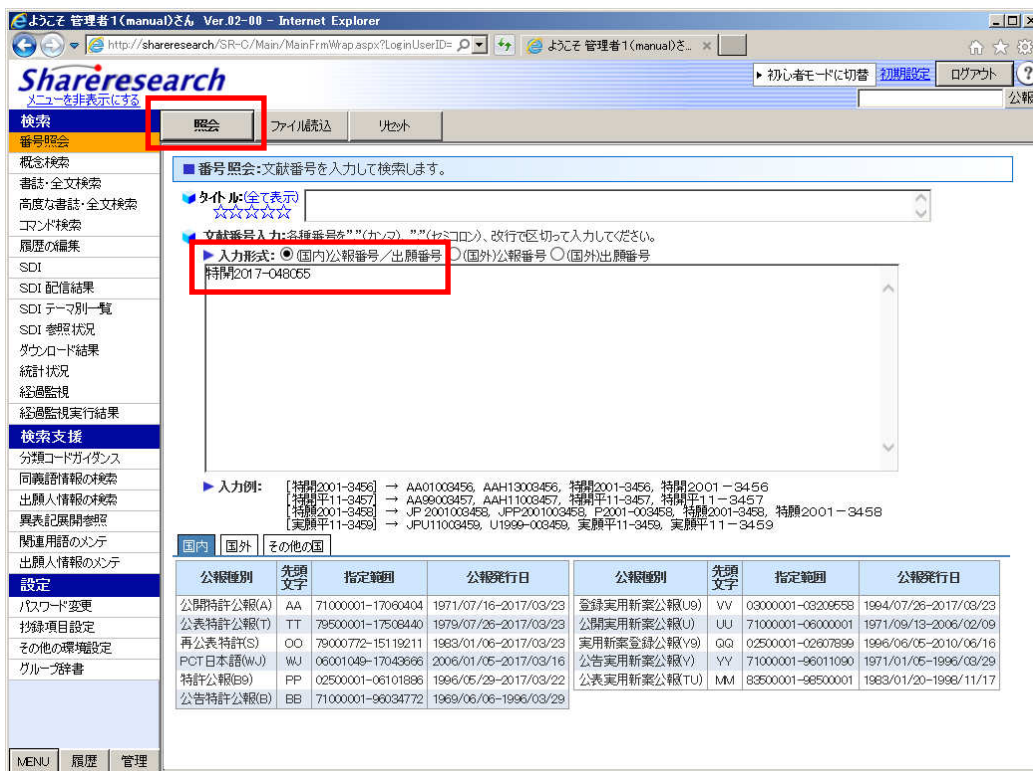
◆補足

ログイン方法の詳細は「2.2.1 ログイン方法」を参照してください。

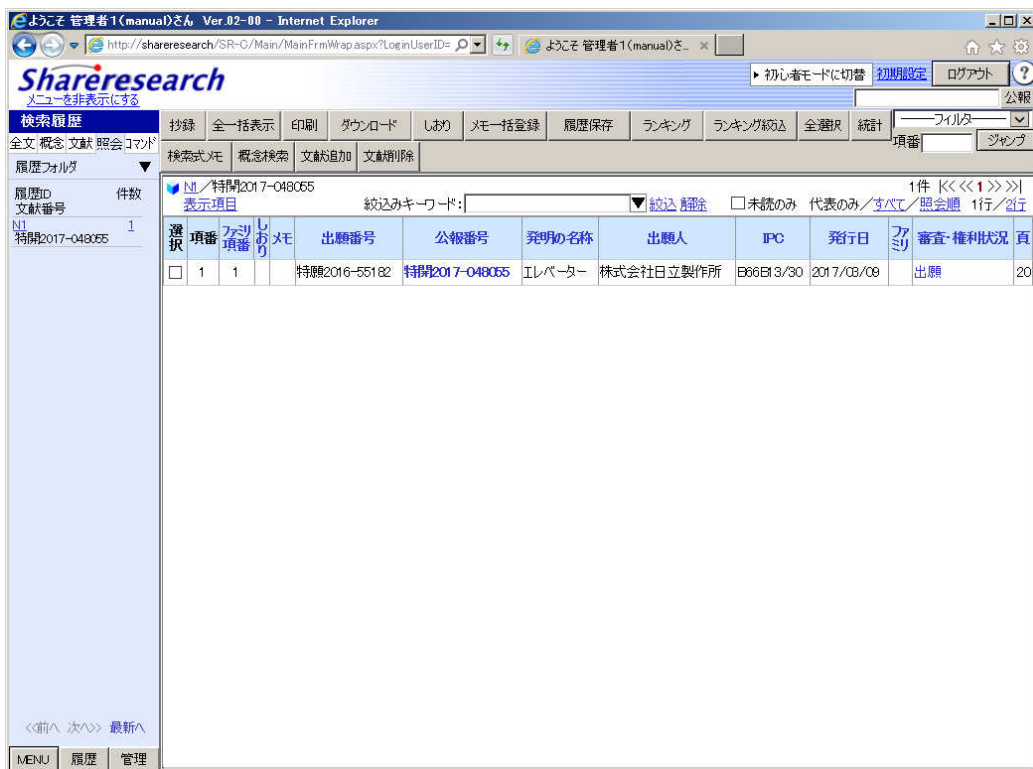
17. 画面左側の機能メニューフレームから「番号照会」をクリックします。



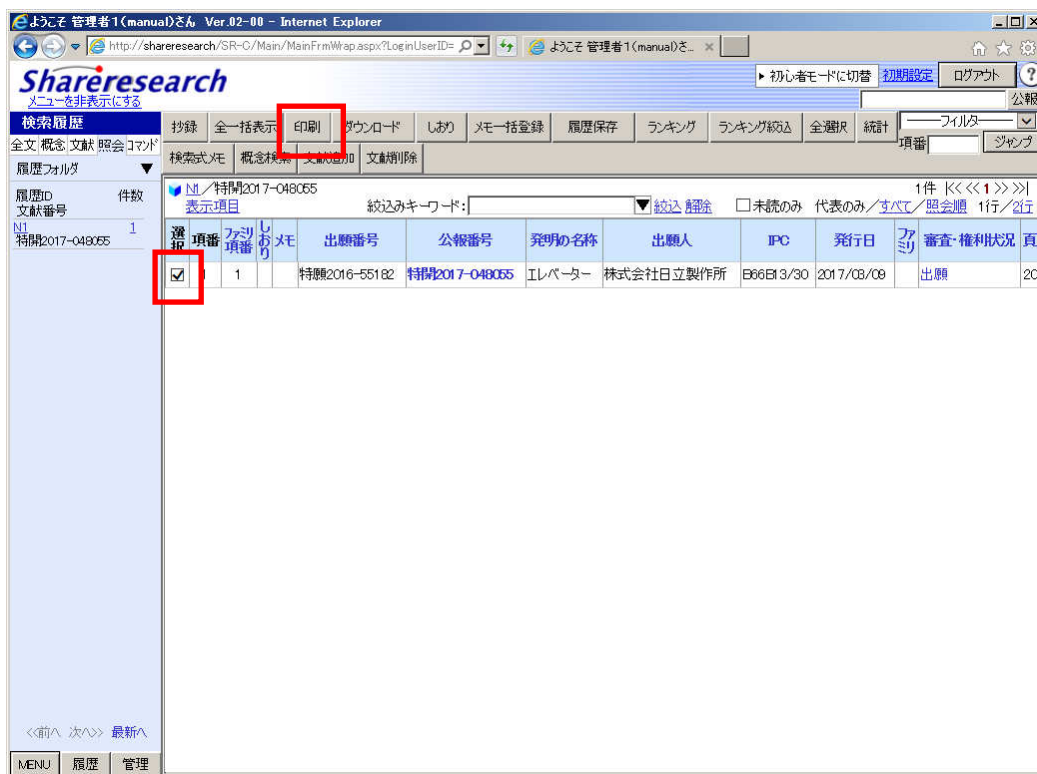
18. 「番号照会」画面が表示されますので、「入力形式」で「(国内)公報番号／出願番号」を選択し、「特開 2017-048055」を入力して「照会」ボタンをクリックします。



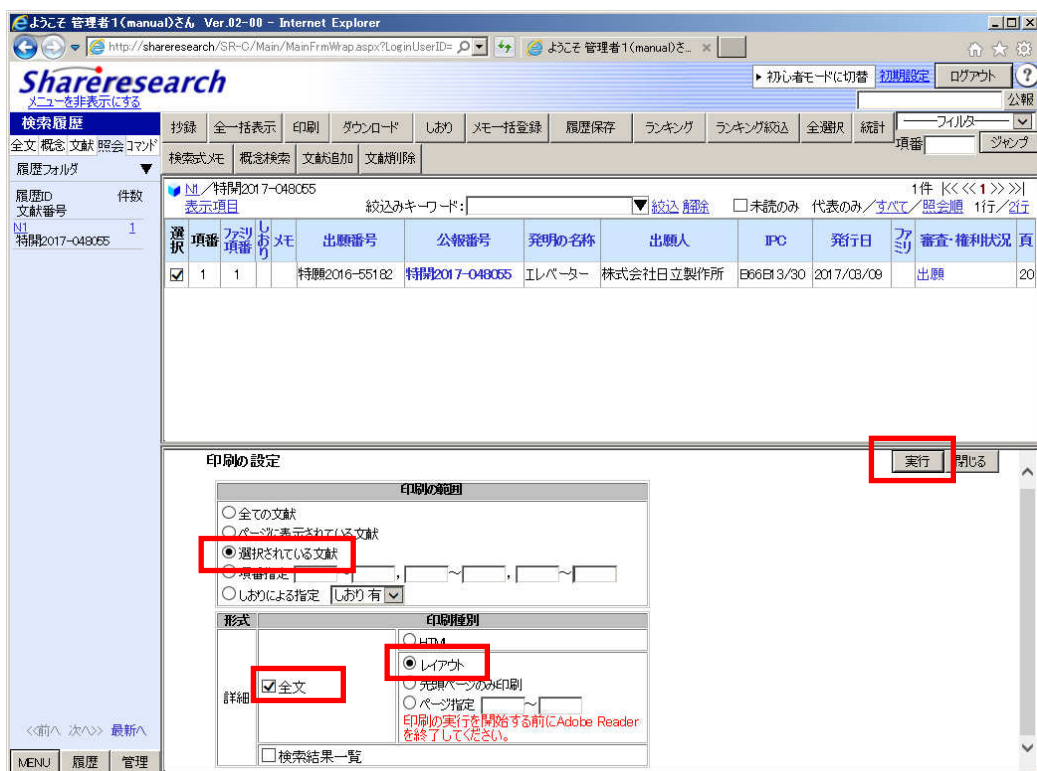
19. 検索結果が表示されることを確認します。



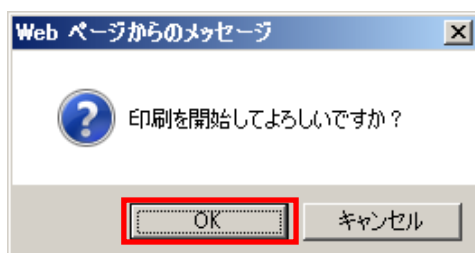
20. 項番 1 の案件にチェックを付け、「印刷」ボタンをクリックします。



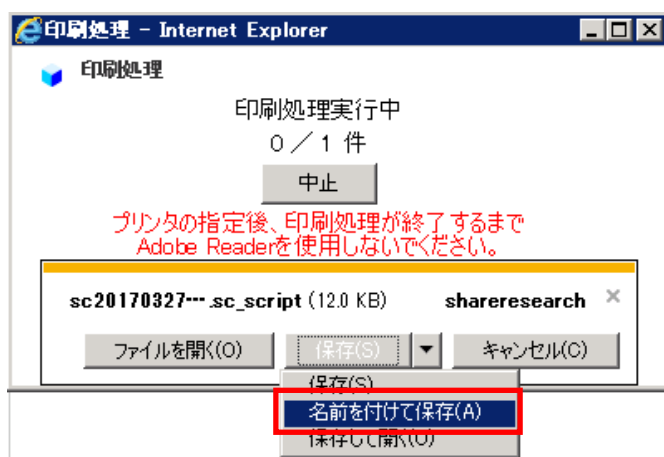
21. 「印刷の設定」サブフレームにて、「印刷の範囲」で「選択されている文献」、印刷種別で「全文」「レイアウト」を選択し、「実行」ボタンをクリックします。



22. 以下のようなメッセージボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。

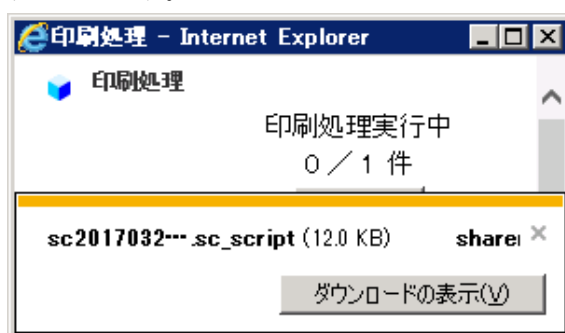


23. 「印刷処理」画面で以下のダイアログが表示されますので、「名前を付けて保存」を選択します。

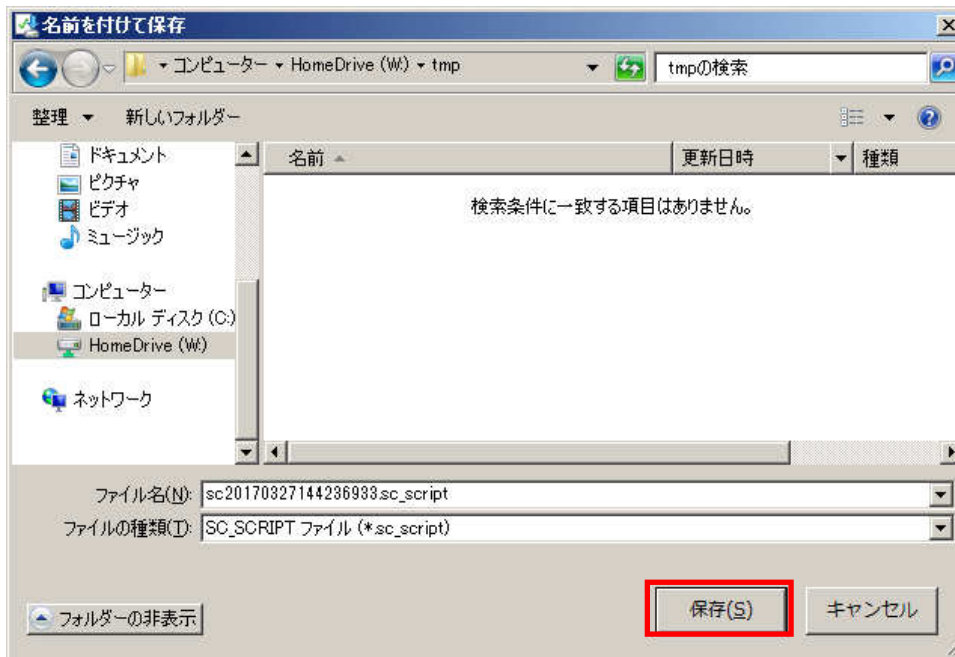


◆補足

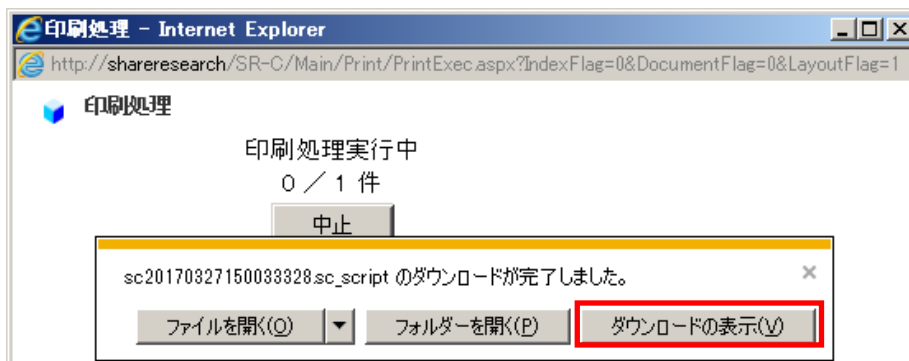
環境によっては、ダイアログの内容が以下の様に表示される場合があります。その場合は、「印刷処理」画面のウィンドウサイズを大きくすることで、「保存」ボタンが表示されるようになります。



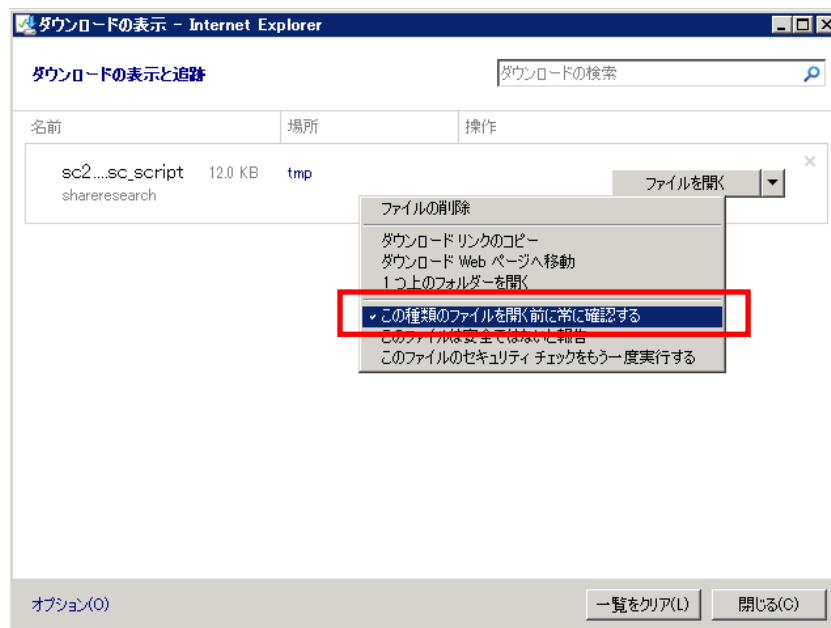
24. 「名前を付けて保存」画面が表示されるので、ファイル名を変更せず任意の場所に保存します。



25. 「ダウンロードの表示(V)」ボタンを選択します。



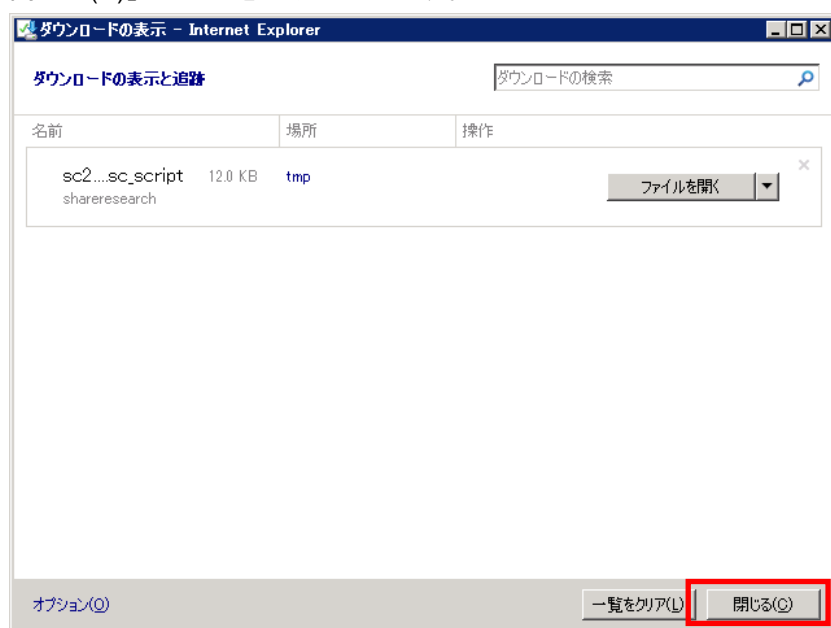
26. 「ダウンロードの表示」画面で「sc_script」ファイルの行で右クリックをし、表示されたメニューで「この種類のファイルを開く際に常に確認する」のチェックを外します。



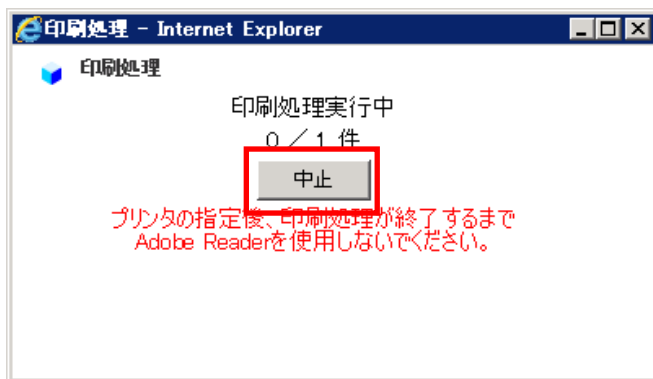
◆補足

環境によっては、「この種類のファイルを開く際に常に確認する」が表示されない場合があります。その場合は、手順26は実施せず、手順27を実施してください。なお、「この種類のファイルを開く際に常に確認する」が表示されない環境では、印刷処理実行時に手動で拡張子「sc_script」のファイルを実行する必要があります。詳細は「5.5.2 印刷」を参照してください。

27. 「閉じる(C)」ボタンをクリックします。

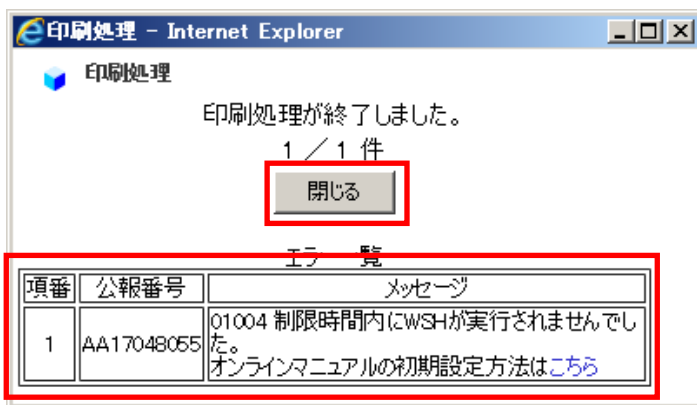


28. 「中止」 ボタンをクリックします。

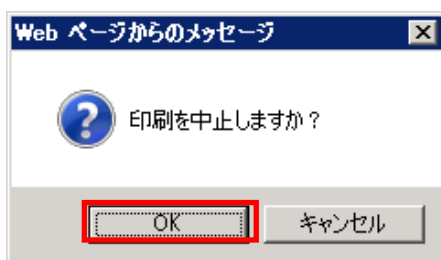


◆補足

ファイルを保存してから 30 秒以上経過すると以下のメッセージが表示されますが、問題ありません。また、その場合は「閉じる」ボタンをクリックしてください。



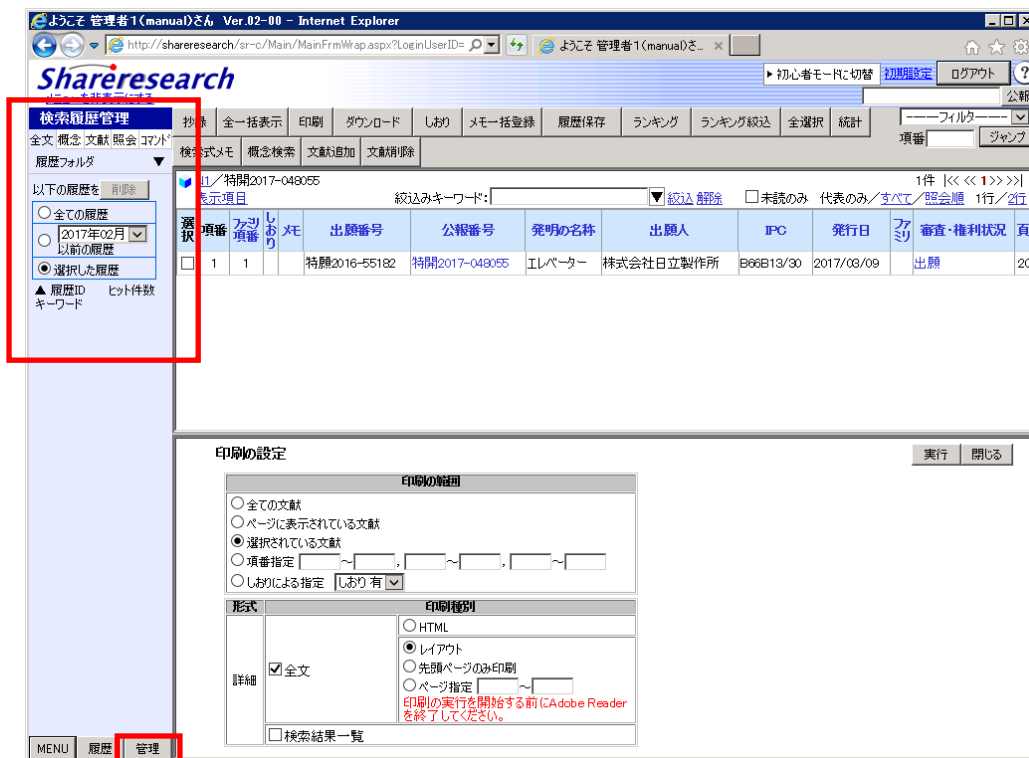
29. 「OK」 ボタンをクリックします。



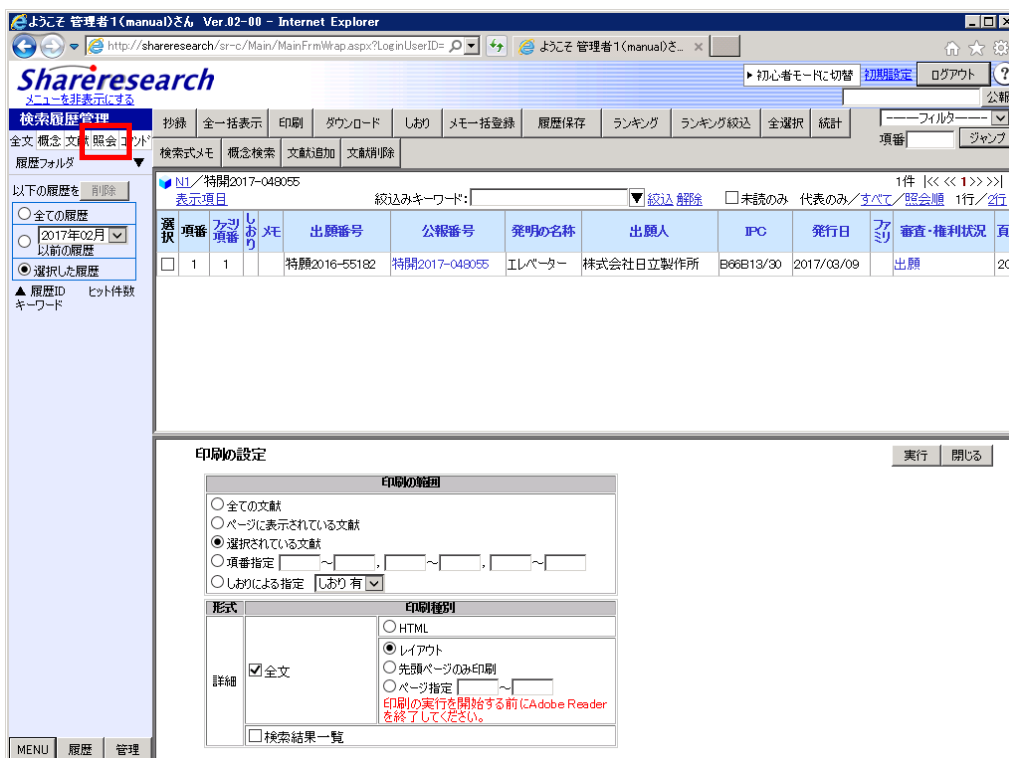
◆補足

「印刷処理」画面を「閉じる」ボタンで閉じた場合には表示されません。

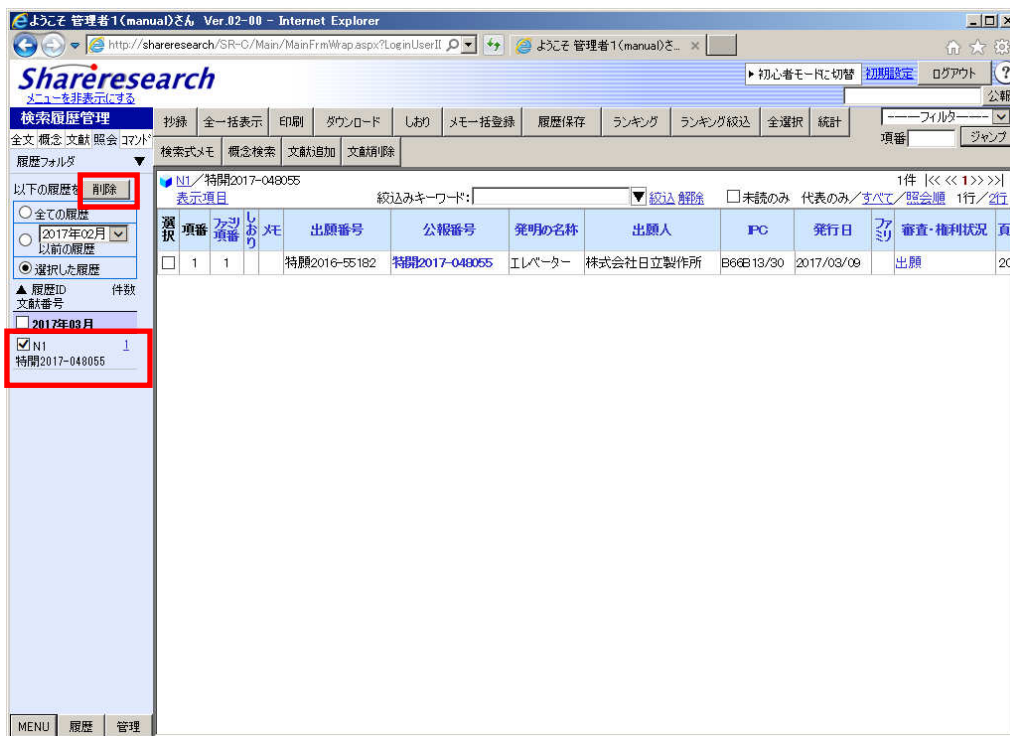
30. 必要に応じて、番号照会の検索履歴を削除します。画面左下の「管理」ボタンをクリックし、画面左側に検索履歴管理フレームを表示します。



31. 検索履歴管理フレームの「照会」タブをクリックします。



32. 一番最新の履歴 ID にチェックを入れ、「削除」ボタンをクリックします。



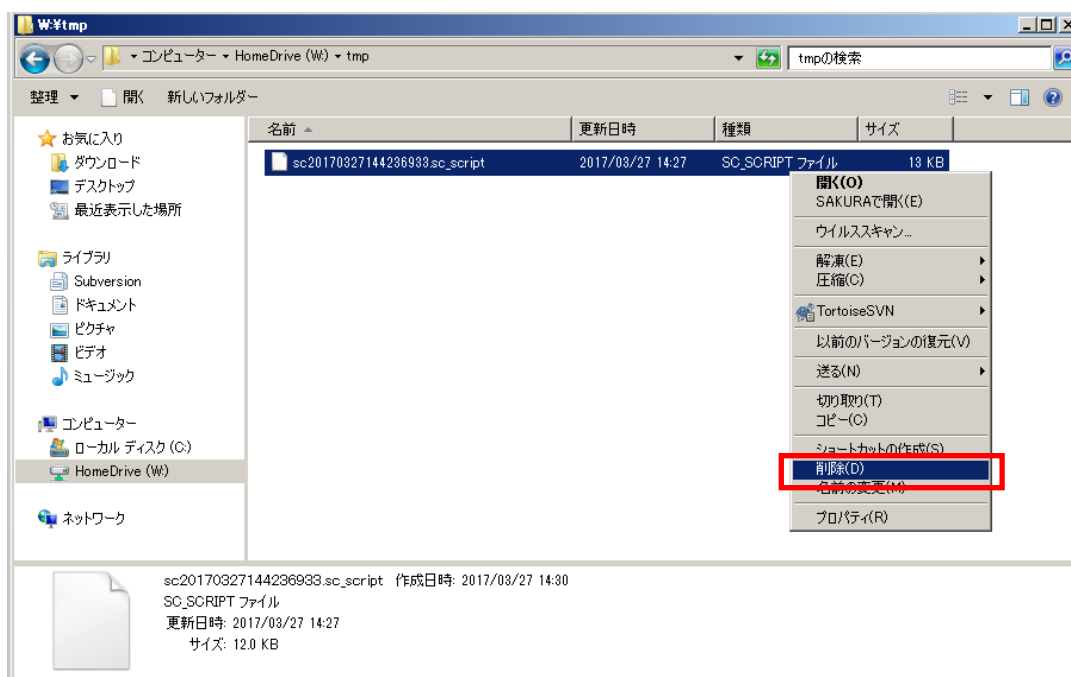
33. 「ログアウト」ボタンをクリックし、ログアウトします。



◆補足

ログアウト方法の詳細は「2.3 ログアウト」を参照してください。

34. 手順 2 4 で保存したファイルを削除します。ファイル選択し、右クリックから「削除(D)」をクリックします。



1.3.2 Chrome の場合

(1) ポップアップブロックの設定

ポップアップブロックの設定を確認します。

【操作開始】

1. Chrome を起動し、画面右上部の[⋮]-[設定]を選択します。



2. 設定の[詳細設定 ▼]をクリックします。



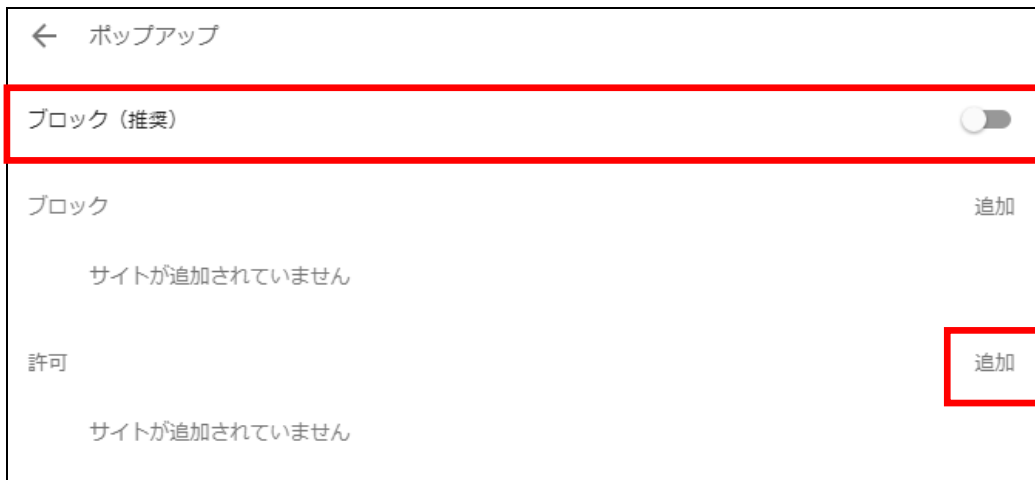
3. 設定の[プライバシーとセキュリティ]–[コンテンツの設定]をクリックします。



4. 設定の[コンテンツの設定]–[ポップアップ]をクリックします。

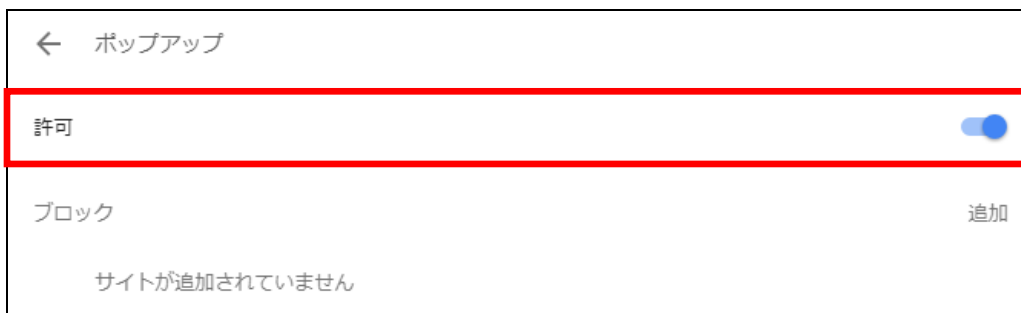


5. 設定の[ポップアップ]で[ブロック(推奨)]が選択された状態となっていることを確認し、[許可]→[追加]をクリックします。

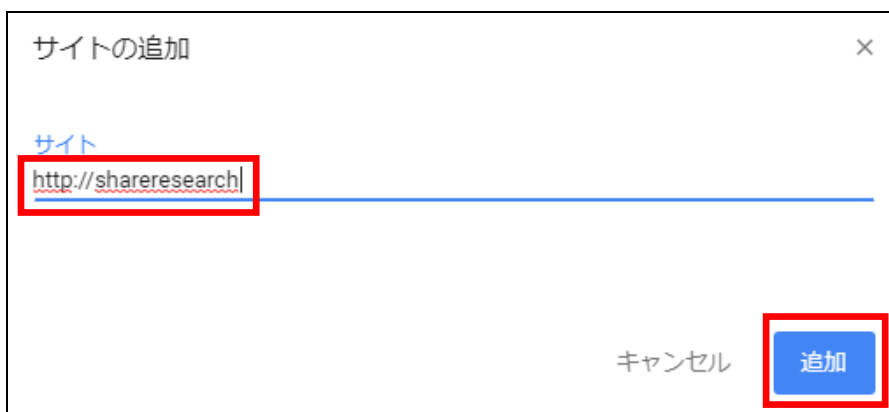


◆補足

設定の[ポップアップ]で[許可]が選択されている場合には、本設定は不要です。



6. [サイトの追加]で[サイト]に”http://サーバー名”を入力し、[追加]をクリックします。ここではサーバー名を”shareresearch”としています。



◆補足

サーバー名ではなく IP アドレスで指定する場合は、”http://サーバーの IP アドレス”を指定してください。

7. 「×」ボタンをクリックし、ブラウザを閉じます。



(2) ダウンロード保存先の設定

Chrome をご利用の場合、Excel ダウンロードや検索式の保存などでダウンロードしたファイルは、標準設定では自動で「C:\¥Users¥ユーザー名¥Downloads」配下に保存されます。ダウンロード前に常にファイルの保存場所を確認する設定にするか、ダウンロードファイルの自動保存先を変更したい場合は、以下の手順で設定してください。

【操作開始】

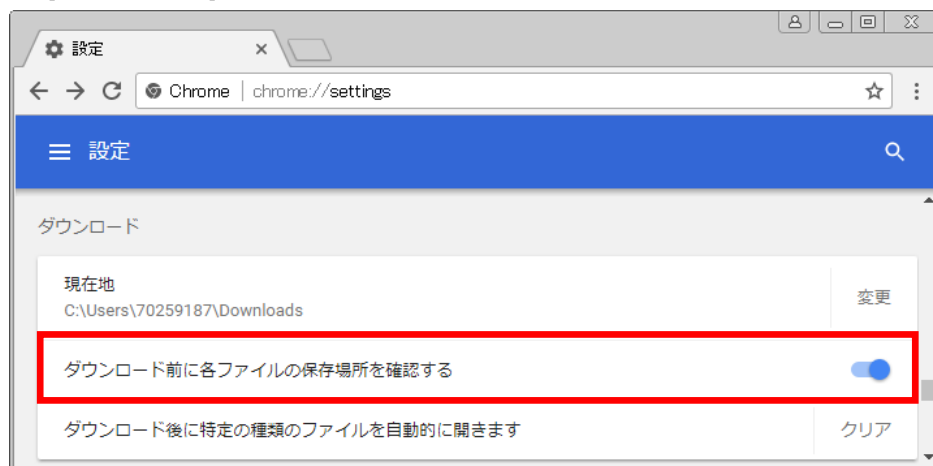
1. Chrome を起動し、画面右上部の[⋮]-[設定]を選択します。



2. 設定の[詳細設定 ▼]をクリックします。

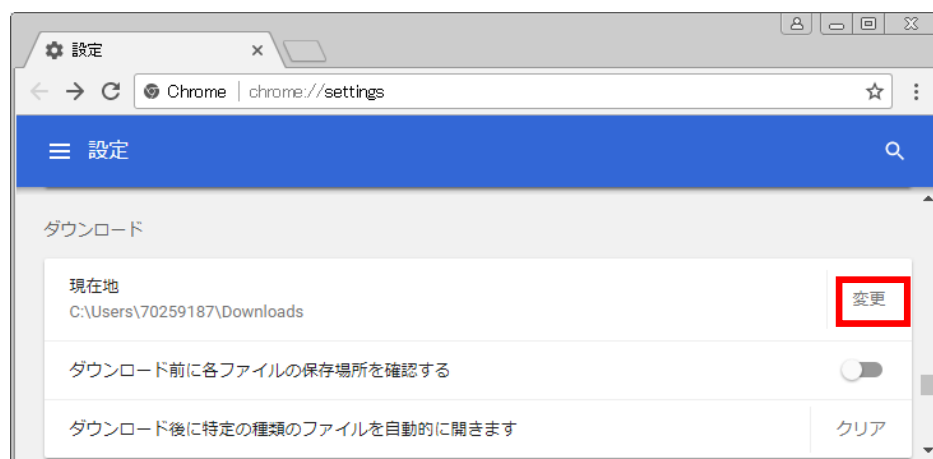


3. 設定の[ダウンロード]で[ダウンロード前に各ファイルの保存場所を確認する]を有効にします。

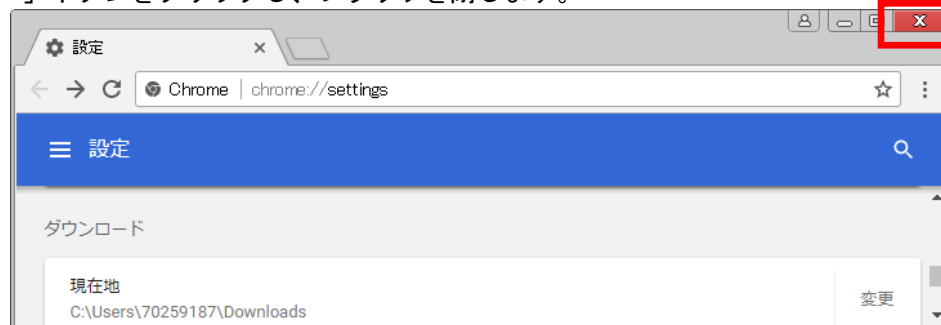


◆補足

上記手順で[ダウンロード前に各ファイルの保存場所を確認する]を有効にしない場合には、自動で指定先にファイルが保存されます。自動での保存先を変更したい場合には、設定の[ダウンロード]—[現在地]で、[変更]をクリックし、ダウンロードするファイルの保存先を選択します。



4. 「×」ボタンをクリックし、ブラウザを閉じます。



(3) ランキングやハイライトの印刷設定

ランキングやハイライトの印刷を行うためには以下の設定を見直します。ランキングの印刷方法は「4.5 ランキング」を参照して下さい。

【操作開始】

1. Chrome を起動し、画面右上部の[⋮]-[印刷]を選択します。



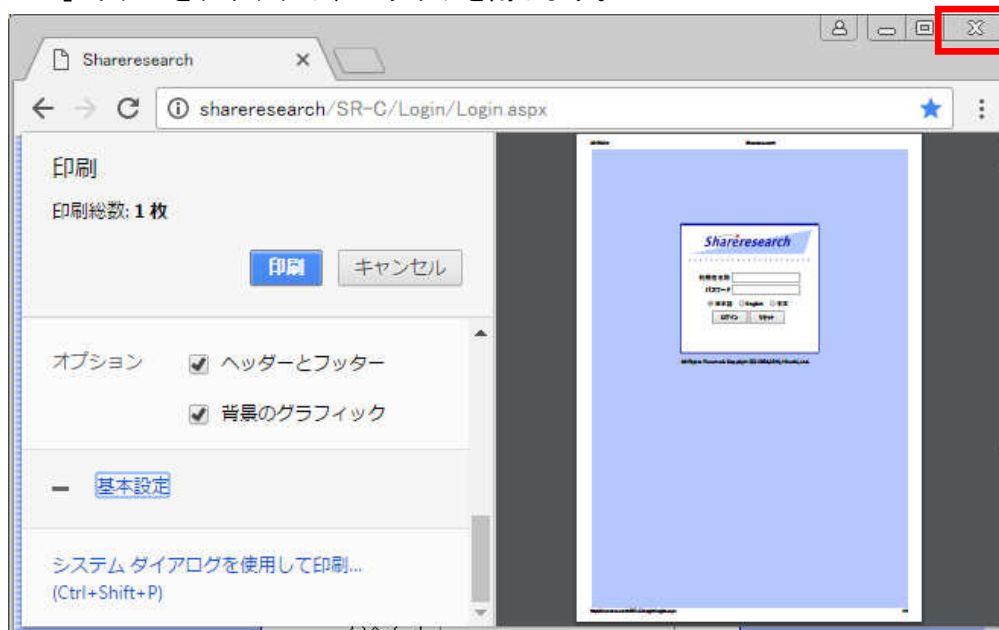
2. [詳細設定]をクリックします。



3. [オプション]—[背景のグラフィック]にチェックを入れます。



4. 「×」ボタンをクリックし、ブラウザを閉じます。



(4) 既定のブラウザの設定

HTML、Excelのダウンロード結果等から Shareresearch の画面を表示させる場合は、既定のブラウザで開かれます。

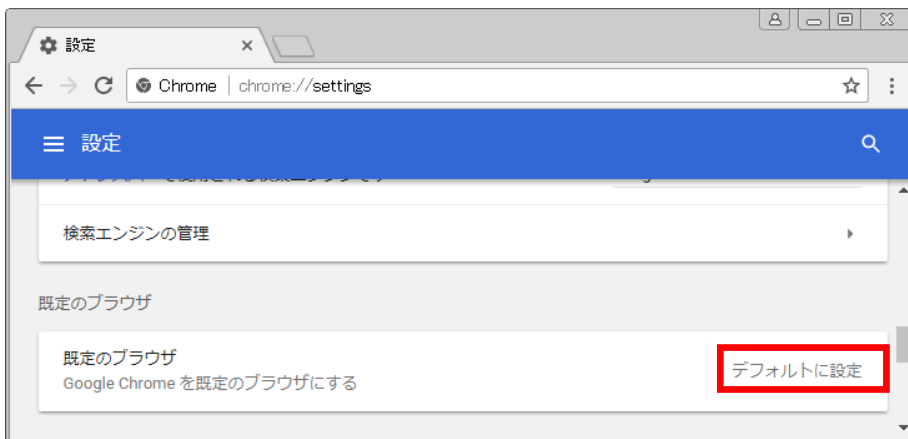
Chrome を既定のブラウザに指定したい場合は、以下の手順で設定してください。なお、Internet Explorer または Chrome 以外が既定のブラウザに指定されている場合は、既定のブラウザで開かれた画面が正常に操作できない場合がありますのでご注意ください。

【操作開始】

1. Chrome を起動し、画面右上部の[⋮]-[設定]を選択します。

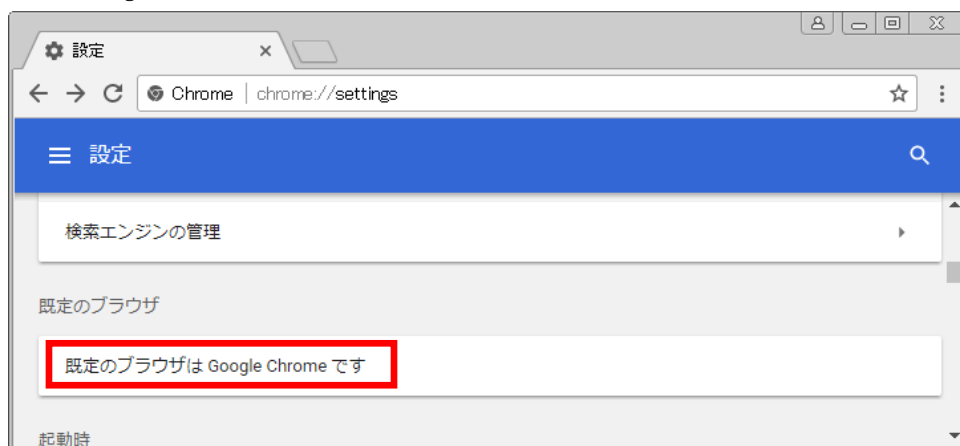


2. 設定の[既定のブラウザ]-[Google Chrome を既定のブラウザにする]で「デフォルトに設定」をクリックします。



◆補足

- ・既に既定のブラウザに **Chrome** が設定されている場合は、下記のように「既定のブラウザは Google Chrome です。」と表示されます。

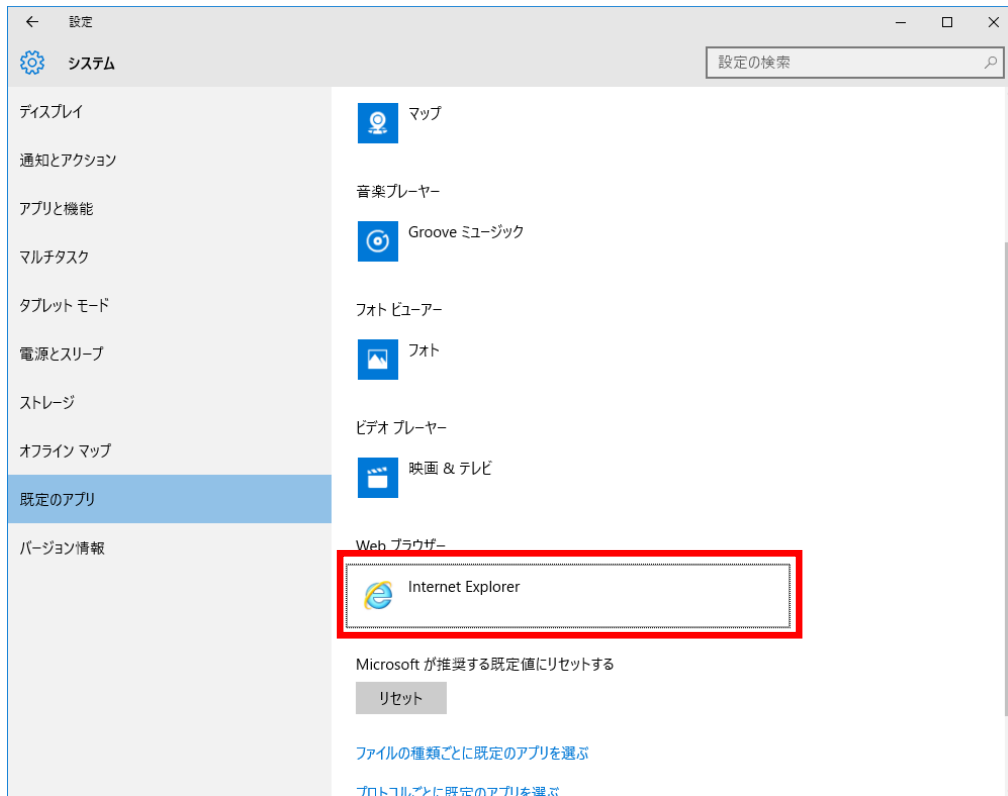


- ・Windows 8.1 をご利用の場合は、[Google Chrome を既定のブラウザにする]をクリックすると以下の画面が表示されますので、「Google Chrome」を選択してください。

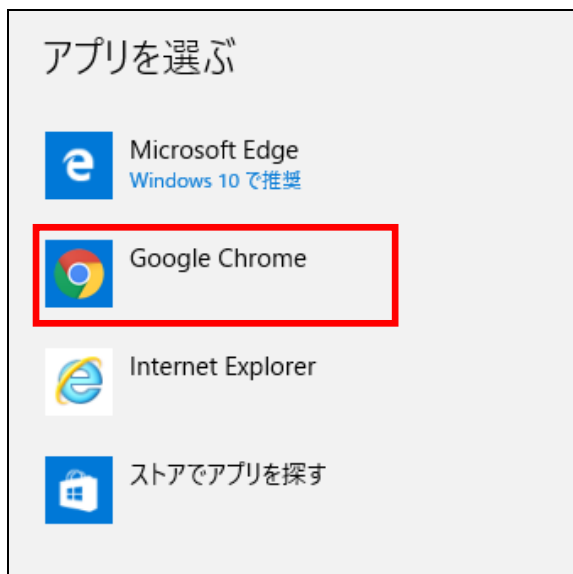


- ・ Windows 10 をご利用の場合は、[Google Chrome を既定のブラウザにする]をクリックすると「設定」画面が表示されます。「設定」画面で「Web ブラウザー」を選択したのち、次に表示される「アプリを選ぶ」画面で「Google Chrome」を選択してください。

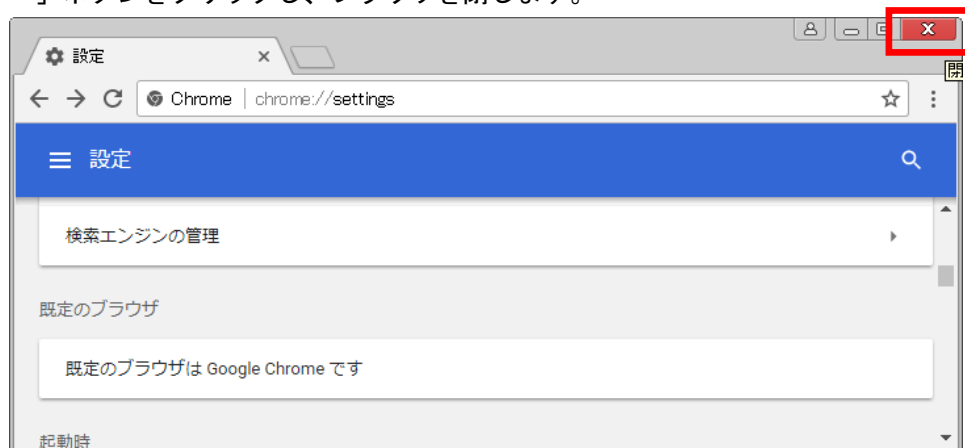
【「設定」画面】



【「アプリを選ぶ」画面】



3. 「×」ボタンをクリックし、ブラウザを閉じます。



(5) PDF レイアウトの印刷設定

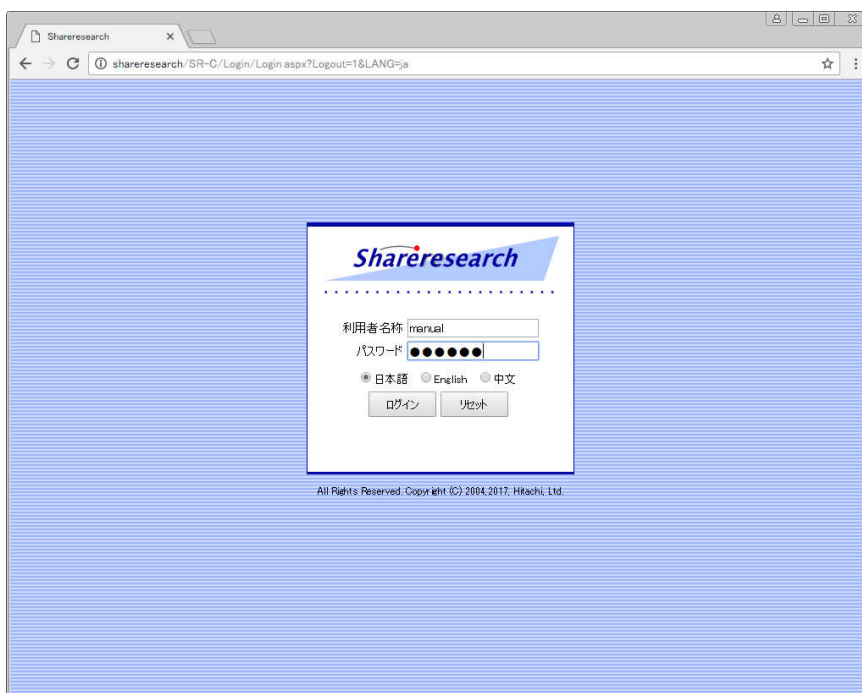
PDF レイアウトの印刷を行うための設定を行います。また、マップ連携オプションをご利用の場合は、「パテントマップ EXZ」との連携を行う場合にも本設定が必要になります。なお、Excel マクロをご利用できる環境かどうかで手順が異なります。以下を参考に実施してください。

【Excel マクロをご利用になれる場合】手順 1～9、15～30

【Excel マクロをご利用になれない場合】手順 10～30

【操作開始】

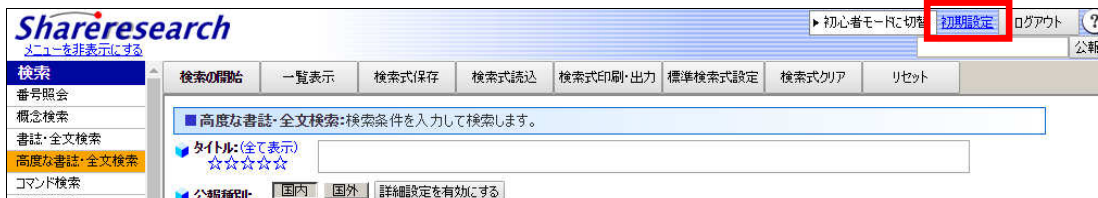
1. 手順 1～9 は、Excel マクロをご利用になれる環境の場合のみ実施してください。
ログインします。



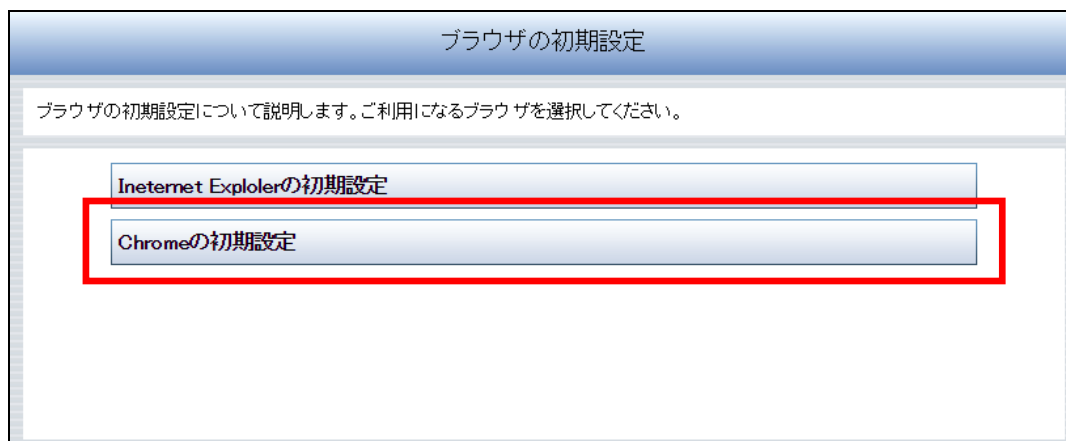
◆補足

- ・ログイン方法の詳細は「2.2.1 ログイン方法」を参照してください。

2. 「初期設定」アンカーをクリックします。



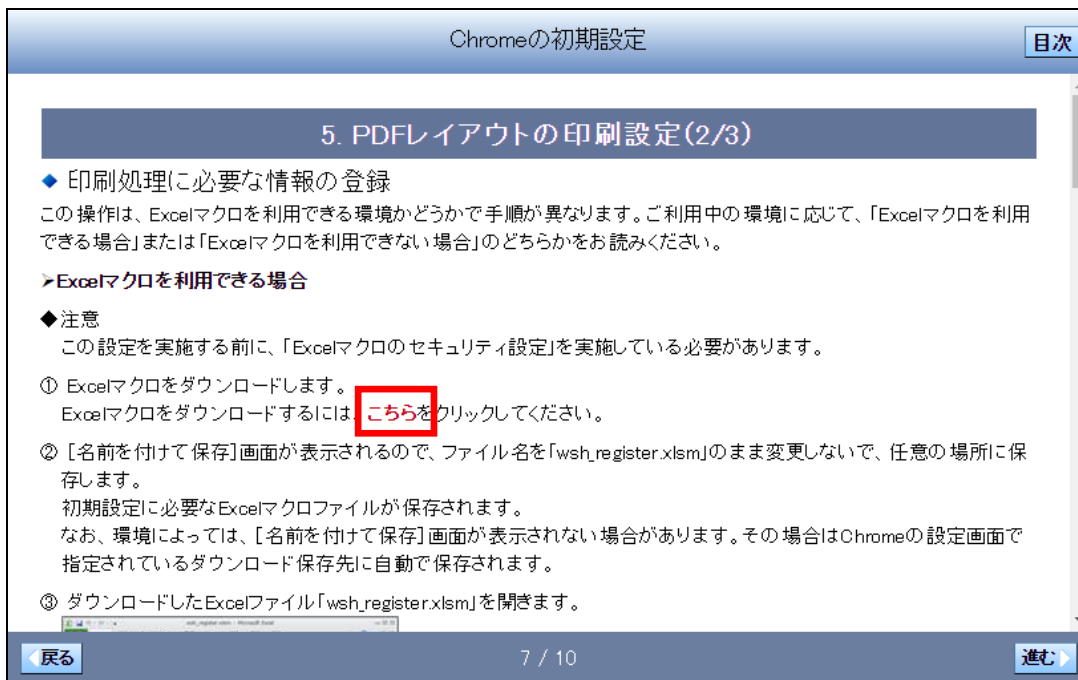
3. 「ブラウザの初期設定」画面から、「Chromeの初期設定」をクリックします。



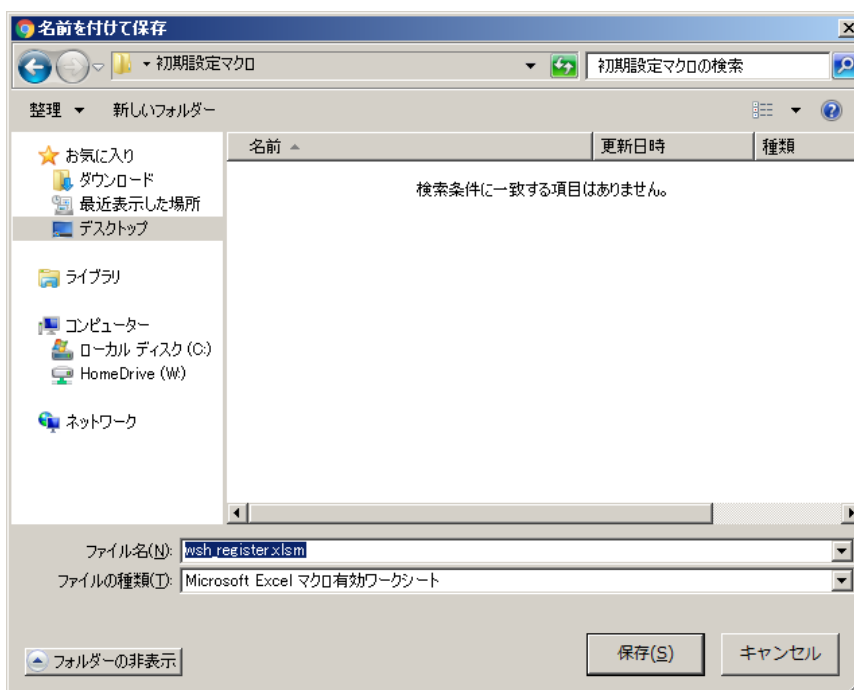
4. 「Chromeの初期設定」画面から、「5.PDFレイアウトの印刷設定」をクリックします。



5. 「PDF レイアウトの印刷設定 (2/3)」画面から、「こちら」アンカーをクリックします。



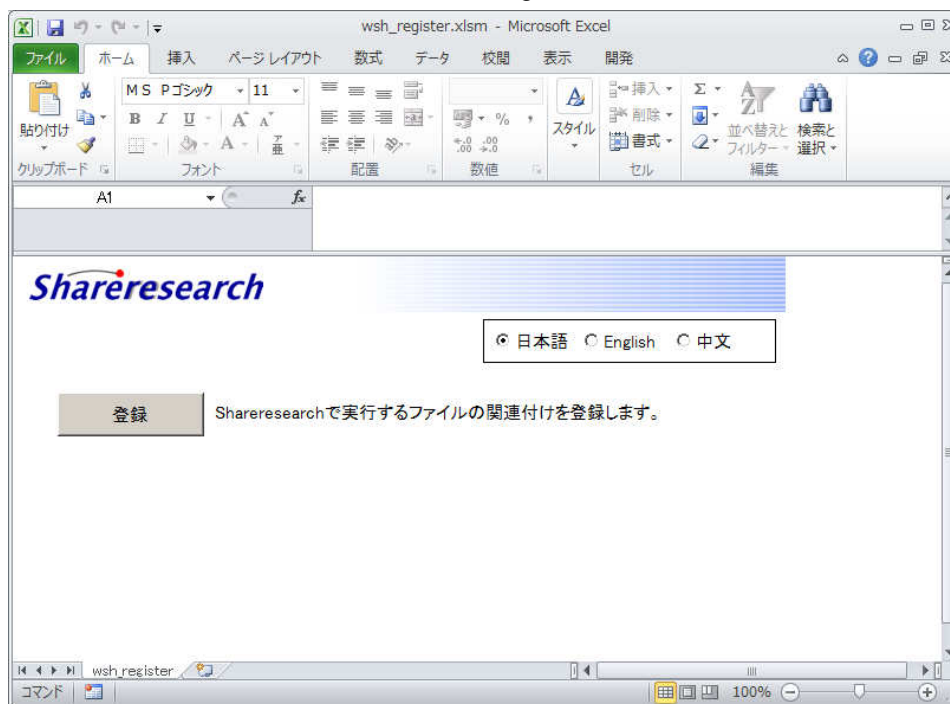
6. 「名前を付けて保存」画面が表示されますので、ファイル名を変更せず任意の場所に保存します。初期設定に必要な Excel マクロファイルが保存されます。



◆補足

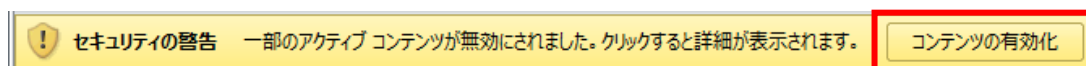
環境によっては、「名前を付けて保存」画面が表示されない場合があります。その場合は Chrome の設定画面で指定されている「ダウンロード保存先:」に自動で保存されますので、そのまま手順6を実施してください。

7. ダウンロードした Excel ファイル「wsh_register.xlsx」を開きます。

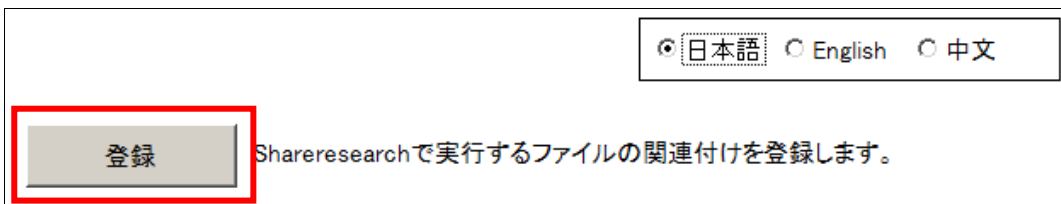


◆補足

- ・本手順の実施前に「1.2 Excelのセキュリティ設定」を実施している必要があります。
- ・Excel ファイルを開くと、以下の警告が表示される場合があります。「このコンテンツを有効化」をクリックしてください。



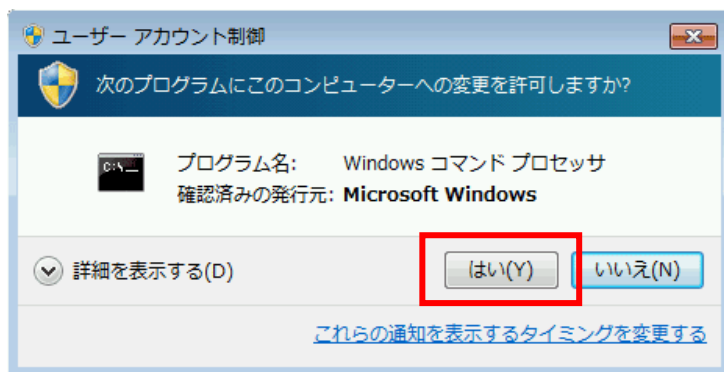
8. 「登録」 ボタンをクリックします。



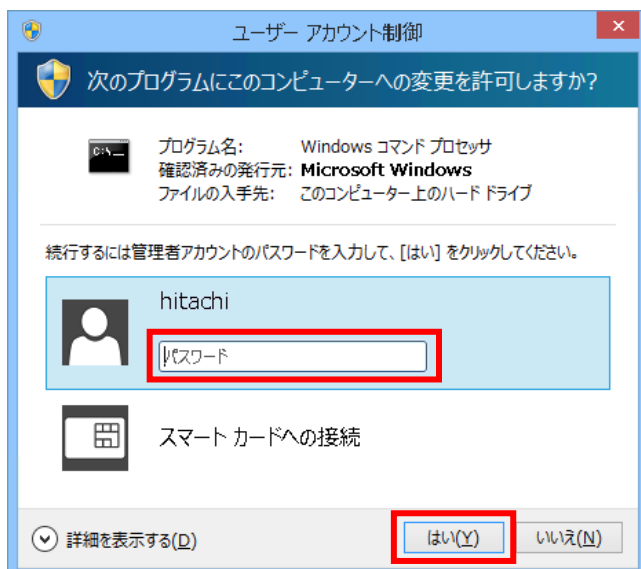
◆補足

- ・「English」ラジオボタン、「中文」ラジオボタンを選択すると、Excel ファイル内のボタン名やメッセージなどが英語および中国語で表示されます。
- ・本プログラムは管理者権限で実行する必要があります。環境によっては、「登録」ボタンをクリックすると以下の確認ダイアログが表示されます。その場合は、それぞれ以下のように操作してください。

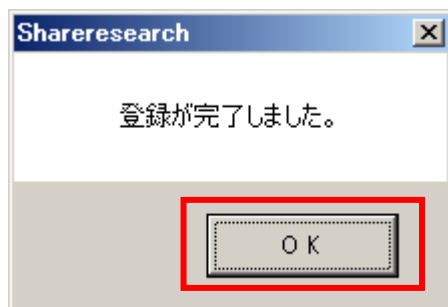
【パターン1】以下の確認ダイアログが表示された場合は、「はい」ボタンをクリックしてください。



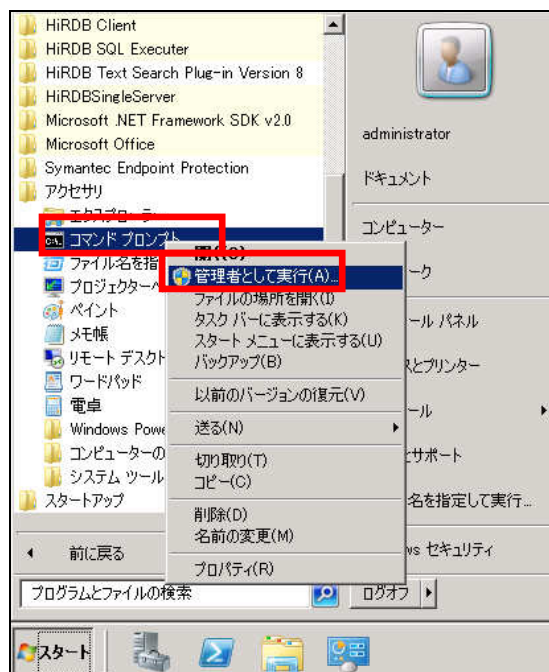
【パターン2】以下の確認ダイアログが表示された場合は、「パスワード」欄に管理者パスワードを入力して、「はい」ボタンをクリックしてください。



9. 以下の画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。保存した Excel ファイル「wsh_register.xlsm」は削除して問題ありません。



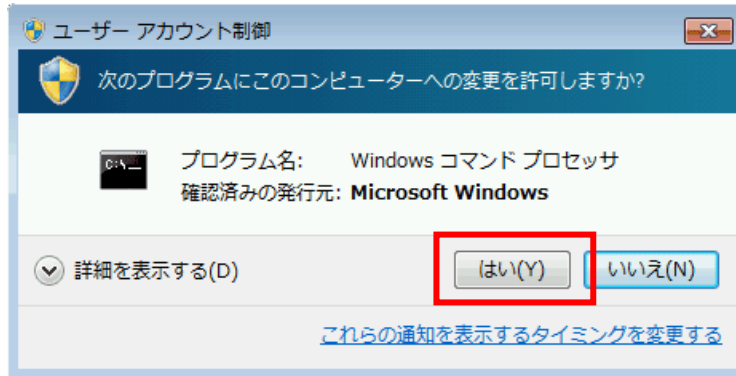
10. 手順 10～14 は、Excel マクロをご利用になれない環境の場合のみ実施してください。
スタートメニューから、「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を右クリックし、「管理者として実行」を選択してコマンドプロンプトを起動します。



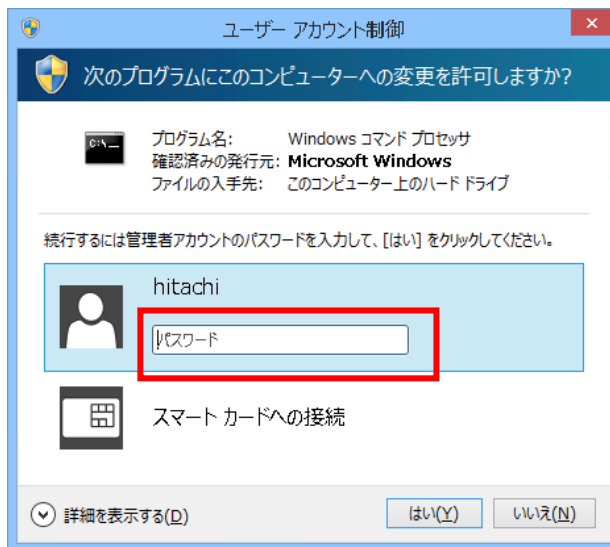
◆補足

- ・環境によっては、コマンドプロンプトを起動すると以下の確認ダイアログが表示されます。その場合は、それぞれ以下のように操作してください。

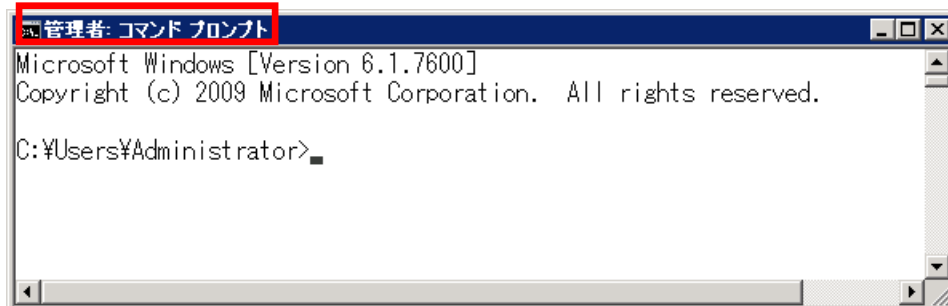
【パターン1】以下の確認ダイアログが表示された場合は、「はい」 ボタンをクリックしてください。



【パターン2】以下の確認ダイアログが表示された場合は、「パスワード」欄に管理者パスワードを入力して、「はい」 ボタンをクリックしてください。



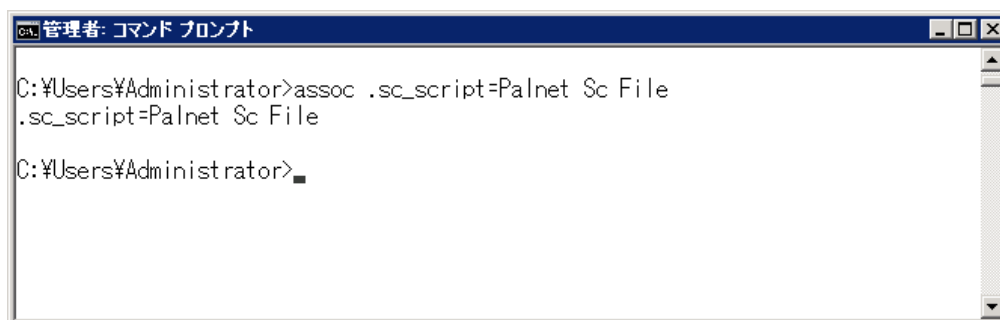
- ・管理者権限でコマンドプロンプトを起動すると、コマンドプロンプトのタイトルバーに「管理者: コマンドプロンプト」と表示されます。



11. 以下のコマンドを実行します。

```
assoc .sc_script=Palnet Sc File
```

12. 以下の画面が表示され、エラーがないことを確認します。

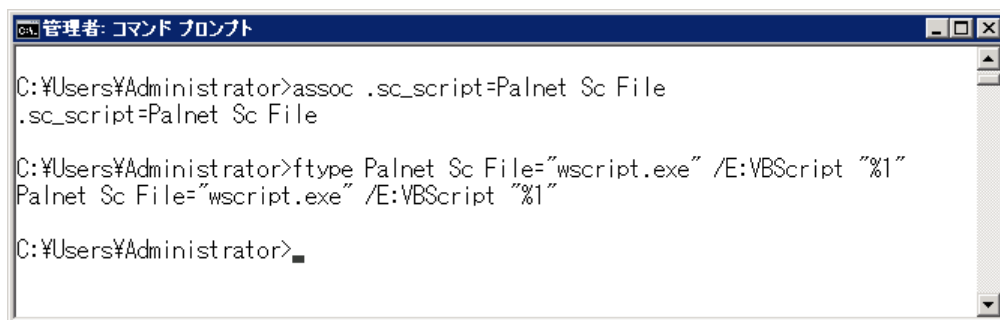


```
ca. 管理者: コマンド プロンプト  
C:¥Users¥Administrator>assoc .sc_script=Palnet Sc File  
.sc_script=Palnet Sc File  
C:¥Users¥Administrator>■
```

13. 以下のコマンドを実行します。

```
ftype Palnet Sc File="wscript.exe" /E:VBScript "%1"
```

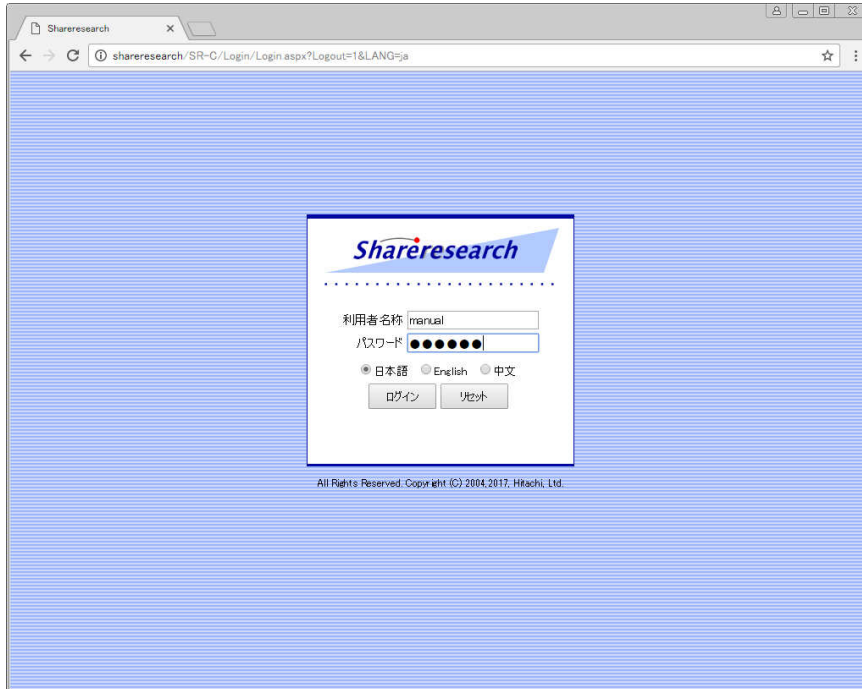
14. 以下の画面が表示され、エラーがないことを確認します。



```
ca. 管理者: コマンド プロンプト  
C:¥Users¥Administrator>assoc .sc_script=Palnet Sc File  
.sc_script=Palnet Sc File  
C:¥Users¥Administrator>ftype Palnet Sc File="wscript.exe" /E:VBScript "%1"  
Palnet Sc File="wscript.exe" /E:VBScript "%1"  
C:¥Users¥Administrator>■
```

15. 手順 15～30は Excel マクロをご利用になれるかどうかに関わらず、全ての環境で実施してください。

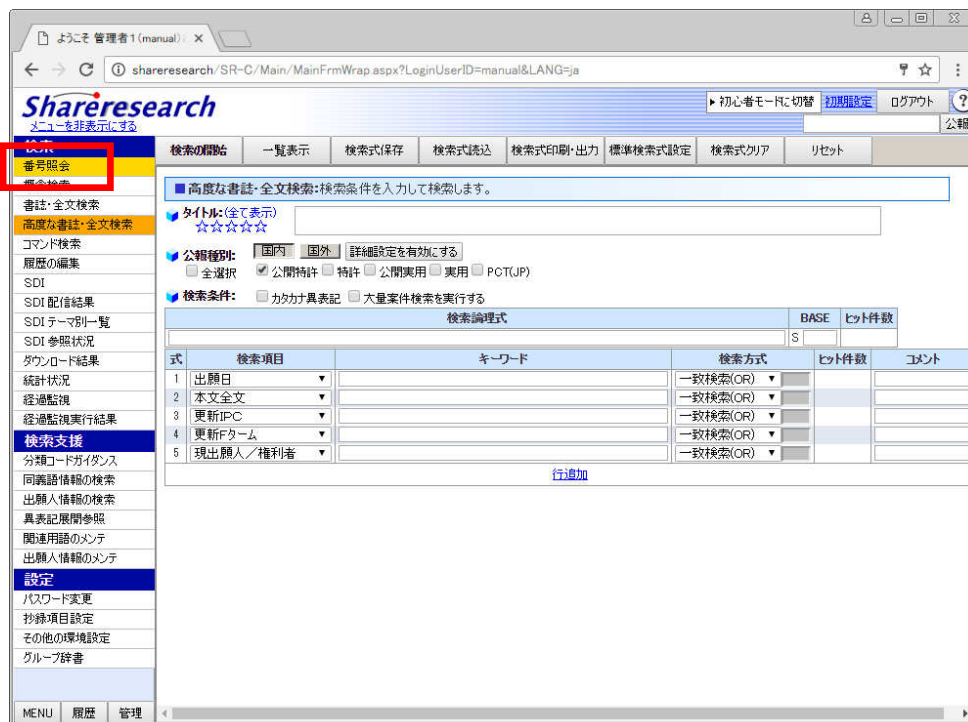
手順 1でログインしていない場合は、ログインします。



◆補足

ログイン方法の詳細は「2.2.1 ログイン方法」を参照してください。

16. 画面左側の機能メニューフレームから「番号照会」をクリックします。



17. 「番号照会」画面が表示されますので、「入力形式」で「(国内)公報番号／出願番号」を選択し、「特開 2017-048055」を入力して「照会」ボタンをクリックします。

検索

番号照会

検索

番号照会: 文獻番号を入力して検索します。

タイトル(全て表示)

入力形式: (国内)公報番号／出願番号 (国外)公報番号 (国外)出願番号

入力例: [特開2001-3456] → AA01003456, AAH13003456, 特開2001-3456, 特開2001-3456
 [特開平11-3457] → AA99003457, AAH11003457, 特開平11-3457, 特開平11-3457
 [特開2001-3458] → JP 2001003458, JPP2001003458, P2001-003458, 特開2001-3458
 [実願平11-3459] → JPU11003459, U1999-003459, 実願平11-3459, 実願平11-3459

国内	国外	その他の国																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>公報種別</th> <th>先頭文字</th> <th>指定範囲</th> <th>公報発行日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公開特許公報(A)</td> <td>AA</td> <td>71000001-17060404</td> <td>1971/07/16-2017/03/23</td> </tr> <tr> <td>公表特許公報(T)</td> <td>TT</td> <td>79500001-17608440</td> <td>1979/07/26-2017/03/23</td> </tr> <tr> <td>再公表特許(S)</td> <td>OO</td> <td>79000772-15119211</td> <td>1983/01/06-2017/03/23</td> </tr> <tr> <td>PCT日本語(WJ)</td> <td>WJ</td> <td>06001049-17049666</td> <td>2006/01/05-2017/03/16</td> </tr> <tr> <td>特許公報(BB)</td> <td>PP</td> <td>02500001-06101886</td> <td>1986/05/29-2017/03/22</td> </tr> <tr> <td>公告特許公報(B)</td> <td>BB</td> <td>71000001-96034772</td> <td>1969/06/06-1996/03/29</td> </tr> </tbody> </table>	公報種別	先頭文字	指定範囲	公報発行日	公開特許公報(A)	AA	71000001-17060404	1971/07/16-2017/03/23	公表特許公報(T)	TT	79500001-17608440	1979/07/26-2017/03/23	再公表特許(S)	OO	79000772-15119211	1983/01/06-2017/03/23	PCT日本語(WJ)	WJ	06001049-17049666	2006/01/05-2017/03/16	特許公報(BB)	PP	02500001-06101886	1986/05/29-2017/03/22	公告特許公報(B)	BB	71000001-96034772	1969/06/06-1996/03/29	<table border="1"> <thead> <tr> <th>公報種別</th> <th>先頭文字</th> <th>指定範囲</th> <th>公報発行日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録実用新案公報(U9)</td> <td>VV</td> <td>03000001-03209558</td> <td>1994/07/26-2017/03/23</td> </tr> <tr> <td>公開実用新案公報(U)</td> <td>UU</td> <td>71000001-06000001</td> <td>1971/09/13-2006/02/09</td> </tr> <tr> <td>実用新案登録公報(Y9)</td> <td>QQ</td> <td>02500001-02607899</td> <td>1986/06/05-2010/06/16</td> </tr> <tr> <td>公告実用新案公報(Y)</td> <td>YY</td> <td>71000001-96011090</td> <td>1971/01/05-1996/03/29</td> </tr> <tr> <td>公表実用新案公報(TU)</td> <td>MM</td> <td>83500001-98500001</td> <td>1983/01/20-1998/11/17</td> </tr> </tbody> </table>	公報種別	先頭文字	指定範囲	公報発行日	登録実用新案公報(U9)	VV	03000001-03209558	1994/07/26-2017/03/23	公開実用新案公報(U)	UU	71000001-06000001	1971/09/13-2006/02/09	実用新案登録公報(Y9)	QQ	02500001-02607899	1986/06/05-2010/06/16	公告実用新案公報(Y)	YY	71000001-96011090	1971/01/05-1996/03/29	公表実用新案公報(TU)	MM	83500001-98500001	1983/01/20-1998/11/17	
公報種別	先頭文字	指定範囲	公報発行日																																																			
公開特許公報(A)	AA	71000001-17060404	1971/07/16-2017/03/23																																																			
公表特許公報(T)	TT	79500001-17608440	1979/07/26-2017/03/23																																																			
再公表特許(S)	OO	79000772-15119211	1983/01/06-2017/03/23																																																			
PCT日本語(WJ)	WJ	06001049-17049666	2006/01/05-2017/03/16																																																			
特許公報(BB)	PP	02500001-06101886	1986/05/29-2017/03/22																																																			
公告特許公報(B)	BB	71000001-96034772	1969/06/06-1996/03/29																																																			
公報種別	先頭文字	指定範囲	公報発行日																																																			
登録実用新案公報(U9)	VV	03000001-03209558	1994/07/26-2017/03/23																																																			
公開実用新案公報(U)	UU	71000001-06000001	1971/09/13-2006/02/09																																																			
実用新案登録公報(Y9)	QQ	02500001-02607899	1986/06/05-2010/06/16																																																			
公告実用新案公報(Y)	YY	71000001-96011090	1971/01/05-1996/03/29																																																			
公表実用新案公報(TU)	MM	83500001-98500001	1983/01/20-1998/11/17																																																			

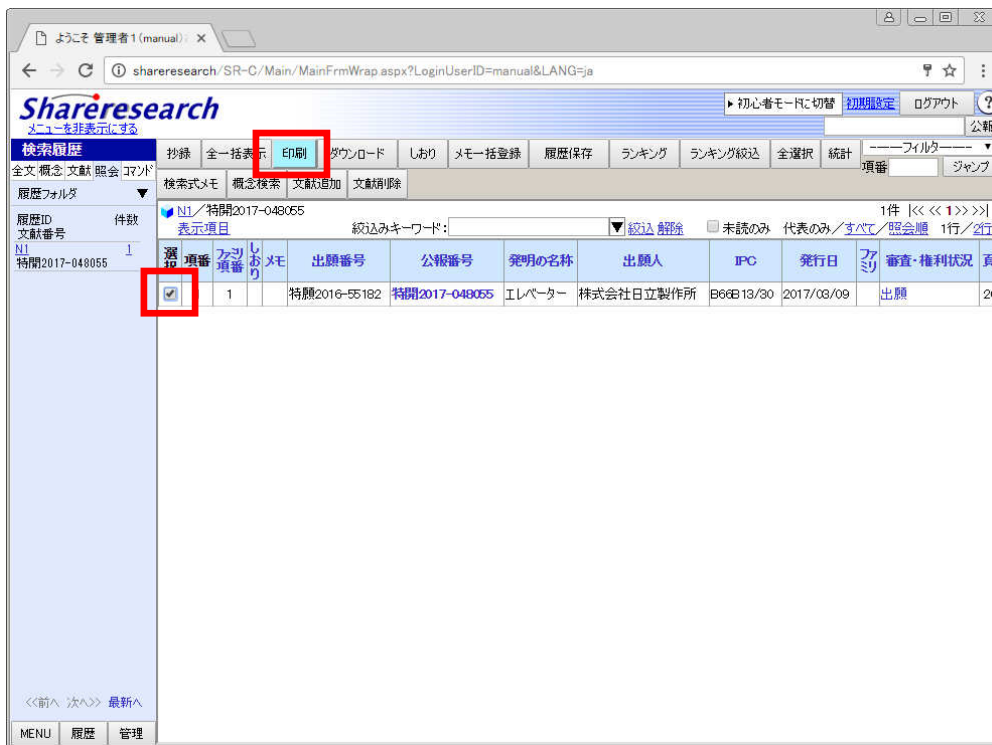
18. 検索結果が表示されることを確認します。

検索履歴

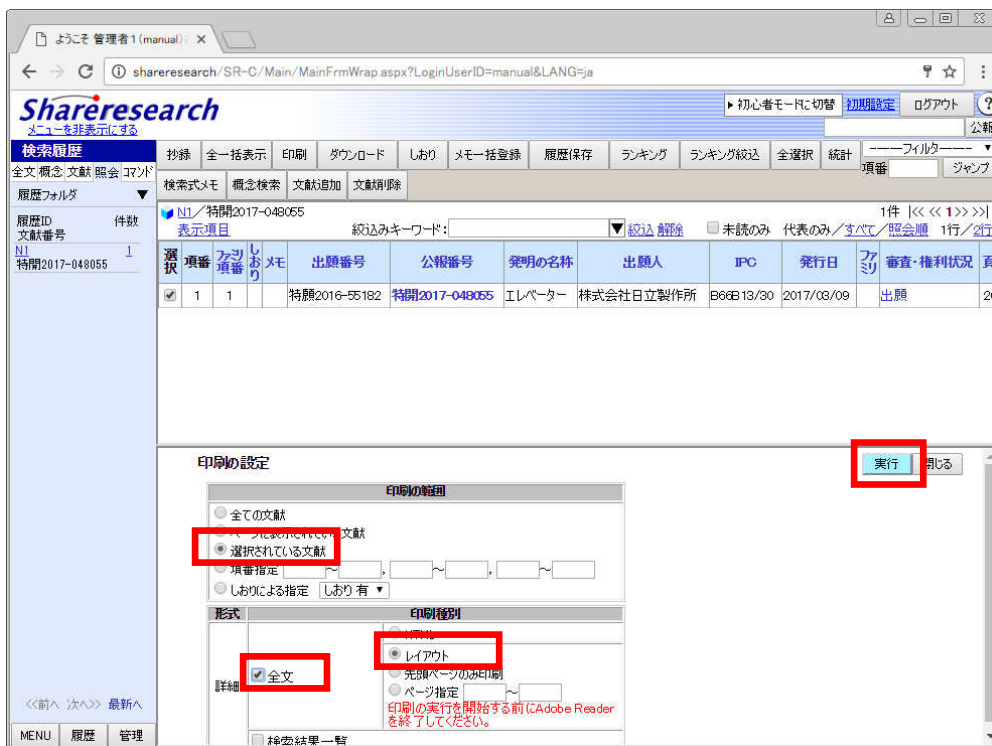
特開2017-048055

選択	項番	文種	しおり	メモ	出願番号	公報番号	発明の名称	出願人	IPC	発行日	審査・権利状況	頁
<input type="checkbox"/>	1	1			特開2016-55182	特開2017-048055	エリベーター	株式会社日立製作所	B66B 13/30	2017/03/09	出願	20

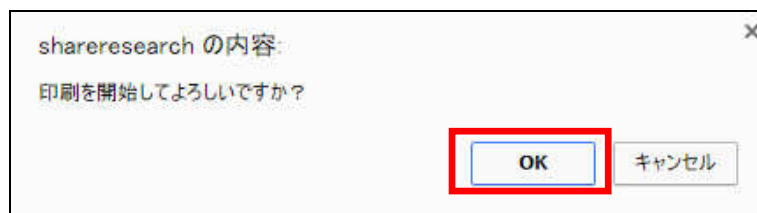
19. 項番 1 の案件にチェックを付け、「印刷」ボタンをクリックします。



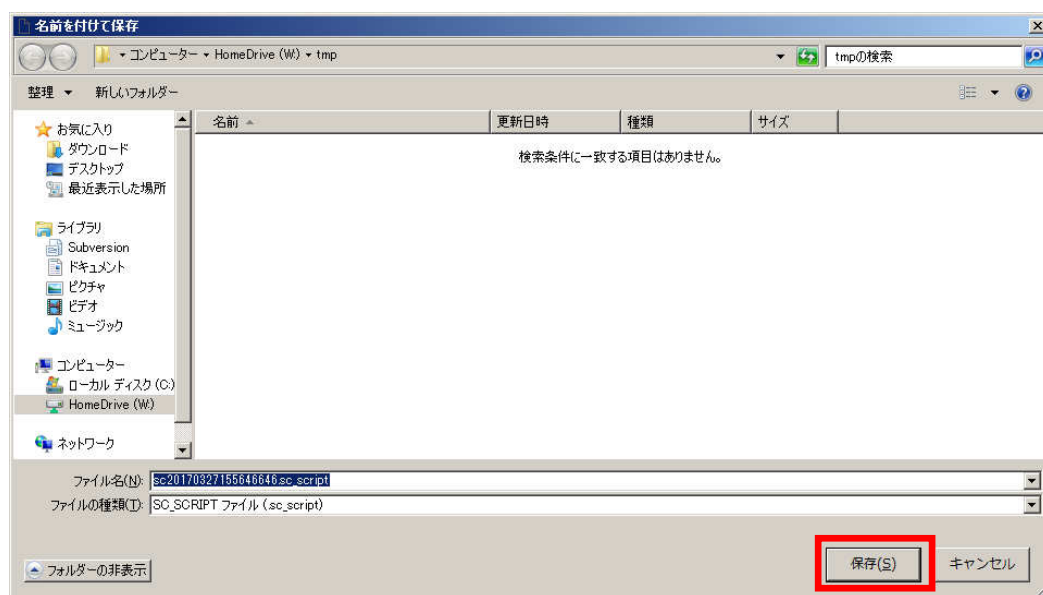
20. 「印刷の設定」サブフレームにて、「印刷の範囲」で「選択されている文献」、印刷種別で「全文」「レイアウト」を選択し、「実行」ボタンをクリックします。



21. 以下のようなメッセージボックスが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。



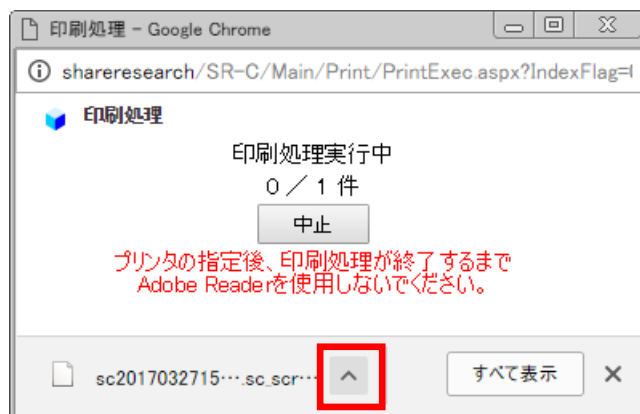
22. 「名前を付けて保存」画面が表示されるので、ファイル名を変更せず任意の場所に保存します。



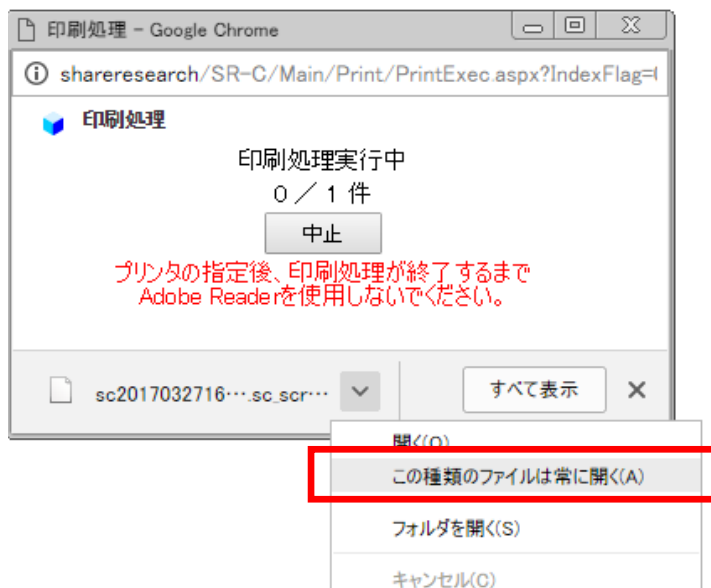
◆補足

環境によっては、「名前を付けて保存」画面が表示されない場合があります。その場合は Chrome の設定画面で指定されている「ダウンロード保存先:」に自動で保存されますので、そのまま手順 22 を実施してください。

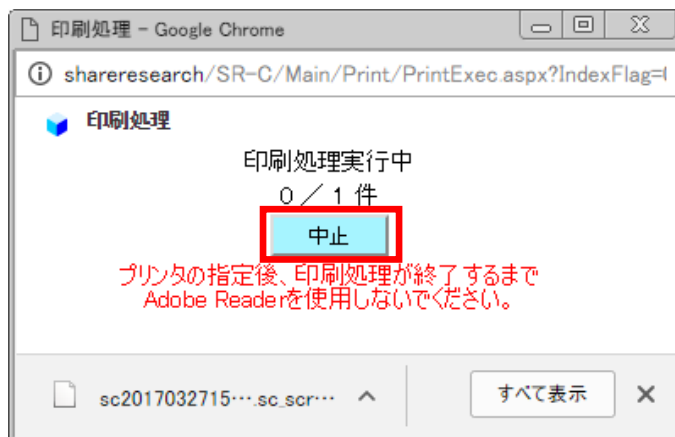
23. 「印刷処理」画面で以下のダイアログが表示されますので、「^」ボタンをクリックします。



24. 「この種類のファイルは常に開く(A)」を選択します。

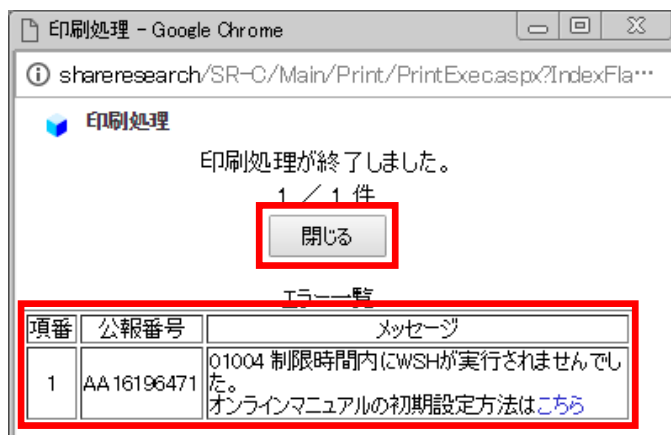


25. 「中止」ボタンをクリックして印刷処理を終了します。



◆補足

ファイルを保存してから 30 秒以上経過すると以下のメッセージが表示されますが、問題ありません。また、その場合は「閉じる」ボタンをクリックしてください。



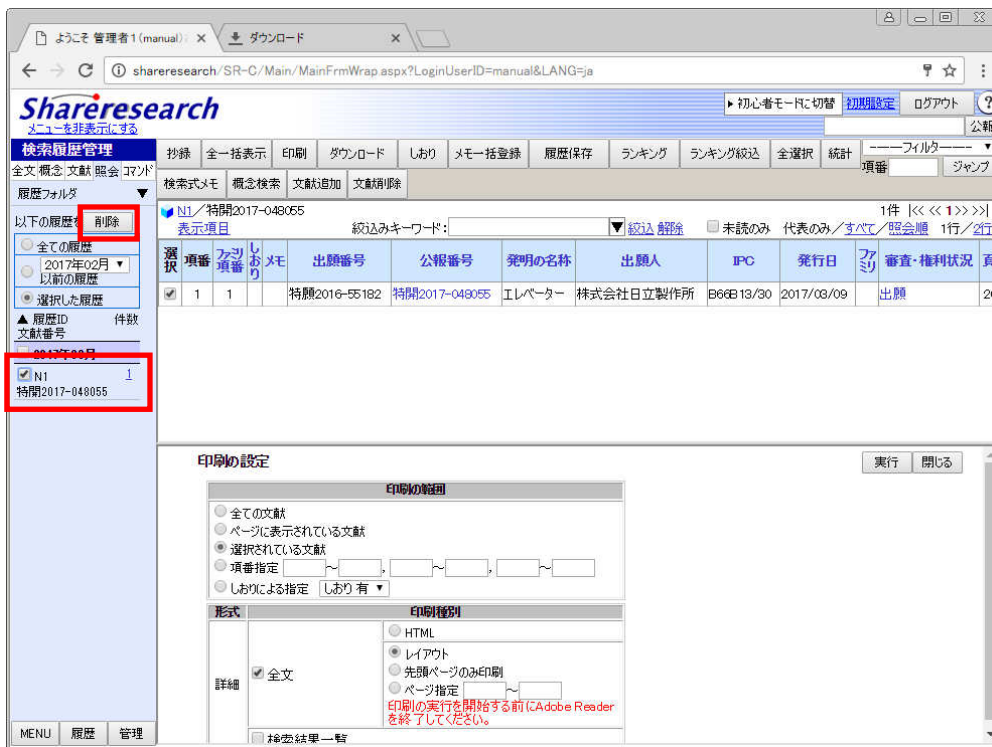
26. 必要に応じて、番号照会の検索履歴を削除します。画面左下の「管理」ボタンをクリックし、画面左側に検索履歴管理フレームを表示します。

The screenshot shows the Sharesearch web application. On the left side, a sidebar menu is visible with the '管理' (Management) button highlighted in red. The main content area displays search results for '特開2017-048055'. Below the search results, there is a '印刷の設定' (Print Settings) dialog box. The dialog box has tabs for '印刷の範囲' (Print Range) and '印刷種別' (Print Type). The '印刷の範囲' tab is selected, and the '選択されている文書' (Selected documents) option is chosen. The '印刷種別' tab shows 'HTML' and 'レイアウト' (Layout) options. A red warning message at the bottom of the dialog box reads: '印刷の実行を開始する前にAdobe Readerを終了してください。' (Please close Adobe Reader before starting the printing process.)

27. 検索履歴管理フレームの「照会」タブをクリックします。

The screenshot shows the Sharesearch web application. In the sidebar menu, the '照会' (Query) button is highlighted in red. The main content area displays search results for '特開2017-048055'. Below the search results, there is a '印刷の設定' (Print Settings) dialog box. The dialog box has tabs for '印刷の範囲' (Print Range) and '印刷種別' (Print Type). The '印刷の範囲' tab is selected, and the '選択されている文書' (Selected documents) option is chosen. The '印刷種別' tab shows 'HTML' and 'レイアウト' (Layout) options. A red warning message at the bottom of the dialog box reads: '印刷の実行を開始する前にAdobe Readerを終了してください。' (Please close Adobe Reader before starting the printing process.)

28. 一番最新の履歴 ID にチェックを入れ、「削除」ボタンをクリックします。



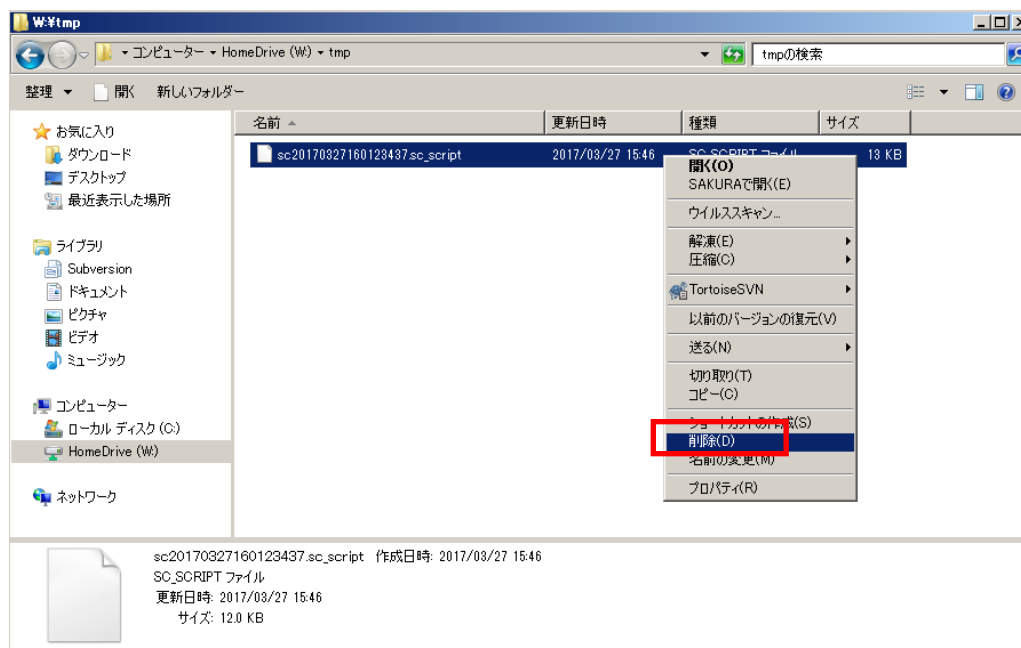
29. 「ログアウト」ボタンをクリックし、ログアウトします。



◆補足

ログアウト方法の詳細は「2.3 ログアウト」を参照してください。

30. 手順 2 1 で保存したファイルを削除します。ファイル選択し、右クリックから「削除(D)」をクリックします。



1.3.3 Microsoft Edge の場合

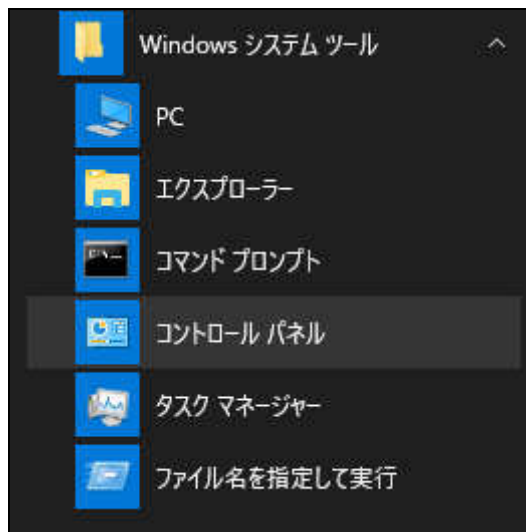
<参考情報>

Microsoft Edge で Shareresearch をご使用になる場合には、本初期設定手順を実施してください。なお、Microsoft Edge においては基本的な機能は動作することを確認しておりますが、正式サポートはしていません。動作上、不都合がある場合には Internet Explorer または Chrome をご利用ください。また、Internet Explorer および Chrome と異なる動作をする機能にお気付きの場合は、システム管理者までお問合せください。

(1) 信頼済みサイトの設定

【操作開始】

1. スタートメニューより [Windows システムツール] – [コントロールパネル] を選択します。



2. インターネットオプションを選択します。



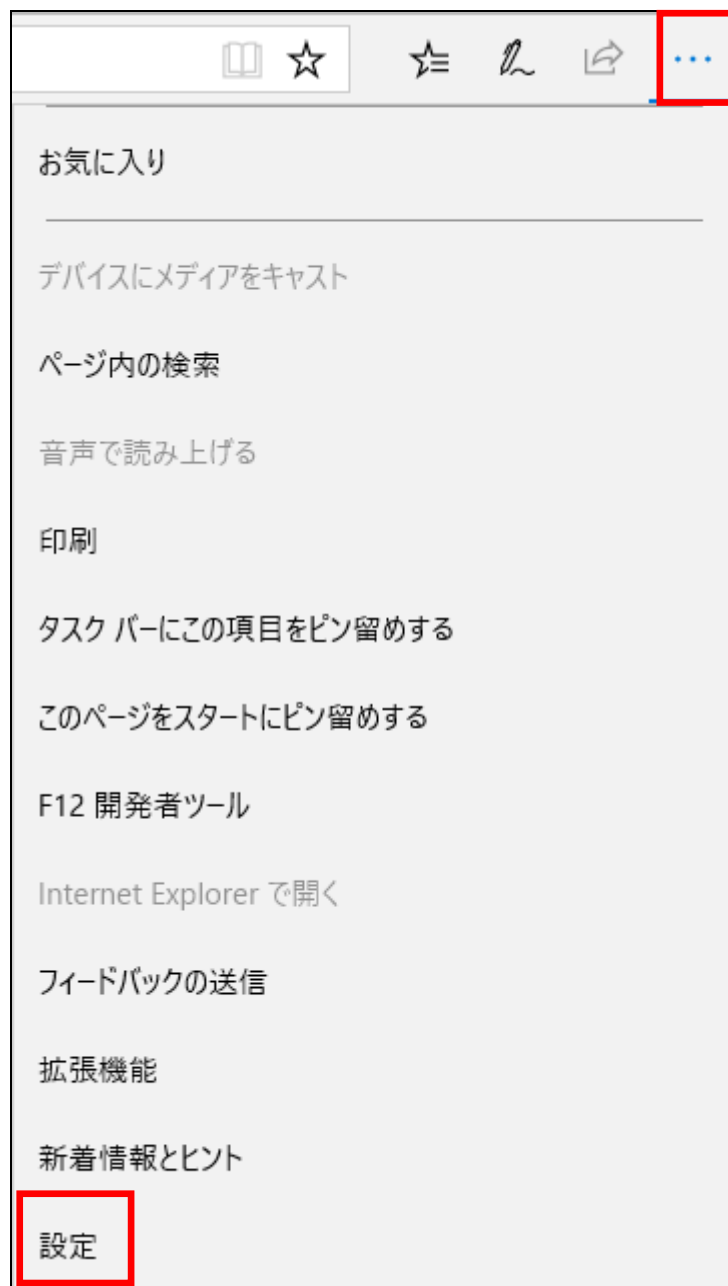
3. 以降の手順については「1.3.1(1) 信頼済みサイトの設定」の手順 2 以降を参照してください。

(2) ポップアップブロックの設定

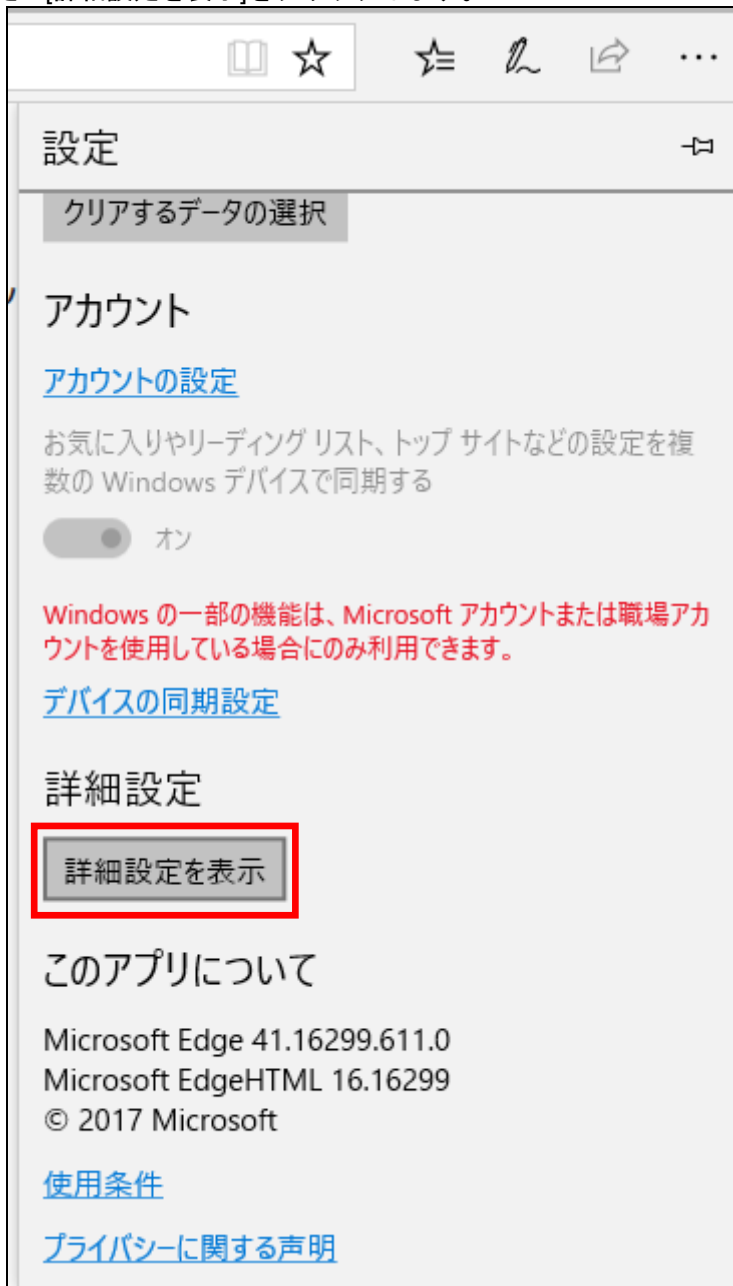
ポップアップブロックの設定を確認します。

【操作開始】

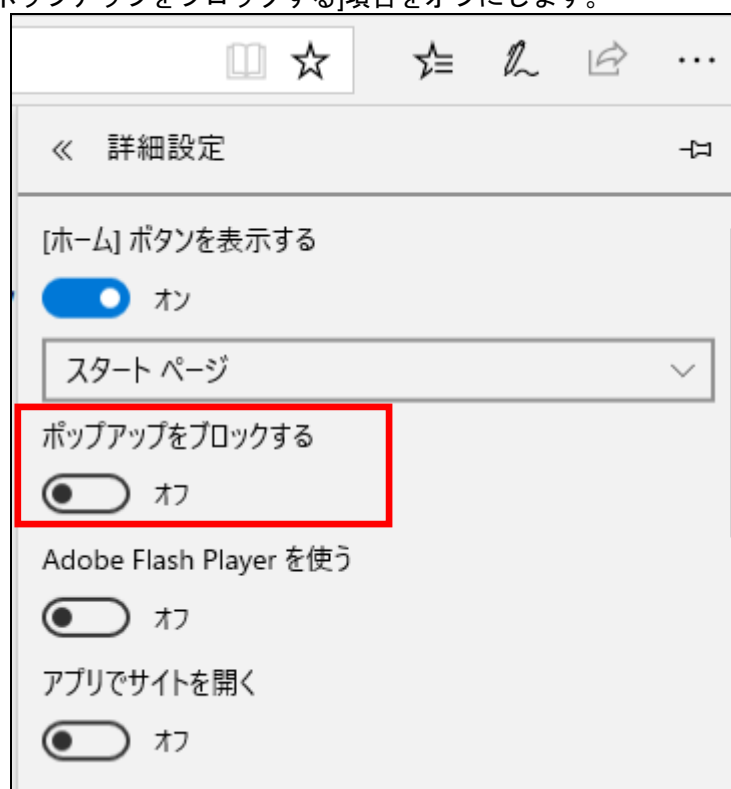
1. Edge を起動し画面右上部の[⋮]-[設定]を選択します。



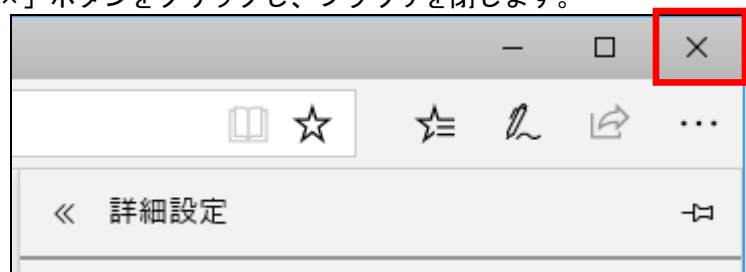
2. 設定の[詳細設定を表示]をクリックします。



3. [ポップアップをブロックする]項目をオフにします。



4. 「×」ボタンをクリックし、ブラウザを閉じます。

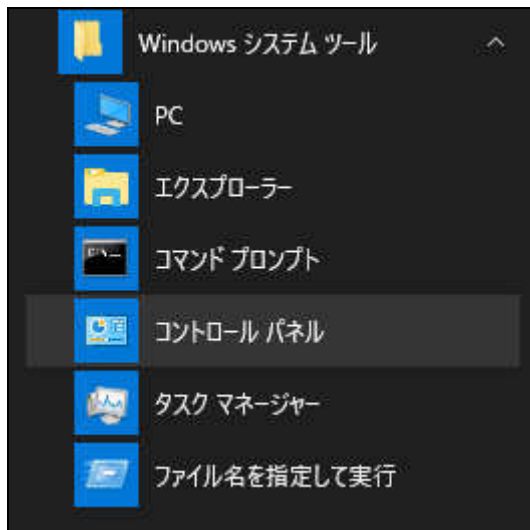


(3) タブブラウザの設定

タブブラウザの設定を変更します。

【操作開始】

1. スタートメニューより [Windows システムツール] – [コントロールパネル] を選択します。



2. インターネットオプションを選択します。



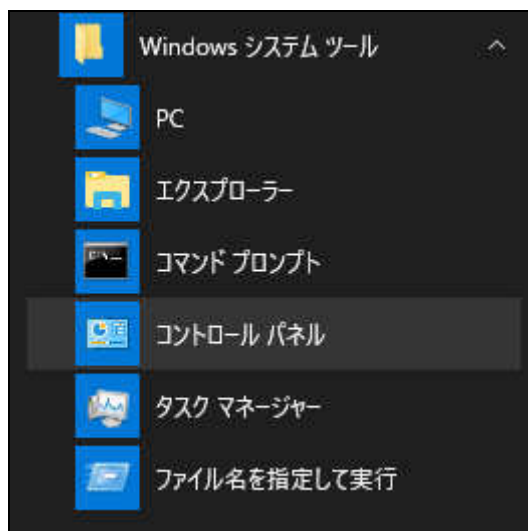
3. 以降の手順については「1.3.1(3) タブブラウザの設定」の手順 2 以降を参照してください。

(4) その他の設定

信頼されたゾーンのセキュリティ設定を見直します。本設定を行わない場合、セキュリティ設定により、操作中に確認のポップアップが表示されます。

【操作開始】

1. スタートメニューより [Windows システムツール] – [コントロールパネル] を選択します。



2. インターネットオプションを選択します。



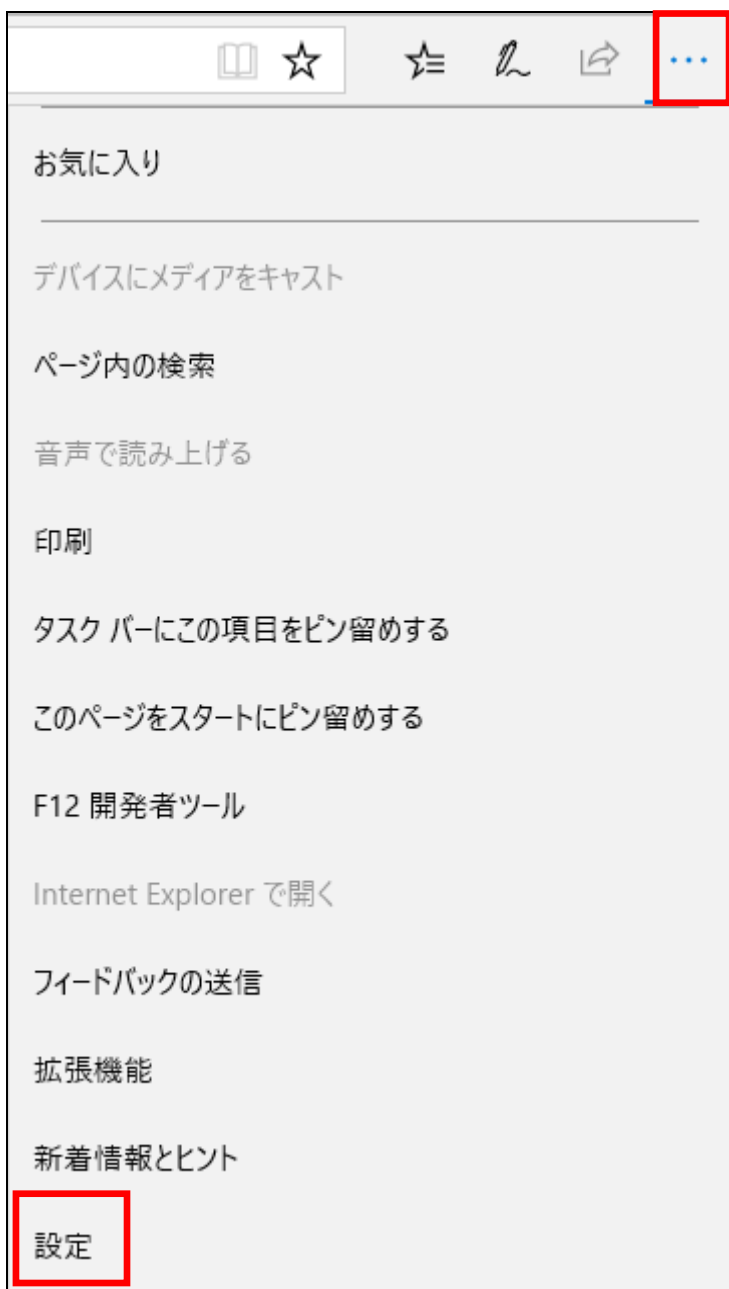
3. 以降の手順については「1.3.1(4) その他の設定」の手順 2 以降を参照してください。

(5) ダウンロード保存先の設定

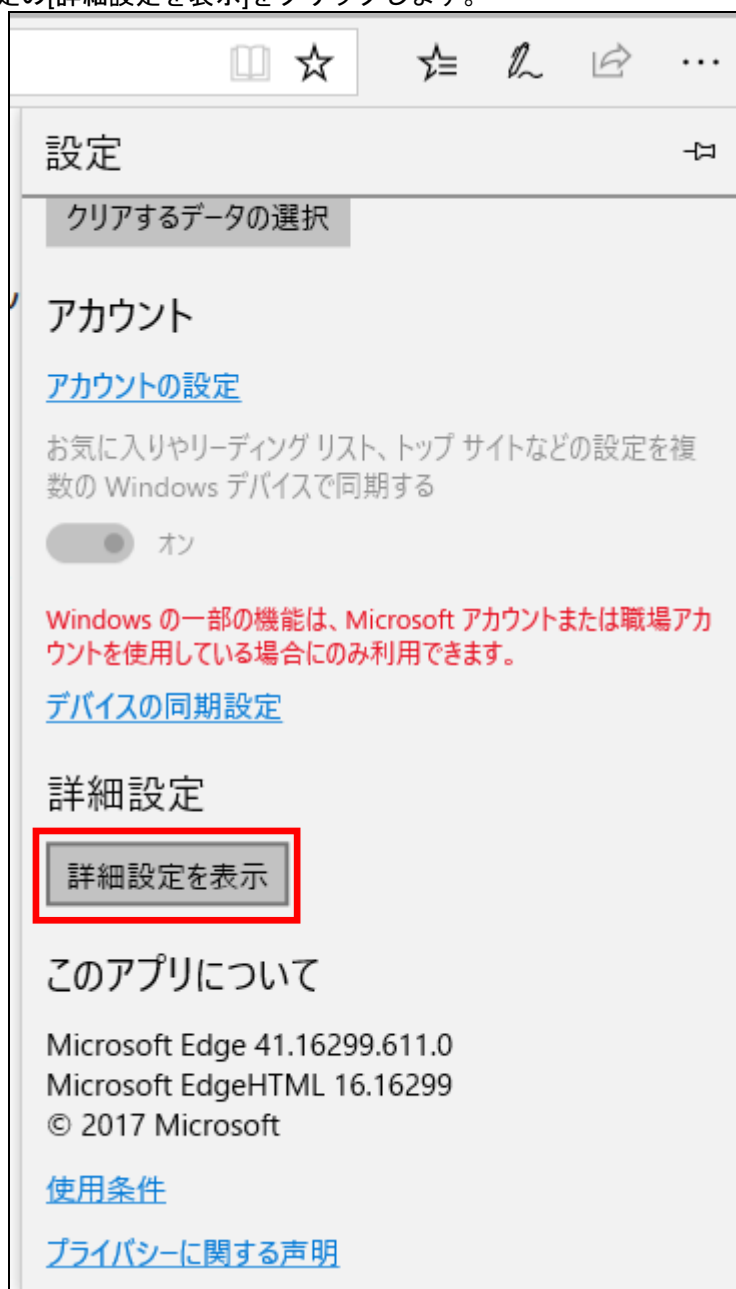
Edge をご利用の場合、Excel ダウンロードや検索式の保存などでダウンロードしたファイルは、標準設定では自動で「C:\¥Users¥ユーザー名¥Downloads」配下に保存されます。ダウンロード前に常にファイルの保存場所を確認する設定にするか、ダウンロードファイルの自動保存先を変更したい場合は、以下の手順で設定してください。

【操作開始】

1. Edge を起動し、画面右上部の[⋮]—[設定]を選択します。



2. 設定の[詳細設定を表示]をクリックします。

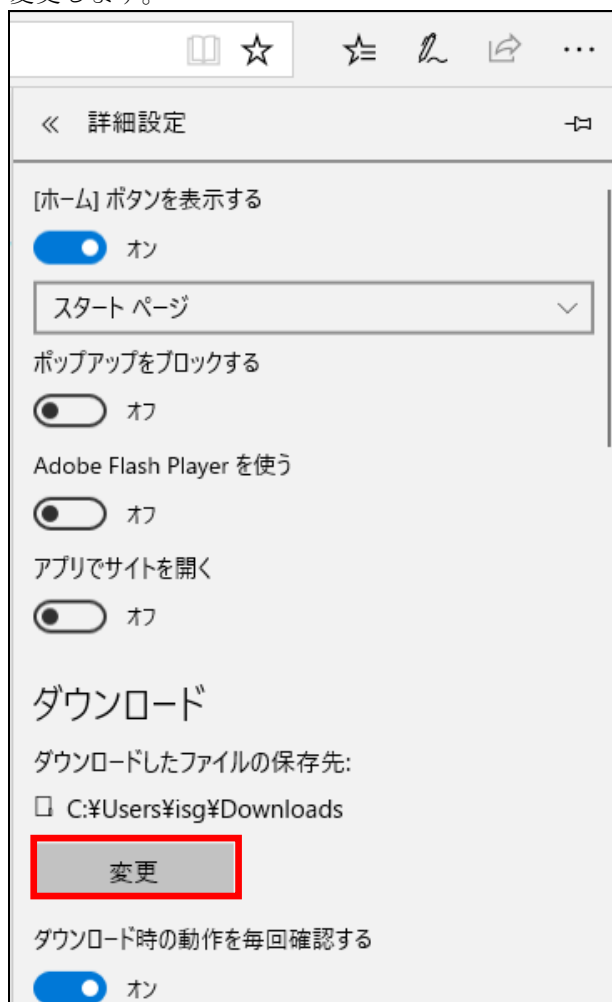


3. [ダウンロード時の動作を毎回確認する]をオンにします。

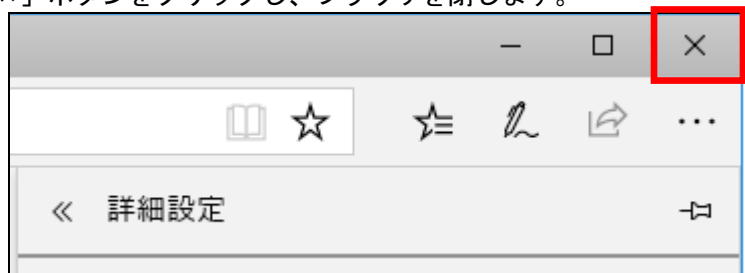


◆補足

上記手順で[ダウンロード時の動作を毎回確認する]をオンにしない場合には、自動で指定先にファイルが保存されます。自動での保存先を変更したい場合には、設定の[ダウンロードしたファイルの保存先]で、[変更]をクリックし、ダウンロードするファイルの保存先を変更します。



4. 「×」ボタンをクリックし、ブラウザを閉じます。



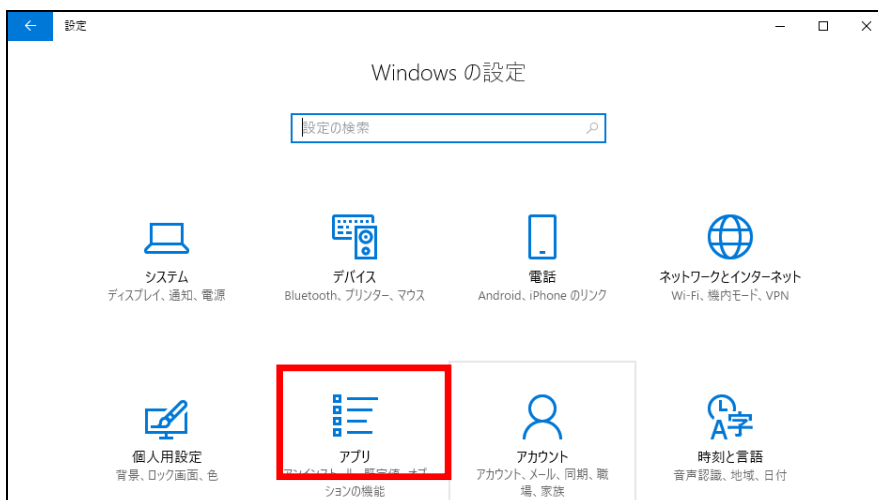
(6) 既定のブラウザの設定

HTML、Excel のダウンロード結果等から Shareresearch の画面を表示させる場合は、既定のブラウザで開かれます。

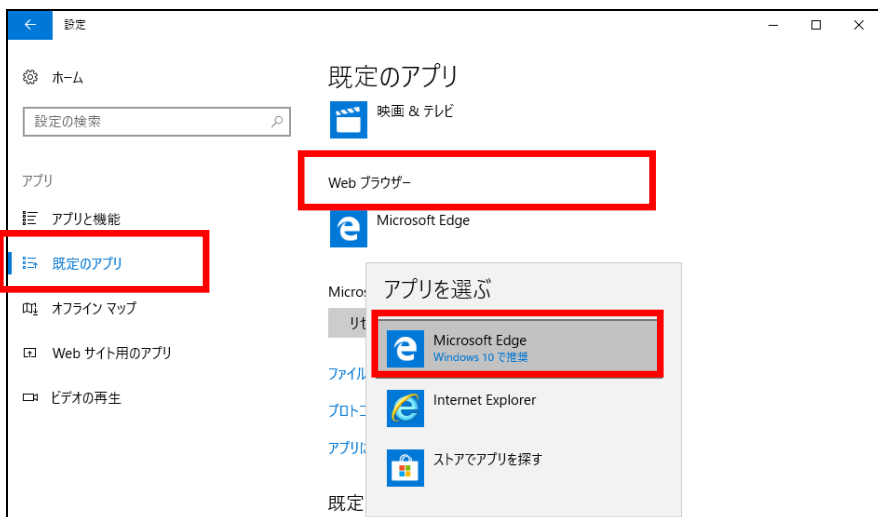
Edge を既定のブラウザに指定したい場合は、以下の手順で設定してください。なお、Internet Explorer、Chrome、Microsoft Edge 以外が既定のブラウザに指定されている場合は、既定のブラウザで開かれた画面が正常に操作できない場合がありますのでご注意ください。

【操作開始】

1. ウィンドウメニューの[設定]より、Windows の設定画面を開き、[アプリ]を選択する。



2. [既定のアプリ]—[Web ブラウザー]を選択し、Microsoft Edge を選択する。



3. 「×」ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じます。



(7) PDF レイアウトの印刷設定

PDF レイアウトの印刷を行うための設定を行います。また、マップ連携オプションをご利用の場合は、「パテントマップ EXZ」との連携を行う場合にも本設定が必要になります。なお、Excel マクロをご利用できる環境かどうかで手順が異なります。下記の PDF レイアウトの印刷設定の手順 1 ～ 14 を参考に実施してください。

【Excel マクロをご利用になれる場合】「1.3.2(5) PDFレイアウトの印刷設定」手順 1 ～ 9

【Excel マクロをご利用になれない場合】「1.3.2(5) PDFレイアウトの印刷設定」手順 10 ～ 14

◆補足

Edge の場合は、印刷処理実行時に手動で拡張子「sc_script」のファイルを実行する必要があります。詳細は「5.5.2 印刷」を参照してください。

1.4 ActiveX がインストールできない環境の制限について

ActiveX とは、Internet Explorer 上で動作するソフトウェアの一部で、「1.3.1 Internet Explorerの場合」を行うとインストール可能な状態になりますが、ご利用の環境によっては、ActiveX のインストール権限がなく、一部の機能のご利用が制限される場合があります。また、Chrome をご利用の場合にも ActiveX をインストールすることはできません。

ActiveX がインストールできない環境では、以下のように機能が制限されます。

<ご利用になれない機能>

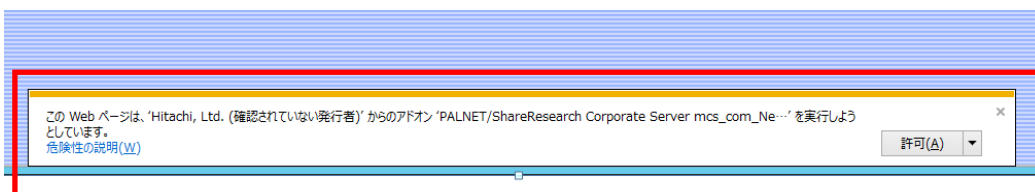
- ・ マップ連携（PAT-LIST 連携）オプションはご利用になれません。

<ご利用が制限される機能>

- ・ PDF ダウンロードは、PDF の一括ダウンロードではなく、ZIP 形式で圧縮されたファイルをダウンロードする方式になります。
詳細は、「5.3.2 ファイルのダウンロード」を参照して下さい。

◆補足

ActiveX がインストールできない環境ではログイン時に以下のようなメッセージが表示される場合があります。



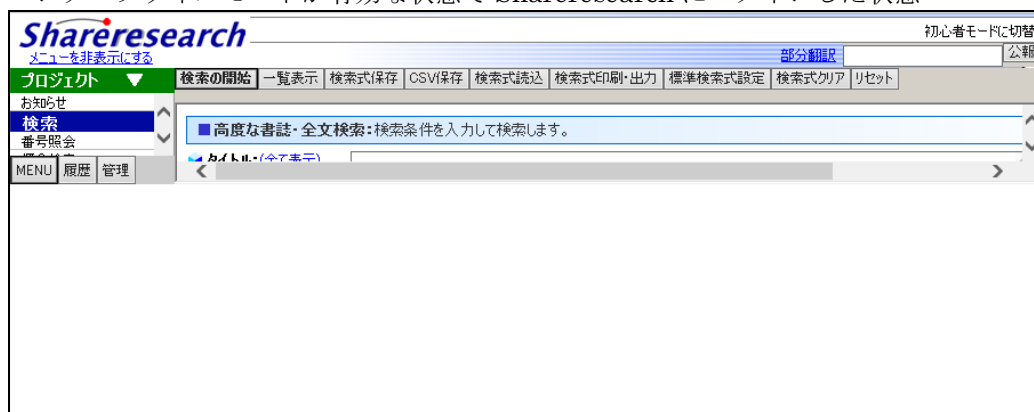
1.5 Internet Explorer をご利用の場合の注意点

Internet Explorer をご利用の場合の注意点を説明します。

(1) エンタープライズモードについて

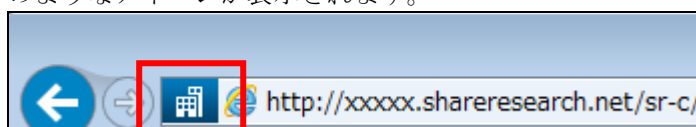
エンタープライズモードとは、従来の Internet Explorer との互換性を確保するためのモードです。エンタープライズモードが有効な状態では、Shareresearch を正常にご利用できない場合があります。

- ・エンタープライズモードが有効な状態で Shareresearch にログインした状態

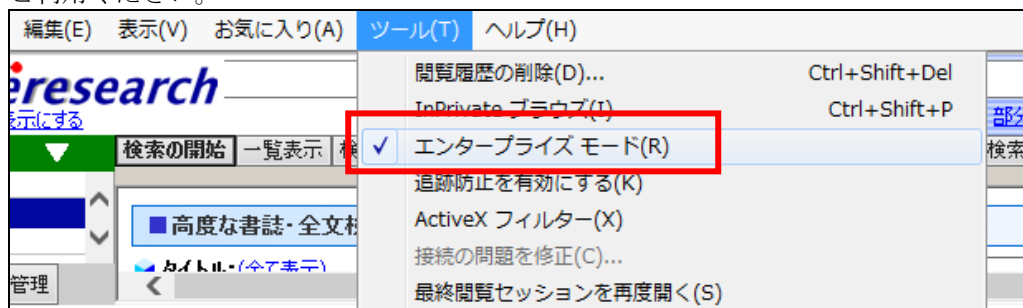


◆補足

- ・エンタープライズモードが有効な場合、Internet Explorer のアイコンの左側にビルのようなアイコンが表示されます。



- ・Internet Explorer の「ツール」メニューから、エンタープライズモードを解除してご利用ください。

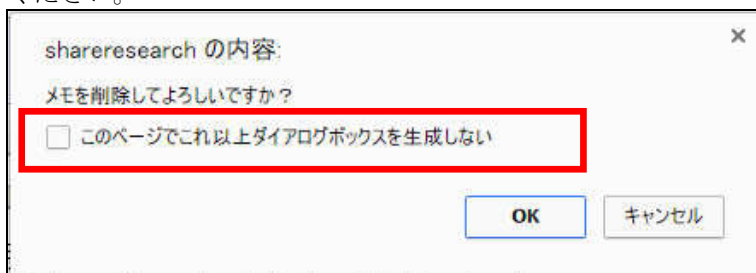


1.6 Chrome をご利用の場合の注意点

Chrome をご利用の場合の注意点を説明します。

(1) ダイアログボックスでの操作について

同じ画面内で2回以上同じダイアログを表示するような操作を行うと、ダイアログボックス内に以下のように「このページでこれ以上ダイアログボックスを生成しない」のチェックボックスが表示されます。このチェックボックスにはチェックを付けないよう、ご注意ください。



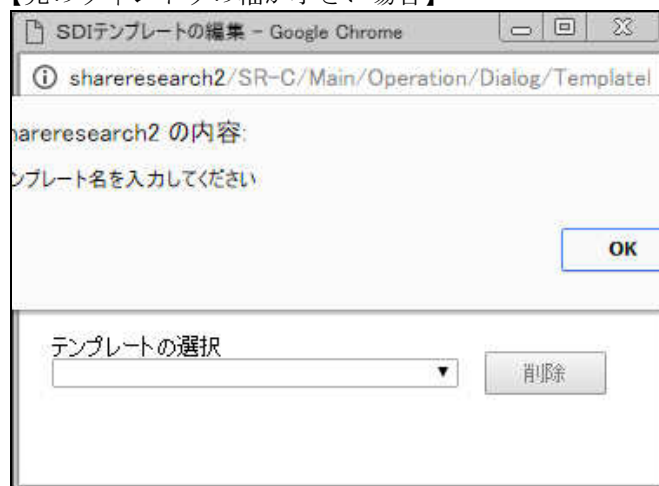
◆補足

- ・ チェックボックスにチェックを付けた状態で「OK」ボタン、「キャンセル」ボタン、または「×」ボタンをクリックすると、次回から同じ画面内で同じダイアログが表示されなくなります。そのため、例えば「メモの入力」画面で「削除」ボタンをクリックした場合に表示される確認ダイアログでチェックボックスにチェックを付けた場合、次回同じ「削除」ボタンをクリックしても、確認ダイアログが表示されず、メモの削除も行われません。
- ・ 万が一チェックボックスにチェックを付けた状態でダイアログボックスを閉じてしまった場合には、一度ログアウトし、再度ログインしてください。再びダイアログボックスが表示されるようになります。

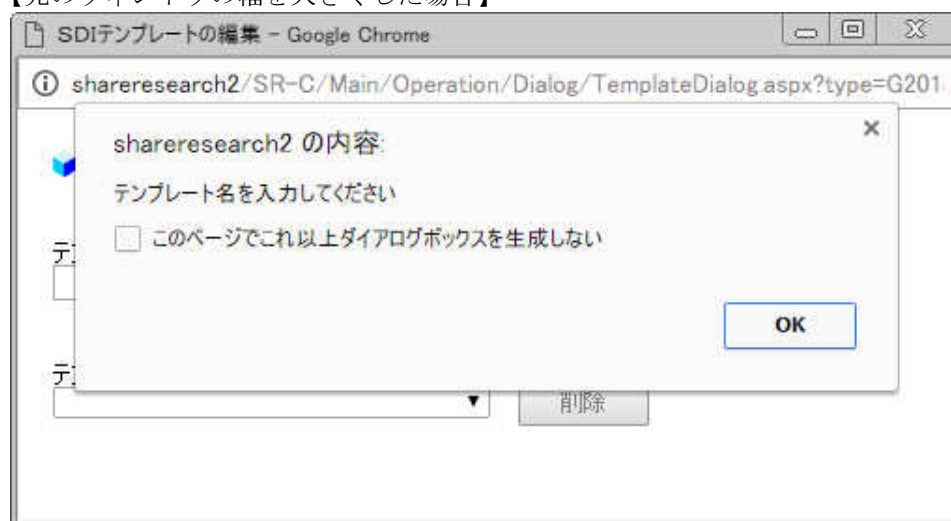
(2) 小さいウィンドウ上に表示されるダイアログボックスについて

ダイアログボックスの幅よりも元のウィンドウの幅が小さい場合、環境によっては以下の様にダイアログボックスの両端が切れて表示される場合があります。その場合は、一度ダイアログボックスを「OK」「キャンセル」ボタン等でダイアログボックスを閉じた後、元のウィンドウサイズを大きくしてから再度操作してください。

【元のウィンドウの幅が小さい場合】



【元のウィンドウの幅を大きくした場合】



【このページは白紙です】